F-07C

取扱説明書　’11.5

このたびは、「F-07C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
F-07Cをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。

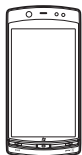
F-07Cの操作説明について

F-07Cの操作は、本書のほかに、「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）や「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）で説明しています。

「取扱説明書（本書）」	画面の表示内容や基本的な機能の操作について説明
「使いかたガイド」（本FOMA端末に搭載）	よく使われる機能の概要や操作について説明 F-07Cの待受画面から MENU ▶ 6 LifeKit ▶ * 使いかたガイド ▶ 検索方法を選択
「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）	すべての機能の詳しい案内や操作について説明 〈パソコンから〉 ドコモのホームページでダウンロード http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html ※本書の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- この『F-07C取扱説明書』の本文中においては、「F-07C」を「FOMA端末」と表記しています。
- 本書に掲載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書内の「認証操作」という表記は、4～8桁の端末暗証番号を入力する操作を表しています。⇒P34
- FOMAカード（緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。

本体付属品について

F-07C
（リアカバー F58、保証書含む）

電池パック F20

取扱説明書（本書）

※「取扱説明書（詳細版）」はドコモのホームページよりご覧ください。

イヤホン変換アダプタ F01

Microsoft® Office Personal 2010
2年間ライセンス版のCD-ROM

USBケーブル F01

ACアダプタ F04

対応しているオプション品について⇒P99

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容やホームページのURLおよび記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。

目　次

FOMA端末について

- F-07Cは、W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳、スケジュール、テキストメモ、伝言メモ、音声メモ、動画メモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、ドコモケータイdatalinkを利用して電話帳やメール、スケジュールなどの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSL／TLSをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSL／TLSのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSL／TLSの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、GMOグローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社、株式会社コモドジャパン、Entrust, Inc.
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

■ SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

F-07Cでできること

Windows 7モード 68

F-07Cは、従来のFOMA端末と同様携帯電話として使用する「ケータイモード」のほかに、「Windows 7モード」を備えています。[Windowsキー]を押すと、Windows 7モードに切り替わります。フルブラウザによるインターネットや、Eメールはもちろん、「Office Personal 2010」や電子辞書を使うことができます。また、Windows 7モードではWi-Fiに対応した無線LANを使用することもできます。

※Windows 7モードの機能説明は、各部名称などケータイモードとの共通部分を除き、「Windows 7」章にまとめて記載しています。Windows 7モードで使用中のケータイモードの機能については「Windows 7」章をご覧ください。

使いかたガイド 27

使いたい機能の操作方法をFOMA端末で確認できる便利な機能です。手元に取扱説明書がなくても、すぐに調べられます。

ecoモード 33

ディスプレイの明るさなどを調整することにより、電池の消費を抑えることができる機能です。

国際ローミング（WORLD WING） 43

日本国内でお使いのFOMA端末、電話番号、メールアドレスが海外でもそのまま使えます（3G・GSMエリアに対応）。

オートGPS 53

オートGPS機能により、お客様の居場所付近の天気情報やお店などの周辺情報、観光情報などをお知らせする便利なサービスをご利用いただけます。

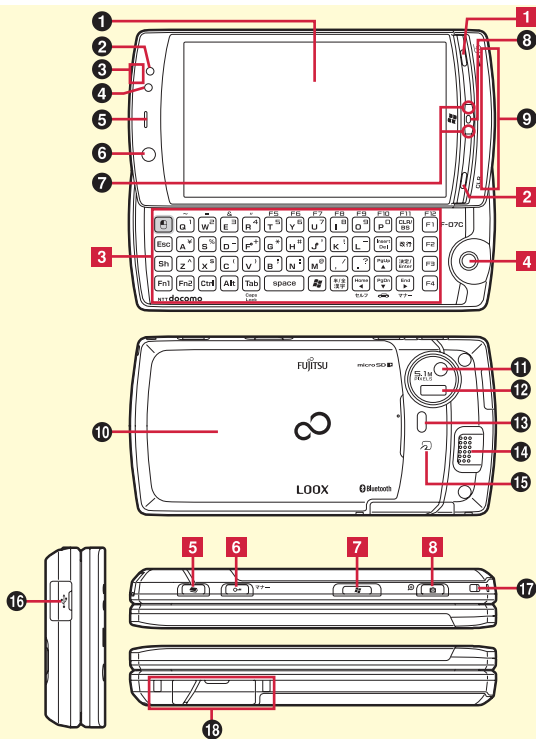
高機能カメラ 54

最適な撮影モードに自動で切り替える自動シーン認識、人物の顔と笑顔度を検出する顔検出、被写体を追尾するトラッキングフォーカス、ホワイトボードの文字などをはっきり撮影できるホワイトボードモードなどを備えた約510万画素（有効画素数）のカメラを搭載しています。

ｉコンシェル 61

執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、スケジュールの内容、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。

各部の名称と機能

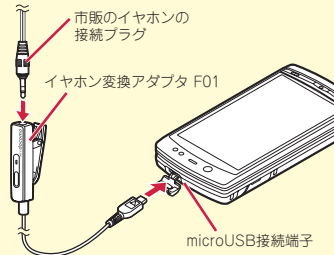
F-07Cの各部の名称とそれぞれに割り当てられている代表的な機能を紹介します。

※がついている機能は、キーを1秒以上押して実行します。

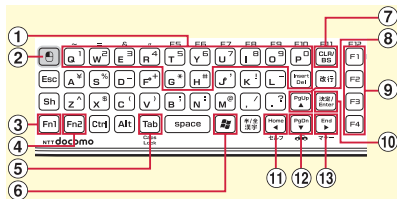
❶ **ディスプレイ（タッチパネル）**
❷ **着信・受信、充電などを知らせるランプ**
❸ **GPSアンテナ部（本体内蔵）**
アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
❹ **周囲の明るさを感知し、画面の明るさを自動調整する光センサー**
❺ **受話口**
❻ **インカメラ**
❼ **Windows 7ランプ⇒P6**
❽ **マイク（送話口）**
❾ **FOMAアンテナ部（本体内蔵）**
アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
❿ **リアカバー**
リアカバーと電池パックを取り外すと、ドコモUIMカードスロットとmicroSDカードスロットがあります。
リアカバー裏面のシールははがさないでください。FOMA端末の性能を低下させる原因となります。
⓫ **アウトカメラ**
⓬ **赤外線ポート**
⓭ **撮影お知らせランプ、カメラのライト**
⓮ **スピーカー**
⓯ **おサイフケータイ、iC通信時に位置を合わせる マーク**
⓰ **付属のUSBケーブル F01やイヤホン変換アダプタ F01を接続するmicroUSB接続端子**
⓱ **ストラップ取付口**
⓲ **クレードル接続端子⇒P22**

1 **操作中の機能の終了、2秒以上押して電源オン／オフ**
2 **CLR 音声電話を受ける、文字の消去、前の画面に戻る操作、ｉチャネル一覧の表示**
3 **QWERTYキー⇒P6**
4 **回転してカーソル移動／押して操作実行できるトラックボール。Windows 7モード中に押すとマウスの左クリック、1秒以上押すとマウスの右クリックと同じ操作**
Windows 7モードでは、他のキーとの組み合わせでできる操作があります。⇒P78
5 **通話中や操作中に別機能を起動させるマルチタスクキー**
6 **ディスプレイ表示のオン／オフ、マナーモードの起動／解除※**
7 **Windows 7モード／ケータイモードの切り替え、4秒以上押してWindows 7の強制終了⇒P75**
8 **カメラ起動中の操作、静止画撮影の起動※**

イヤホン変換アダプタ F01と市販のイヤホンの接続例

※ 付属のイヤホン変換アダプタ F01をmicroUSB接続端子に接続してください。

はじめに

QWERTYキー

スライドスタイルでは、キーを使って機能の起動などの操作ができます。ここでは、ケータイモードでの基本的な操作について説明します。Windows 7モードでは、パソコンのキーボードと同様にQWERTYキーで操作できます。

※がついている機能は、キーを1秒以上押して実行します。

① Q～P、G、H、Del 電話番号や記号入力、メニュー・項目選択、文字の消去、1つ前の画面に戻す、各ショートカット操作の実行

② Windows 7モード中のみ、項目の選択、マウスの左クリックと同じ操作

③ Fn1 他のキーと同時に押して、キーに刻印されている青色の記号／数字の入力や、機能の利用

④ Fn2 他のキーと同時に押して、キーに刻印されている黄緑色の記号の入力や、機能の利用

⑤ Tab 通話中や通信中に別の機能の実行（マルチアクセス／マルチタスク）

⑥ Windows 7モード中のみ、Windows 7のスタートメニューの表示

⑦ CLR 文字の消去、前の画面に戻る操作、iチャネル一覧の表示

⑧ ▲ スケジュール帳の表示、カーソル移動、目覚まし一覧の表示※

⑨ ガイド表示対応キー

F1：メニューの表示、ガイド表示領域左上の操作実行

F2：電話発信画面の表示、ガイド表示領域右上の操作実行

F3：メールメニューの表示、ガイド表示領域左下の操作実行、iモード問い合わせ※

F4：iモードに接続してiMenuの表示、ガイド表示領域右下の操作実行、iアプリフォルダ一覧の表示※

⑩ 決定 操作の実行やフォーカスモードの実行、ガイド表示領域中央の操作実行

⑪ ◀ 着信履歴の表示、画面の切り替え、カーソル移動

⑫ ▼ 電話帳の表示、カーソル移動、電話帳の登録※

⑬ ▶ リダイヤルの表示、画面の切り替え、カーソル移動、ICカードロックの起動／解除※

Windows 7ランプ

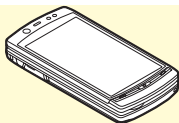
Windows 7の状態を点灯・点滅でお知らせします。

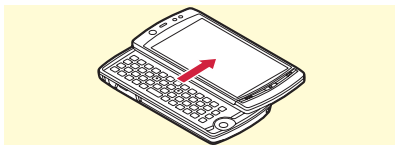
起動中は青色点灯、起動準備中は青色交互点灯、スリープ中は青色点滅、休止準備中は青色片方点滅、休止・電源OFF中は消灯します。

利用スタイル

本FOMA端末は、タッチ操作に対応した「ベーシックスタイル（閉じた状態）」と、タッチ操作とキー操作を併用する「スライドスタイル（開いた状態）」の2つのスタイルで利用できます。

- 本書では、主にベーシックスタイルでの操作方法で説明しています。
- QWERTYキーのみで実行できる操作、またはQWERTYキーで実行できる便利な操作については、キーでの操作方法を説明しています。QWERTYキーでの操作については、スライドスタイルにしてから操作してください。

✤ ベーシックスタイル

モーションセンサーを使ったオートローテーション機能で、FOMA端末の傾きに合わせて縦画面と横画面が切り替わります（画面によっては切り替わらない場合があります）。

✤ スライドスタイル

自動的に横画面に切り替わります（画面によっては切り替わらない場合があります）。

Point

- FOMA端末の開閉時に、無理な力を加えないでください。キーやディスプレイの破損の原因となります。
- FOMA端末の開閉時は、誤操作防止のためタッチパネルに指を触れないようにしてください。
- FOMA端末を持ち運ぶ際はベーシックスタイルにし、誤操作防止や電池の消費節約のため、誤操作防止ロックをかけてください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、ACアダプタ（USBケーブル含む）、ドコモUIMカードの取り扱い（共通）

危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびACアダプタ（USBケーブル含む）は、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

microUSB接続端子やクレードル接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をACアダプタ（USBケーブル含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらｉアプリやテレビ電話などを長時間行うとFOMA端末や電池パック・ACアダプタ（USBケーブル含む）の温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

FOMA端末の取り扱い

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

FOMA端末をWindows 7モードで使用される場合にはご注意ください。
Windows 7モードの使用によってFOMA端末の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

ワンタッチアラームを鳴らす場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

難聴の原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーショントラッキングやモーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**⇒「材質一覧(P15)」**

指示

FOMA端末を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。
けがなどの事故の原因となります。

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱い

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

ACアダプタ（USBケーブル含む）の取り扱い

⚠警告

禁止

USBケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタやクレードルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタ（USBケーブル含む）には触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントにつないだ状態でmicroUSB接続端子をショートさせないでください。また、microUSB接続端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

USBケーブルのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタ（USBケーブル含む）のコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。

誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。

火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、USBケーブルのコードを無理に引っ張らず、ACアダプタを持って抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。

火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱い

注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。

けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱い

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材　質	表面処理
外装ケース	可動部 ディスプレイ部	PA-GF樹脂	UVハードコート
	可動部 ディスプレイ下部	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	可動部 背面	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	固定部 操作キー面	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	固定部 電池面	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	リアカバー	PC+ABS樹脂	UVハードコート
ディスプレイパネル		強化ガラス	飛散防止フィルム
カメラレンズ部、カメラパネル		高耐熱透明材料（PMMA）	UVハードコート
ライトパネル部		PC樹脂	なし
フロントキー		PC樹脂	UVハードコート
サイドキー（Windows 7切替キー）		PC樹脂	UVハードコート
サイドキー（マルチタスクキー、ロックキー、カメラ／ズームキー）		エラストマー樹脂（TPE）	なし
操作キー		PC樹脂	UVハードコート
外部接続端子キャップ	本体	PC+ABS樹脂	UVハードコート
	屈曲部	エラストマー樹脂（TPE）	なし
静電端子	接点部	ステンレス鋼	Niメッキ
外部接続端子		ステンレス鋼	錫メッキ
操作キー周囲の化粧シート		PET樹脂	UVハードコート
本体背面パーツ	スライドモジュール	ステンレス鋼	摺動塗装
	ネジキャップ	シリコーンゴム（VMQ）	なし
	RFキャップ	シリコーンゴム（VMQ）	なし
	スライドパッド	超高分子ポリエチレンフィルム	なし
ネジ（電池収納部）		ステンレス鋼	なし
電池収納面		プリント基板	金メッキ
電池端子	電池端子コネクター本体	PPS樹脂	なし
	電池端子	ベリリウム銅	金メッキ（下地 Ni-Pdメッキ）
電池パック	電池パック本体	PC樹脂	なし
	端子部	ベリリウム銅	金メッキ
ドコモUIMカードトレイ		POM樹脂	なし

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  - FOMA端末、電池パック、ACアダプタ（USBケーブル含む）、クレードル、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
    また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、付属のUSBケーブル F01などをmicroUSB接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- **電池パック、ACアダプタ、USBケーブル、クレードルに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

- **タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  - タッチパネルが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **microUSB接続端子にUSBケーブル F01などを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。**
  - 故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

- **通常はmicroUSB接続端子キャップを閉じた状態でご使用ください。**
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **キーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。**
  - 故障、破損、誤動作の原因となります。
- **FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールなどを貼らないでください。**
  - FOMA端末を開閉する際にラベルやシールなどが引っかかり、故障、破損の原因となります。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。**
  - キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  - 強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が2本、または残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

ACアダプタ（USBケーブル含む）についてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、ACアダプタ（USBケーブル含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、microUSB接続端子を変形させないでください。**
  - 故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

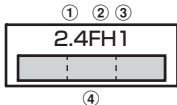
- **ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身でドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  - データの消失、故障の原因となります。

- **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  - 故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。**
  - 故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

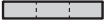
- **FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**
- **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります（対応しているBluetooth機器のみ）。**
- **周波数帯について**

  FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

①　②③
2.4FH1
④

①2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
②FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④[帯域図]：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

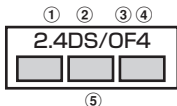
Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- **無線LANについて**

  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

- **周波数帯について**
  WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

①2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
②DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。WLANを海外で利用する場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

FeliCaリーダー／ライターについて

- **FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

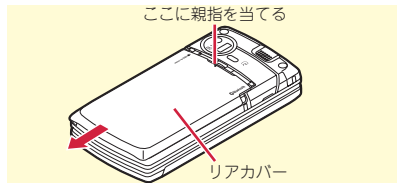
注意

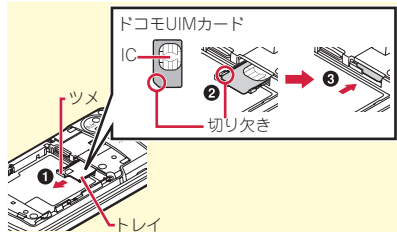
- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **Bluetooth機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **無線LAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**
  FOMA端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

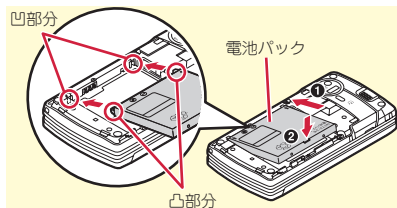
ドコモUIMカード／電池パックの取り付け

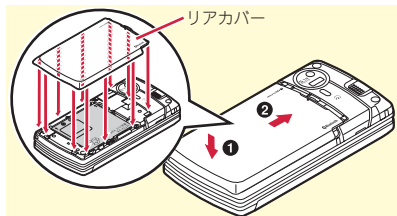
取り付けは電源を切ってからFOMA端末を閉じ、手に持って正しく行ってください。

✤ リアカバーの取り外し

親指でリアカバーを押しながら矢印の方向に約3mmスライドさせて外す。

✤ ドコモUIMカードの取り付け

トレイのツメに指をかけ、「カチッ」と音がするまで引き出す（❶）。IC面を上にし、切り欠きの向きを合わせてドコモUIMカードをトレイにセットし（❷）、トレイを奥まで押し込む（❸）。

✤ 電池パックの取り付け

電池パックのラベル面を上にし、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、さらに、❷の方向に押し付けてはめ込む。

✤ リアカバーの取り付け

リアカバーのツメをFOMA端末のミゾに合わせて、FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❶の方向に押さえながら、❷の方向にスライドさせて取り付ける。

Point

- 本FOMA端末では、FOMAカード（青色）は使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

充電

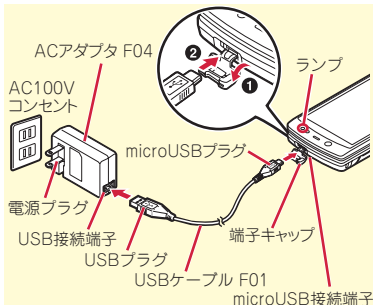
ACアダプタ F04とUSBケーブル F01による充電

1 USBケーブルのUSBプラグの表記面を上にして、ACアダプタのUSB接続端子に水平に差し込む

2 microUSB接続端子のキャップを開き（❶）、USBケーブルのmicroUSBプラグの表記面を上にして差し込む（❷）

3 ACアダプタの電源プラグをAC100Vコンセントへ差し込む

※ランプの点灯を確認する（電源OFF時は点灯まで時間がかかります）

※充電の終了後、電源プラグをコンセントから抜き、microUSBプラグをFOMA端末から水平に引き抜く

クレードルと組み合わせた充電

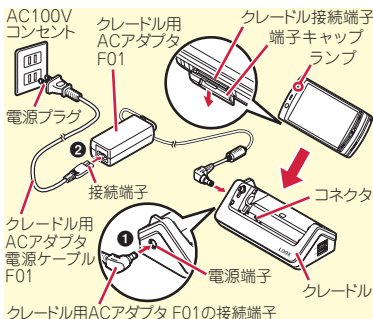
別売りのクレードルセット F01を準備してください。

1 ACアダプタの接続端子をクレードルの電源端子へ（❶）、電源ケーブルの接続端子をACアダプタへ水平に差し込む（❷）

2 電源ケーブルの電源プラグをAC100Vコンセントへ差し込む

3 FOMA端末を閉じてクレードル接続端子のキャップを開き、クレードルに差し込む

※ランプの点灯を確認する（電源OFF時は点灯まで時間がかかります）

※充電の終了後、クレードルからFOMA端末を取り外す

電源を入れる～初期設定

初期設定は初めてFOMA端末の電源を入れたときに行う操作です。

1 [電源キー]（2秒以上）

2 拡大メニューの設定の確認画面で「はい」or 「いいえ」

3 各項目を設定▶「終了」

端末暗証番号設定と位置提供可否設定を設定せずに終了すると、次に電源を入れたときに再び初期設定画面が表示されます。

4 ソフトウェア更新機能の確認画面で「OK」

待受画面が表示されます。

Point

- 何も操作しないでいると、画面オフ時間設定やecoモード設定に従って自動的にディスプレイが消灯します。何らかの操作や電話の着信などによって、ディスプレイは再び点灯します。

電源を切る：[電源キー]（2秒以上）

初期設定の変更：MENU▶8756

発信者番号通知設定

電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを設定します。ご契約時には「通知する」に設定されています。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶8NWサービス▶3番号通知▶1発信者番号通知▶1発信者番号通知設定▶1通知する or 2通知しない

Point

- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときは、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。

プロフィール情報

自分の電話番号を確認します。

メールアドレスの確認／変更方法については『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 MENU▶0プロフィール

プロフィール情報画面が表示されます。

Point

- 待受画面でF1Pを押しても、プロフィール情報を表示できます。

プロフィール情報を編集：プロフィール情報画面で「編集」▶認証操作▶編集▶「登録」

通話中などに電話番号を確認：[メールキー]46

ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で新着情報や現在の状態を確認できます。ここでは主なマークを紹介します。

ディスプレイ上部

電池残量（電池アイコン）
(多い) ⇔ (ほとんどなく充電が必要)
電波受信レベル（アンテナアイコン）
(強) ⇔ (弱)
圏外：サービスエリア外や電波の届かない所
SELF：セルフモード中
：データ転送モード中
：ｉモード接続中
：赤外線通信中
：Bluetoothオン
：積算通話料金が上限を超過
：Bluetooth接続処理中
：ハンズフリー対応機器で通信中
：ハンズフリーON
：フェムトセル利用可能
：ecoモード設定中
：GPS測位中
：位置提供設定中
：画面オフロック中
：電話帳、スケジュールがシークレット属性
：ワンタッチアラーム設定が「ON」
：親子モード設定中
：未読エリアメールあり
：未読ｉモードメールあり
：ｉコンシェルの新着インフォメーションあり
：ｉモードセンターに未受信のｉモードメールあり
SSL：SSL／TLSページ表示中など
：圏内自動送信メールあり
：ｉアプリ動作中
：ｉアプリコール受信あり
：目覚まし設定中
：スケジュールアラーム設定中
OFFICEED：OFFICEEDエリア内

ディスプレイ下部

2 1 1 2 2

新着情報（左から、不在着信、伝言メモ、留守番電話サービスの伝言メッセージ、未読メール、未読トルカ、ｉアプリコール）
：マナーモード中
：電話着信音量消音設定中
：音声電話着信バイブレータ設定中
：公共モード（ドライブモード）中
：伝言メモ設定中
：ダイヤル発信制限中
：パーソナルデータロック中
：ICカードロック中
SD：通信モード中にmicroSDカードあり
：USBケーブル F01で外部機器と接続中、Windows 7モードの起動中
：ウォーキング／Exカウンター設定中
：ソフトウェア更新書き換え予告
：最新パターンデータ自動更新失敗
MENU：待受タッチボタン⇒P25

画面とキーの基本操作

待受タッチボタン

タッチすることで、左からメニューの表示、電話発信画面の表示、ｉモードに接続してｉMenuの表示、メールメニューの表示ができます（FOMA端末の利用スタイルにより、ボタンの表示順が異なります）。
本書内の操作手順は、待受タッチボタンをそれぞれ MENU 、 、 、 と表記しています。

メニュー操作

待受画面で MENU をタッチし、メニューから機能を実行します。

〈例〉「電卓」を選択する

1 MENU ▶「7 アクセサリー」をタッチ ▶「4 電卓」をタッチ

Point

- キー操作の場合は、スライドスタイルで F1 U R の順にキーを押します。
- 機能起動中も、ガイド表示領域に「MENU」と表示されている場合は同様に操作します。
- 1つ前の画面に戻すには ← をタッチするか、CLR を押します。待受画面に戻すには × をタッチするか、 を押します。
- 待受画面にカレンダー／待受カスタマイズを設定しているときや、新着情報アイコンが表示されているときなどには、決定 を押して情報をすばやく表示するフォーカスモードになります。

ガイド表示領域

ガイド表示領域

ガイド表示領域には、画面をタッチするか、F1、F2、決定、F3、F4 を押して実行できる操作が表示されます。各操作の右上または左上には対応するキーが表示され、F1、F2、F3、F4 を押して実行できます。中央に表示される操作は 決定 を押して実行できます。
また、ガイド表示領域の は、矢印キーの ▲、▼、◀、▶ に対応しています。

- キーを1秒以上押して実行できる操作は、タッチ操作では実行できません。

メニュー画面の切り替え

きせかえツールでデザインを変更できる「きせかえメニュー」、メニュー番号が固定の「ベーシックメニュー」、メニュー項目を自由に登録できる「セレクトメニュー」を切り替えて使用できます。
メニュー画面を切り替えるには、きせかえメニューの表示中に「セレクト」／「ベーシック」をタッチするか、ベーシックメニューまたはセレクトメニューの表示中に「きせかえ」をタッチします。

タッチパネルの使いかた

タッチパネル利用上のご注意

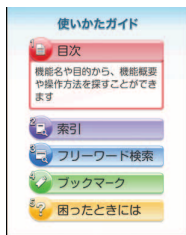
- FOMA端末の開閉時に無理な力を加えないでください。キーやディスプレイの故障や破損の原因となります。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面にのせたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作

タッチの基本操作

操作	説明
タッチ（クリック） 	タッチ画面を軽く1回触ってから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。主にメニューや項目の選択などで使用します。 Windows 7モードで右クリックをするには、アイコンなどに1本の指でタッチしたまま別の指で他の場所をタッチします。タッチ後しばらくそのままにしても、右クリックの動作になります。
ダブルタッチ（ダブルクリック）	画面を軽く2回触ってから離します。画面から指を離した時点で、行った操作が有効になります。 ケータイモードでは、主に画面表示の拡大／縮小や切り替えなどで使用します。
スライド（ドラッグ） 	画面に軽く触れたまま、上下左右のいずれかの方向に指を動かし、任意の位置で離します。 ケータイモードでは、ミュージックプレーヤーなどの巻き戻し／早送り、手書き文字入力、電話帳一覧画面のタブ移動やページ切り替えなどに使用します。 Windows 7モードでは、文字列の選択範囲を指定する場合などに使用します。
すばやくスライド（フリック）	画面に軽く触れた後、上下左右のいずれかの方向にすばやく指をはらいます。 ケータイモードでは、ページや表示画像の切り替え、チャプターや曲の移動などで使用します。 Windows 7モードでは、写真や画像ファイルの表示切り替えなどで使用できるほか、Internet Explorerでは右へフリックして「戻る」、左へフリックして「進む」の動作になります。
ピンチ 	2本の指で画面に触れたまま、2本の指の間隔を広げたり、狭くしたりします。Webサイト閲覧時やPDF表示時の拡大／縮小で使用します。 ケータイモードでは使用できません。

画面の説明
使いかたガイド

機能の概要や操作方法、困ったときの対処方法を調べることができます。

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ ＊ 使いかたガイド ▶ 検索方法を選択**

〈使いかたガイド画面〉

目次：機能の一覧から選択して調べます。
索引：50音順の用語一覧から選択して調べます。
フリーワード検索：探したいキーワードを入力して調べます。
ブックマーク：ブックマークに登録した一覧から調べます。
困ったときには：トラブルの現象やエラーメッセージから調べます。

Point

- 説明画面では、「この機能を使う」を選択して機能を実行できます。「関連機能」内のリンク項目や「→コチラ」を選択すると、関連する機能の説明画面が表示されます。
- Windows 7モードについては調べることができません。

画面の説明
待受ランチャー

待受画面をタッチして待受ランチャーを表示し、表示されているボタンをタッチして機能の呼び出しや、新着情報の確認などが簡単にできます。

〈待受ランチャー画面〉

機能：機能を呼び出します。
待受カスタマイズ：カレンダー／待受カスタマイズで設定した情報があるときに利用できます。
新着／ステータス：新着情報の確認などができます。
待受ショートカット：待受ショートカットを設定しているときに利用できます。

Point

- タイトル部分をタッチすると、その中のすべてのボタンを表示できます。

文字入力

文字を入力するには、タッチ操作とキー操作による方法があります。
文字入力画面で入力方法切り替えボタン（[切替ボタン]など）をタッチするたびに、入力方法とアイコンの表示が切り替わります。

タッチ操作による文字入力

	タッチキー入力	手書き文字入力
概要	タッチ操作で文字を選択して入力	手書き入力エリアに、指で文字を書いて入力
入力例	**ろ**：「ら9」▶「ろ」 **っ**：「た4」▶「っ」 **ぽ**：「は6」▶「゛ ゜」を2回▶「ぽ」 **ん**：「わ0」▶「ん」 **ぎ**：「か2」▶「゛ ゜」▶「ぎ」	入力エリアに「六」「本」「木」と順に書く
入力中の操作	**「クリア」または[←]**：カーソル位置の1文字を削除（入力確定後）	
	「大/小」：大文字／小文字の切り替え **「戻る」**：各入力モードの1階層目の文字入力画面に戻す **「前ページ」／「次ページ」**：前後の記号一覧を表示	**「クリア」**：認識文字を削除 **「閉じる」**：別候補文字選択画面の表示終了 **「訂正」**：文字の書き直し

QWERTYキーによる文字入力

	ローマ字入力方式
概要	読みに対応するローマ字の綴りどおりにアルファベットのキーを押すことで文字を入力
入力例	ひとつの単語として「六本木」と入力するときには「roppongi」と入力しますが、ここでは文字の入力例として一文字ずつ入力した場合の入力例を紹介します。 **「ろ」**：[R][O] **「っ」**：[L][T][U]／[X][T][U]／[L][T][S][U] **「ぽ」**：[P][O] **「ん」**：[N][N]／[X][N] **「ぎ」**：[G][I]
入力中の操作	**[Fn1]＋キー上部に記号または数字が印刷されているキー**：記号および数字の入力 [Sh]＋[A]～[Z]：アルファベットを大文字で入力 [Fn2]＋[Tab]：大文字で入力される状態を維持

入力モードの切り替え

入力方式により、入力モードの切り替えかたが異なります。

タッチキー入力

「文字切替」をタッチすると入力モード一覧が表示され、「かな英数」「英数」「数字」「カタカナ」「半角記号」「全角記号」のいずれかをタッチすると入力モードを切り替えられます。

- 入力モードが「かな英数」「英数」「数字」「カタカナ」のときには、「全角半角」で全角／半角の切り替えができます。

ローマ字入力方式

文字入力画面でF3を押すたびに、「ひらがな／漢字」⇒「半角カタカナ」⇒「半角英字」⇒「半角数字」⇒「ひらがな／漢字」…と入力モードが切り替わります。

- ▲、▼、半/全のいずれかで全角／半角の切り替えができます。

文字入力設定

文字入力の入力方式や、入力時の動作を設定します。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 スライド／時計／入力／他 ▶ 3 文字入力設定 ▶ 5 入力設定 ▶ 各項目を設定 ▶ 「登録」**

絵文字・顔文字の入力

絵文字の入力

1 **文字入力画面で「絵・記号」**

絵文字一覧が表示されます。

① **入力履歴欄**

最近入力したものから順に最大20文字（横画面の場合は13文字）表示されます。

② **絵文字一覧**

「絵文字」／「絵文字D」（メール本文入力時または署名編集時）をタッチするたびに切り替わります。ページが複数あるときは「前ページ」／「次ページ」をタッチして切り替えます。

2 **絵文字を選択**

CLRを押すと、絵文字一覧は閉じます。

Point

- ローマ字入力方式のときには、F2を押すと絵文字一覧が表示されます。絵文字一覧はF2を押すたびに切り替わります。また、ページが複数あるときには、F3またはF4を押して切り替えます。

顔文字の入力

1 **文字入力画面で「MENU」▶ 5 絵文字・記号・顔文字 ▶ 3 顔文字 ▶ 1 入力履歴～9 すべて ▶ 顔文字を選択**

音の設定

音設定

〈例〉電話着信音（電話着信音／テレビ電話着信音）の設定

1 MENU▶8設定／NWサービス▶1音／バイブ▶1音設定▶1電話着信音▶1電話着信音 or 2テレビ電話着信音▶各項目を設定▶「登録」

Point

- 電話着信音を設定すると、電話着信設定およびテレビ電話着信設定にも反映されます。
- ミュージックや動画／ｉモーションによっては、着信音に設定できない場合があります。

音量設定

〈例〉電話着信音量の設定

1 MENU▶8設定／NWサービス▶1音／バイブ▶2音量設定▶1電話着信・受話音量▶1電話着信音量▶上下にスライド▶「選択」

バイブレータ設定

着信やアラームを音ではなく振動で知らせます。

〈例〉音声電話の着信を振動で知らせる

1 MENU▶8設定／NWサービス▶1音／バイブ▶3バイブレータ設定▶1電話着信時▶1電話着信時▶パターンを選択

マナーモード

着信音、キー／タッチ確認音、スライド操作音、アラーム音、バーコードリーダーでコードを読み取ったときの確認音などFOMA端末から出る音を消し、着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。マナーモード中は、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。

1 ［鍵］（1秒以上）

マナーモード中は待受画面に［マナー］が表示されます。

マナーモードの解除：［鍵］（1秒以上）

Point

- FOMA端末を開いているときは、Fn2を押しながら▶を押してもマナーモードを設定／解除できます。
- マナーモード中でもシャッター音は鳴ります。

キー／タッチ確認音を消す

キーを押したり、タッチ操作をしたりしたときに鳴る音を消します。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶1音／バイブ▶1音設定▶6操作確認音▶1キー／タッチ確認音▶5OFF

基本の操作

ディスプレイの設定

待受画面選択

お買い上げ時に設定されている待受画面は変更することができます。

〈例〉画像を設定

1 MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶1待受画面設定▶1待受画面選択▶1縦画面設定 or 2横画面設定▶1イメージ設定
きせかえツールが設定されているときには、解除確認画面で「はい」を選択します。

2 フォルダを選択▶画像を選択▶「はい」

照明点灯時間設定

ディスプレイを明るく点灯させる時間を設定します。

〈例〉「通常時」を設定

1 MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶4照明／キーバックライト設定▶1照明点灯時間設定

2 1通常時▶点灯時間を選択

表示メニュー設定

待受画面でMENUをタッチしたときに表示されるメニューを「きせかえメニュー（きせかえツールに依存）」、「ベーシックメニュー（メニュー構成・番号が固定）」、「セレクトメニュー（メニュー項目の変更可）」から選択します。

1 MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶2メニュー設定▶1表示メニュー設定▶1きせかえメニュー〜3セレクトメニュー

文字サイズ設定

〈例〉一括して文字サイズを変更

1 MENU▶8設定／NWサービス▶2ディスプレイ▶6文字表示設定▶1文字サイズ設定▶1全体▶1極小〜7極大

Point

- 一括して文字サイズを変更するときに、選択した文字サイズに対応していない項目は、もっとも近い文字サイズに設定されます。

マチキャラ設定

待受画面やメニュー画面などに表示されるキャラクタを設定します。

1 **MENU ▶ 8 設定/NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 7 マチキャラ設定 ▶ 各項目を設定 ▶ 「登録」**

Point

- 待受画面に動画/iモーションやiアプリが設定されているときには、マチキャラは表示されません。
- 時刻や新着情報、通話時間などによって動作が変化するマチキャラがあります。

音/画面設定

きせかえツール

待受画像、メニュー、発着信画像などをコーディネイトされた組み合わせで一括して設定します。

〈例〉お買い上げ時に登録されているきせかえツールを設定

1 **MENU ▶ 5 データBOX ▶ 7 きせかえツール ▶ 2 プリインストール ▶ きせかえツールをタッチ ▶ 「設定」**

きせかえツールにカーソルを合わせて「内容」をタッチすると詳細内容が表示され、「選択」をタッチすると待受画面とメニュー画面のイメージが拡大表示されます。

2 **「はい」**

ランプの設定

不在着信お知らせ

不在着信や未読メールなどがあることをランプで知らせます。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 3 各種画面設定 ▶ 5 着信表示設定 ▶ 2 不在着信お知らせ ▶ 1 ON or 2 OFF**

イルミネーション設定

電話やメールの着信時や通話中などのランプの点灯パターンと点灯色を設定します。

〈例〉着信時のイルミネーションを設定

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 5 イルミネーション設定 ▶ 1 着信イルミネーション ▶ 各項目を設定 ▶「登録」**

音／画面設定

ecoモード

各種照明の設定を「OFF」にしたり、点灯時間を短くしたりして、電池の消費を抑えます。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 8 ecoモード設定 ▶ 1 ecoモードON／OFF**

ONにすると、待受画面にECOが表示されます。

Point

- セレクトメニューの設定がお買い上げ時の状態のときは、Tを1秒以上押してもecoモードのON／OFFを切り替えられます。

ecoモード動作設定

ecoモードにしたときの動作を設定します。

1 **MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 2 ディスプレイ ▶ 8 ecoモード設定 ▶ 2 ecoモード動作設定 ▶ 1 標準省電力 or 2 フル省電力**

標準省電力：操作確認音（シャッター音を除く）、イルミネーション、不在着信お知らせ、照明などの設定を変更して、電池の消費を抑えます。

フル省電力：標準省電力に加え、モーションセンサー、マチキャラ、画面オフロックの置き忘れセンサー、オートGPS、ウォーキング／Exカウンターなどの機能の使用を制限して、電池の消費を抑えます。

各種暗証番号

機能によって異なる暗証番号を使います。暗証番号は個人情報を守る、大切なものです。取扱いには十分ご注意ください。

端末暗証番号（お買い上げ時：0000）

設定変更時やデータの全件削除時に必要な番号です。次の操作で変更できます。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶4セキュリティ／ロック▶6端末暗証番号変更▶認証操作**

2 **新しい端末暗証番号欄に新しい端末暗証番号を入力▶新しい端末暗証番号（確認）欄に新しい端末暗証番号を入力▶「登録」**

Point

- 端末暗証番号入力画面で誤った番号を連続5回入力すると、電源が切れます。

ネットワーク暗証番号（ご契約時：任意の番号を設定）

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要となる番号です。次の操作で変更できます。

1 **i▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「ネットワーク暗証番号変更」**

iモードパスワード（ご契約時：0000）

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、iモード有料サービスの申し込み／解約などの際に必要な番号です。次の操作で変更できます。

1 **i▶「お客様サポート」▶「各種設定（確認・変更・利用）」▶「iモードパスワード変更」**

PIN1コード／PIN2コード（ご契約時：0000）

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。
PIN1コードは、ドコモUIMカードを取り付けたり、FOMA端末の電源を入れたりする際、使用者確認のために使います。
PIN2コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請、積算通話料金リセットを行うときなどに使います。
いずれも次の操作で変更できます。PIN1コードを変更するときは、PIN1コードON／OFFを「ON」にする必要があります。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶4セキュリティ／ロック▶5UIMカード（FOMAカード）設定▶1PIN1コード変更 or 2PIN2コード変更▶認証操作**

2 現在のPINコードを入力▶新しいPINコード欄と新しいPINコード（確認）欄に新しいPINコードを入力▶「登録」

Point

- 電源を入れたときにPIN1コード入力画面を表示させるようにするには、MENU▶8 4 5 3 1でPIN1コードON/OFFを「ON」にします。
- PIN2コードの入力を連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも電話の発着信、メールの送受信などはできますが、PIN1コードの場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロック解除コード

PIN1コード／PIN2コードがロックされたときに解除するための番号です。お客様ご自身で変更することはできません。PIN ロック解除コードの入力を連続10回間違えてドコモUIMカードがロックされた場合には、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

Point

- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないようにご注意ください。万が一他人に知られ悪用された場合でも、その損害について当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

各種ロック機能

さまざまなロック機能を目的に応じて使い分けてください。

オールロック

電話の応答、メールの受信、電源のON/OFF以外の操作ができなくなります。

起動： MENU ▶ 8 4 1 3 ▶ 認証操作

解除： QWERTYキーで端末暗証番号を入力▶「確定」

セルフモード設定

通信を伴うすべての機能が使えなくなります。

起動／解除： Fn2 を押しながら ◀ ▶「はい」

パーソナルデータロック

電話帳やメール、スケジュールなどの個人情報が表示されないようにします。

起動／解除： MENU ▶ 8 4 1 4 ▶ 認証操作 ▶ 1 or 2

ダイヤル発信制限

電話帳を利用する以外の方法では、電話を発信できなくなります。

起動／解除： MENU ▶ 8 4 1 6 ▶ 認証操作 ▶ 1 or 2

誤操作防止ロック

ディスプレイの表示を消して（画面オフ）タッチ操作をロックします。サイドキー（ O- を除く）と ⌒ と CLR をロックします。

起動／解除： O-（キー操作以外にも、画面オフ時間設定の時間になると起動）

画面オフロック

画面オフの状態から設定時間内に無操作だった場合に、タッチ操作やキー操作をロックします。

設定： MENU ▶ 8 4 1 2 ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶「登録」

一時解除： 画面オフ状態で O- ▶ 認証操作

タッチロック

発信中や通話中は、誤操作を防止するために自動的にタッチロックが起動します。

起動／解除： 発信中や通話中画面で O-（1秒以上）

ICカードロック

おサイフケータイや読み取り機からのトルカ取得、iC通信などが使えなくなります。

起動／解除： MENU ▶ * 4 1 ▶ 認証操作 ▶ 1 or 2

おまかせロック

FOMA端末紛失時などにドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけます。

■おまかせロックの設定／解除

0120-524-360　受付時間　24時間（年中無休）

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

※パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

基本の操作

電話の着信制限

発番号なし動作設定

電話番号が通知されない理由ごとに着信動作を設定します。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 5 発着信・通話機能 ▶ 2 発番号なし動作設定 ▶ 認証操作 ▶ 1 非通知設定～3 通知不可能 ▶ 各項目を設定 ▶「登録」

Point

- 発信者番号が通知されない理由は以下のとおりです。

非通知設定：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
公衆電話：公衆電話などから発信した場合
通知不可能：海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合

メモリ登録外着信拒否

電話帳に登録していない相手からの着信を拒否します。
相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。電話番号が通知されない相手からの着信は発番号なし動作設定に従って動作します。番号通知お願いサービスおよび発番号なし動作設定を併用することをおすすめします。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 5 発着信・通話機能 ▶ 5 メモリ着信拒否／許可 ▶ 2 メモリ登録外着信拒否 ▶ 認証操作 ▶ 1 ON or 2 OFF

お買い上げ時の状態に戻す

各種設定リセット

メニュー一覧に赤色の文字で書かれている機能をお買い上げ時の状態に戻します。⇒P100

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 スライド／時計／入力／他 ▶ 5 情報表示／リセット ▶ 4 各種設定リセット ▶ 認証操作 ▶ リセットする項目を選択 ▶「リセット」▶「はい」

データ一括削除

FOMA端末の保存データを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 7 スライド／時計／入力／他 ▶ 5 情報表示／リセット ▶ 5 データ一括削除 ▶ 認証操作 ▶「はい」

再起動中にデータが削除されます。待受画面が再表示されるまで電源を切らないでください。

Point

- データ一括削除をしても、お買い上げ時に登録されているデータは削除されません。
- ICカード内にデータが保存されていないおサイフケータイ対応ｉアプリのうち「iD 設定アプリ」はデータ一括削除によってお買い上げ時の状態に戻りますが、それ以外は削除されます。
- おサイフケータイ対応ｉアプリ以外のｉアプリはデータ一括削除によってお買い上げ時の状態に戻りますが、以前にバージョンアップしているとｉアプリ自体が削除されます。

電話／テレビ電話をかける

電話番号を入力

1 **▶ 123 ▶ 市外局番から電話番号を入力（80桁以内）▶ （音声電話）or 「テレビ電話」**

2 **通話が終わったら**

電話帳を利用

1 **▶ ▶ 電話帳検索**

お買い上げ時には、全件表示（50音）が表示されるように設定されています。

2 **相手をタッチ ▶ 「発信」（音声電話）or 「テレビ電話」**

相手をタッチして「作成」をタッチすると、ｉモードメールを作成できます。

リダイヤル／着信履歴を利用

リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 **▶ （リダイヤル）or （着信履歴）▶ 相手をタッチ ▶ 「発信」（音声電話）or 「テレビ電話」**

Point

- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPPで標準化された、3G-324M」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。
- 電話帳に電話番号を登録していると、メールなどの各種履歴からも発信できます。

国際電話

WORLD CALLを利用して、日本国内から国際電話をかけることができます。

✤ WORLD CALL

ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。FOMAサービスをご契約のお客様は、「WORLD CALL」もご契約いただいています（不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 申込手数料・月額使用料はかかりません。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせて請求させていただきます。
- 「WORLD CALL」の詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- 接続可能な国および通信事業者などの情報は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できなかったりする場合があります。

1 **▶ 123 ▶ 「010-国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力 ▶ （音声電話）or 「テレビ電話」**

イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

電話／テレビ電話を受ける

1 着信

音やランプ、ディスプレイの表示などで着信をお知らせします。

着信音量の調整：画面をタッチ▶[音量アイコン]▶音量調整パネル上を上下にスライド

着信音、バイブレータの動作を停止：[カメラキー]

応答保留：[終話キー]

2 「通話」or 「テレビ電話」

通話中は誤動作防止のため、自動的にタッチロックが動作します。解除するには[ロックキー]を1秒以上押します。

3 通話が終わったら[終話キー]

Point

- 電話に出られなかったときには、待受画面に[不在着信アイコン] 2（数字は件数）が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。
- 誤操作防止ロック中で画面オフの状態で着信したときは、解除スライダの[解除アイコン]を右方向にスライドしてから「通話」または「テレビ電話」をタッチします。

通話中の操作

通話中に操作できる便利な機能です。

通話中保留

保留中はメロディが流れます。テレビ電話のときは自分と相手にテレビ電話保留中画像が表示されます。

1 通話中に「保留」

Point

音声電話の保留解除：「解除」

テレビ電話の保留解除（保留前の画像を送信）：「解除」

テレビ電話の保留解除（カメラ映像を送信）：「自画像」

テレビ電話の保留解除（代替画像を送信）：「代替画像」

受話音量

通話中に受話音量を調整します。

1 通話中に画面をタッチ▶[音量アイコン]▶音量調整パネル上を上下にスライド

Point

- 音量設定の受話音量に反映されます。

電話に出られないとき

伝言メモ

伝言メモを「ON」にしておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音／録画されます。

1 **MENU▶4電話帳／履歴▶7伝言メモ／音声メモ▶1伝言メモ設定▶1ON**

待受画面にが表示されます。

Point

- 音声電話／テレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画することができます。最大件数に達すると、待受画面にが表示され、伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。
- 伝言メモを「ON」にしていなくても、着信中にを1秒以上押すと、その着信に限り1回だけ用件を録音／録画することができます。
- 応答ガイダンスが流れているときや伝言メモ録音中／録画中でも、CLRを押すと電話に出ることができます。ただし、電話に出るまでに録音／録画された内容は記録されません。

伝言メモの再生： MENU▶472▶メモを選択▶削除するかを選択

公共モード

公共性の高い場所にいることや運転中であることを相手に伝える、自動応答サービスです。

公共モード（ドライブモード）

着信したときに、電話に出られない理由とかけ直しをお願いするガイダンスが流れ、切断されます。

1 **待受画面でG（1秒以上）**

待受画面にが表示されます。

Point

- 公共モード（ドライブモード）中は着信動作をせずに、不在着信として記録されます。

解除： 待受画面でG（1秒以上）

公共モード（電源OFF）

電源を切っている間に着信したときに、電話に出られない理由とかけ直しをお願いするガイダンスが流れ、切断されます。

1 **▶123▶「＊25251」を入力▶**

公共モード（電源OFF）を設定しても、画面上にアイコンなどは表示されません。

Point

解除： ▶123▶「＊25250」を入力▶

設定の確認： ▶123▶「＊25259」を入力▶

ネットワークサービス

サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料
電源OFF・圏外時着信お知らせサービス	不要	無料
キャッチホン	必要	有料
転送でんわサービス	必要	無料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料
発信者番号通知サービス	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料
デュアルネットワークサービス	必要	有料
英語ガイダンス	不要	無料
マルチナンバー	必要	有料
2in1	必要	有料
OFFICEED	必要	有料
公共モード（ドライブモード）	不要	無料
公共モード（電源OFF）	不要	無料
メロディコール	必要	有料

- サービスエリア外や電波の届かない所ではネットワークサービスは利用できません。
- お申し込み、詳しいサービス内容については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 「OFFICEED」の詳細はドコモの法人向けサイト（http://www.docomo.biz/html/service/officeed/）をご確認ください。

ネットワークサービスの設定

サービス名	操作方法
留守番電話サービス	MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 8 NWサービス ▶ 1 留守番電話 ▶ 1 留守番電話サービス ▶ 次の操作を行う 開始：1 ▶「はい」▶「はい」▶ 呼出時間を入力 停止：3 ▶「はい」 再生：5 ▶ 1 or 2 ▶「はい」▶ ガイダンスに従って操作
キャッチホン	MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 8 NWサービス ▶ 2 キャッチホン／転送でんわ ▶ 1 キャッチホン ▶ 次の操作を行う 開始：1 ▶「はい」 停止：2 ▶「はい」
転送でんわサービス	MENU ▶ 8 設定／NWサービス ▶ 8 NWサービス ▶ 2 キャッチホン／転送でんわ ▶ 2 転送でんわ ▶ 次の操作を行う 開始：1 ▶「はい」▶「はい」▶ 電話番号を入力 ▶「確定」▶「はい」▶ 呼出時間を入力 停止：2 ▶「はい」

Point

- 留守番電話サービスと転送でんわサービスは、呼出時間を「0秒」にすると着信履歴に記録されません。
- キャッチホン開始後に、音声通話中に別の音声電話を着信したときは をタッチして応答します。保留相手がいるときは、「切替」をタッチすると通話相手を切り替えられます。

緊急通報

本FOMA端末から次の緊急通報に発信できます。

警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しています。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せずに行い、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。
- テレビ電話動作設定の音声自動再発信が「ON」のとき、FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。

海外利用

海外でも通話やｉモード利用ができます。

✤ 国際ローミング（WORLD WING）

海外でも、ドコモと提携している通信事業者のネットワークを利用して通話やｉモードなどが利用できるサービスです。
ご利用の際にはWORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- 3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHzに対応した国・地域でもご利用可能です。利用可能なエリアを確認してください。
- 海外でFOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの「国際サービスホームページ」
  - データBOX内のマイドキュメントにプリインストールされている「海外ご利用ガイド」

海外で利用できるサービス

通信サービス	3G	GSM/GPRS	GSM
音声電話※1	○	○	○
テレビ電話※1	○	×	×
ｉモード※2	○	○	×
ｉモードメール	○	○	×
SMS※3	○	○	○
ｉチャネル※2、4	○	○	×
ｉコンシェル※5	○	○	×
ｉウィジェット※6	○	○	×
GPSの現在地確認※7	○	○	×
パケット通信（パソコン接続）	○	○	×

※1 2in1利用時はBナンバーでの発信はできません。
マルチナンバー利用時は付加番号での発信はできません。
※2 ｉモード海外利用設定が必要です。
※3 宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
※4 ｉチャネル海外利用設定が必要です。ベーシックチャネルの自動更新もパケット通信料がかかります（日本国内ではｉチャネル利用料に含まれます）。
※5 ｉコンシェルの海外利用設定が必要です。インフォメーションの受信ごとにパケット通信料がかかります。
※6 ｉウィジェットローミング設定が必要です。複数のウィジェットアプリが通信した場合、1通信ごとにパケット通信料がかかります。

※7 GPS測位は無料です。ただし、位置情報から地図を表示した場合などはパケット通信料がかかります。

滞在国で電話をかける

滞在国外に電話をかける

1 ▶123▶＋▶「国番号（日本の場合は「81」）-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力▶（音声電話）or「テレビ電話」

イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

滞在国内に電話をかける

1 ▶123▶電話番号を入力▶（音声電話）or「テレビ電話」▶「元の番号で発信」

メッセージが表示されずに発信される場合もあります。

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

1 ▶123▶＋▶「81-先頭の0を除いた携帯電話番号」を入力▶（音声電話）or「テレビ電話」

Point

- 同じ滞在国にいる相手にかけても日本からの国際転送となるので、「＋」と日本の国番号「81」を入力して電話をかけてください。

滞在国で電話を受ける

1 電話がかかってくる▶「通話」or「テレビ電話」

Point

- いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となり、発信者には日本までの通話料、着信者には着信料がかかります。

帰国後の設定

FOMA端末の電源を入れると、自動的にFOMAネットワークに接続されます。自動的に接続されない場合は、ネットワークサーチ設定を「オート」に、3G/GSM切替を「自動」に設定してください。

ｉモードメール送信／SMS送信

ｉモードメール送信

ｉモードを契約するだけで、ｉモード対応端末間だけでなく、インターネット経由でe-mailのやりとりができます。

- ｉモードメールの詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

1 [メールキー]▶2新規メール▶「OK」

「OK」の代わりに「OK（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。

2 宛先、題名、本文を入力▶「送信」

送信に成功したメールは、自動的に送信メールのフォルダに保存されます。

Point

宛先を追加（宛先追加）： メール作成画面で宛先欄をタッチ▶「宛先追加」

ファイルの添付

最大10件、合計2Mバイトまでの画像や動画／ｉモーションなどを添付することができます。

1 メール作成画面で添付ファイル欄を選択▶添付するファイルを選択▶メールを編集▶「送信」

Point

- 大きなサイズのファイルを添付すると、送信までに時間がかかります。また、送信後に送信メールのフォルダから大量にメールが削除される場合があります。

添付ファイルの解除： メール作成画面で添付ファイル名をタッチ▶「添付解除」▶「はい」

SMS送信

メールアドレスのわからない相手に、携帯電話番号を宛先にして文字のメッセージを送信することができます。

ドコモ以外の海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国および海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 [メールキー]▶7SMS/エリアメール設定▶1SMS▶1SMS作成

2 宛先、本文を入力▶「送信」

Point

- SMSを受信すると、ｉモードメールの受信と同様に動作します。⇒P47

デコメール®/デコメアニメ®

デコメール®

文字サイズや背景色の変更、静止画やデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®の挿入ができます。装飾を指定してから文字を入力する方法と、文字を入力してから装飾を指定する方法があります。

〈例〉装飾を指定してから文字を入力

1 メール作成画面で本文欄を選択▶「デコレーション」▶装飾アイコンを選択▶装飾操作

	画像挿入		文字色変更
A	文字サイズ変更		背景色変更
	点滅		テロップ
	スウィング		文字位置
	ライン挿入		

2 メールを編集▶「送信」

Point

- 本文入力画面で「MENU」▶0をタッチすると、装飾結果を確認（プレビュー）できます。プレビュー画面の右下には入力できる残りのバイト数が表示されます。画面を戻すには、「戻る」をタッチします。

デコメアニメ®

メッセージや画像を挿入したFlash画像を使って表現力豊かなメールを作成できます。

1 ✉▶3新規デコメアニメ

2 デコメアニメ®本文欄を選択▶テンプレートをタッチ

「表示」をタッチすると、プレビュー表示できます。

〈デコメアニメテンプレート一覧画面〉

3 「読込み」

4 テキストや画像を編集

テンプレートの変更：「MENU」▶1デコメアニメテンプレート▶「はい」▶テンプレートをタッチ▶「読込み」

5 「完了」▶メールを編集▶「送信」

Point

- デコメアニメ®編集画面やテンプレートを読み込んだ後は、デコメアニメ®本文欄をタッチして「プレビュー」をタッチすると、プレビューできます。画面を戻すには、「戻る」をタッチします。

ｉモードメール受信

メールは特別な操作や設定をしなくても受信します（メール自動受信）。

1 ｉモードメールを受信

〈受信結果画面〉

2 1メール▶メールを選択

同時に複数のメールを受信したときやメール連動型ｉアプリフォルダに振り分けられたときは、フォルダ一覧が表示されます。

Point

メールBOX内のメールを見る： ✉▶1 or 4 or 5▶フォルダを選択▶メールを選択

返信

1 受信メールの一覧画面でメールをタッチ▶「MENU」▶1返信／転送▶1返信～5参照デコメアニメ返信

複数の宛先に送られたメールの場合は、返信先が選択できます。

「返信」「引用返信」「参照返信」の場合は、クイック返信本文選択画面から本文が選択できます。

確認画面が表示された場合は「OK」を選択します。「OK」の代わりに「OK（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。

2 メールを編集▶「送信」

ｉモード問い合わせ

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、ｉモードメールが届いていないかを問い合わせます。

1 ✉▶6ｉモード問い合わせ

メール自動振り分け設定

送受信メールを設定した条件でフォルダに振り分けます。

1 ✉▶9メール設定▶2メール振り分け設定▶1自動振り分け設定▶各項目を「ON」▶「登録」

2 2受信振り分け条件 or 3送信振り分け条件▶「追加」▶振り分け条件を設定▶振り分け先フォルダを選択▶優先順位を選択

メール
緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。iモード契約は不要です。

エリアメール受信

エリアメールを受信するとが点灯し、ランプの点滅や専用のブザー警報音、バイブレータの振動などで受信をお知らせします。

Point

- 通話中やおまかせロック中などは受信できません。

受信設定

エリアメールを受信するかどうかを設定します。

1 **▶7SMS／エリアメール設定▶2エリアメール設定▶1受信設定▶「ご注意」を確認▶利用するかどうかの欄を選択▶1利用する or 2利用しない▶「登録」**

電話帳
電話帳登録

電話帳にはFOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳の2種類があります。FOMA端末電話帳の登録方法を説明します。

1 **MENU▶4電話帳／履歴▶2電話帳登録▶名前を入力▶各項目を設定▶「登録」**

リダイヤル／着信履歴からの電話帳登録

1 **▶（リダイヤル）or （着信履歴）▶相手をタッチ▶「MENU」▶4登録▶1電話帳新規登録 or 2電話帳更新登録▶1本体 or 2ドコモUIMカード（FOMAカード）**

更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。

2 **各項目を設定▶「登録」**

Point

電話帳の検索：MENU▶41▶検索方法を指定

電話帳の修正：▶▶電話帳検索▶電話帳をタッチ▶「MENU」▶31▶各項目を設定▶「登録」▶「上書き登録」or「新規登録」

電話帳の削除：▶▶電話帳検索▶電話帳をタッチ▶「MENU」▶4▶1 or 2（▶全件削除では認証操作）▶「はい」

ドコモUIMカード電話帳の登録：MENU▶44▶名前を入力▶各項目を設定▶「登録」

iモードサイト／ホームページの表示

iモードでは、iモード対応端末のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、iモードメールなどのサービスを利用できます。また、フルブラウザを利用して、パソコン向けのホームページを表示することもできます。

- iモードはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやホームページからiモード対応端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- 異なるドコモUIMカードに差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、機種によってはサイトから取り込んだ静止画、iモーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- ドコモUIMカードのセキュリティ機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるドコモUIMカードに差し替えたり、ドコモUIMカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、設定内容はお買い上げ時の状態に戻ります。
- iモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。フルブラウザご利用時のパケット通信料は、データ通信量により高額になりますので、iモードパケット定額サービスを契約されることをおすすめします。

iモードサイトの表示

1 **i** ▶「**OK**」

「OK」の代わりに「OK（以後非表示）」を選択すると、確認画面は表示されなくなります。

2 **表示する項目を選択**

iモード中はディスプレイ上部にiが点滅します。

パソコン向けホームページの表示

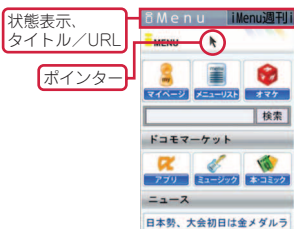
1 **MENU** ▶ **2** **iモード** ▶ **＊** **フルブラウザホーム**

ブラウザの切り替え

iモードからフルブラウザへ：サイト表示中に「MENU」▶ 5 2

フルブラウザからiモードへ：ホームページ表示中に「MENU」▶ 7 2

画面の見かたと操作

サイトやホームページ表示中は、パソコンでインターネットを閲覧する場合と同じように文字の入力、リンク先への移動、ラジオボタンやチェックボックスの選択などができます。

〈ブラウザ画面〉

スクロール：上下左右にスライド

- iモードの場合、左右にスライドすると表示履歴が表示されます。

カーソル／ポインターの移動（iモードの場合）：▲、▼、◀、▶

ページの移動：「戻る」／「進む」

表示履歴の表示：「画面」▶5

- 履歴のページ移動：左右にスライド
- 履歴のタブの切り替え：上下にスライド

タブを閉じる／ブラウザの終了：CLR▶「はい」

Bookmark

一度見たサイトやホームページを登録しておき、すばやく表示します。

登録：サイトやホームページ表示中に「MENU」▶12▶タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶「登録」▶登録先フォルダを選択

表示：MENU▶22▶フォルダを選択▶Bookmarkを選択

画面メモ

表示中のサイトやホームページの内容を、画面メモやキャプチャとして保存します。

登録：サイトやホームページ表示中に「MENU」▶22▶「はい」

表示：MENU▶23▶画面メモを選択

Point

- サイトやホームページ側が画面メモ保存不可の指定をしている場合などは保存できないことがあります。

ｉチャネルの利用

ニュースや天気などの情報がｉチャネル対応端末に配信されるサービスです。自動受信した情報が待受画面にテロップ表示されます。

●ベーシックチャネル

ドコモが提供するチャネルで、情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。

●おこのみチャネル

IP（情報サービス提供者）が提供するチャネルで、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。

ベーシックチャネル、おこのみチャネルともに詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、自動更新・詳細情報の閲覧ともに、国内の料金とは異なるパケット通信料がかかります。

- ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約が必要です。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

テロップ表示されている情報の詳細を表示するには次の操作を行います。

1 待受画面でCLR▶チャネルを選択

サイトに接続され、詳細情報が表示されます。

Point

- ｉチャネルの詳細情報表示中の操作は、ｉモードサイトやホームページ表示中の操作と同じです。⇒P50

地図・GPS機能の利用

- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、電波を受信できない、または受信しにくい場所では、位置情報の誤差が300m以上になる場合があります。
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。なお、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- 圏外では現在地確認以外のGPS機能をご利用いただけません。

地図

GPS対応ｉアプリを起動して、地図を表示します。

1 **MENU▶6 LifeKit▶7 地図・GPS▶1 地図**

Point

- このとき起動するのは、地図設定の地図選択で設定したｉアプリです。お買い上げ時には「地図アプリ」が設定されています。

現在地確認

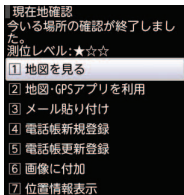
自分がいる位置を確認します。現在地確認の測位をした際のパケット通信料は無料ですが、位置情報を利用して地図を表示した場合などは、別途パケット通信料がかかります。

1 **MENU▶6 LifeKit▶7 地図・GPS▶6 現在地確認**

測位中は が点滅し、測位が終わると位置情報利用メニューが表示されます。

現在地確認
今いる場所の確認が終了しました。
測位レベル:★☆☆
1 地図を見る
2 地図･GPSアプリを利用
3 メール貼り付け
4 電話帳新規登録
5 電話帳更新登録
6 画像に付加
7 位置情報表示

〈位置情報利用メニュー〉

位置情報利用メニューからは、地図を見る、GPS対応ｉアプリを利用する、位置情報を貼り付けたメール作成画面を表示する、電話帳に登録する、などの操作ができます。

オートGPS

サービス提供者にお客様の現在地を定期的（おおむね5分に1回）に自動送信することで、お客様の居場所に合わせて、天気情報やお店などの周辺情報、観光情報をお知らせするサービスを利用できるようになります。

- オートGPS機能に対応しているサービスを利用するには、各サービスのオートGPS機能対応iアプリから設定してください。
- オートGPS機能のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせを確認してください。また、これらのサービスの利用は有料となる場合があります。
- お客様の利用方法によっては、定期的な通信によりFOMA端末の消費電力が増加しますのであらかじめご了承ください。
- 電池残量が少なくなった場合は「低電力時動作設定」を使ってオートGPS機能を停止し、電池の消費を抑えることができます。

オートGPS動作設定

オートGPS機能を利用するかどうかを設定します。

1 MENU▶6LifeKit▶7地図・GPS▶0オートGPS▶2オートGPS動作設定▶1ON or 2OFF

ドコモ提供サービス設定

iコンシェルまたはドコモが提供する各種サービスに連動したオートGPSのサービスを受けるため、ドコモに定期的に位置情報を送信するかどうかを設定します。サービスを利用するには、別途お申し込みが必要です。

1 MENU▶6LifeKit▶7地図・GPS▶0オートGPS▶1ドコモ提供サービス設定▶「利用する」or「利用しない」▶「OK」or「はい」

設定サービス一覧

オートGPSサービス情報を設定しているiアプリ名（サービス名）や利用状況を一覧で表示します。

1 MENU▶6LifeKit▶7地図・GPS▶0オートGPS▶3設定サービス一覧

サービス（オートGPS機能含む）を解除：
iアプリ名（サービス名）をタッチ▶「MENU」▶1解除▶11件解除～3全件解除▶「はい」

静止画撮影／動画撮影

撮影画面の見かた

〈静止画撮影画面〉

〈動画撮影画面〉

① 自動シーン認識アイコン • タッチすると、認識中のシーンに固定できます。	② ズーム比率 • 画面をスライドするとズーム調整パネルが表示され、拡大／縮小できます。
③ ：保存先 ：撮影種別 ：ライト ：接写撮影 ：セルフタイマー ：顔検出・スマイルファインダー ：共通再生モード インジケータ、カウンタ	④ ：シーン・効果 ：明るさ ：ホワイトバランス ：フレーム ：手ぶれ補正 ：歪み補正 ：連続／パノラマ FINE：画質 ：品質 ：サイズ制限 1024×600：画像サイズ

静止画撮影

1 （1秒以上）

2 カメラを被写体に向けて［シャッター］or

3 「保存」or

動画撮影

1 MENU ▶ 6 Lifekit ▶ 4 カメラ ▶ 2 動画撮影

2 カメラを被写体に向けて「撮影」or 📷

3 撮影を終了したいときに「停止」or 📷

4 「保存」or 📷

Point

- 撮影した画像の確認画面で電池残量がなくなると、画像は自動的に保存されます。
- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置すると、撮影する画像が劣化することがあります。
- 撮影待機中に約3分間操作をしないと、カメラは終了します。
- FOMA端末を開き、決定を押しても静止画／動画を撮影できます。

静止画／動画切り替え：静止画撮影画面で［MENU］▶「MENU」▶ 0 ▶ 1 or 動画撮影画面で「MENU」▶ 8 ▶ 1

撮影した静止画を見る

1 MENU ▶ 5 データBOX ▶ 1 マイピクチャ ▶ 1 カメラ ▶ 画像を選択

撮影した動画を再生する

1 MENU ▶ 5 データBOX ▶ 4 ｉモーション／ムービー ▶ 2 カメラ ▶ 動画を選択

Point

- 撮影した静止画／動画は待受画面に設定したり、電話帳などに登録したりできます。

ファイル添付のメール作成：一覧画面で画像をタッチ ▶「✉作成」

さまざまな方法で撮影する

静止画撮影画面が表示されているときには、サブメニューから撮影方法を変更することができます。
ここでは、代表的な撮影方法を紹介します。

撮影方法	効果と操作方法
シーン・効果	カメラ起動時は被写体を認識して最適なシーンに切り替わり、ピントが合います（自動シーン認識）。 **シーン・効果の設定：**［MENU］▶「MENU」▶ 1 ▶ 項目を選択
スマイルファインダー	被写体の笑顔が設定値に達したときにシャッターが切れます。 **笑顔度の設定：**［MENU］▶「MENU」▶ 3 2 ▶ 笑顔度を選択
セルフタイマー	カメラを置いて自分を入れた写真を撮る以外にも、手ぶれ防止のために利用できます。 **シャッターが切れるまでの秒数を設定：**［MENU］▶「MENU」▶ 5 ▶ 秒数を選択
連続撮影／4コマ撮影／連続パノラマ撮影	指定した枚数での連続撮影や4コマ撮影、カメラの自動合成技術を利用したパノラマ撮影ができます。 **撮影方法の選択：**［MENU］▶「MENU」▶ 6 ▶ 撮影方法を選択

Music&Videoチャネル

夜間に最大1時間程度の番組が自動配信されるサービスで、最大30分程度の高画質な動画番組を楽しむこともできます。

- Music&Videoチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。お申し込みにはｉモード契約およびｉモードパケット定額サービス契約が必要です。
- 番組によっては、Music&Videoチャネルのサービス利用料のほかに情報料がかかる場合があります。
- Music&Videoチャネルにご契約いただいた後、Music&Videoチャネル非対応のFOMA端末にドコモUIMカードを差し替えた場合、Music&Videoチャネルはご利用いただけません。ただし、Music&Videoチャネルを解約されない限りサービス利用料がかかりますので、ご注意ください。
- 国際ローミング中は番組設定や取得はできません※。海外へお出かけの際は、事前に番組の配信を停止してください。また、帰国された際は、番組の配信を再開してください。

※国際ローミング中に番組設定や取得を行おうとした場合、ｉモード接続を行うためパケット通信料がかかりますのでご注意ください。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

番組の設定

Music&Videoチャネル番組提供サイトへのマイメニュー登録が必要な場合があります。

1 **MENU ▶ 9 MUSIC ▶ 2 Music&Videoチャネル ▶「番組設定」▶ 画面の指示に従って番組を設定**

番組の再生

1 **MENU ▶ 9 MUSIC ▶ 2 Music&Videoチャネル ▶ 番組を選択**

プレーヤー画面では次のような操作ができます。

一時停止／再開：「PAUSE／PLAY」
音量調整：上下にスライド
巻き戻し／早送り：左右にスライドし、画面の端で指を止める（指を離すと通常の再生に戻る）
チャプターの先頭に移動：再生時間が3秒経過後左にすばやくスライド
前のチャプター：再生時間が3秒以内に左にすばやくスライド
次のチャプター：右にすばやくスライド

ミュージックプレーヤー

サイトからダウンロードした着うたフル®、音楽CDやインターネットなどからパソコンに取り込んだWindows Media® Audio（WMA）ファイルを再生します。ミュージックプレーヤーの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。Windows Media Playerについては、お使いのパソコンの各パソコンメーカにお問い合わせください。

着うたフル®のダウンロード

1 サイトを表示▶着うたフル®を選択▶「保存」▶「保存」or「SD保存」

パソコン内のWMAファイルをmicroSDカードに保存

パソコンとの接続には付属のUSBケーブルF01が必要です。

1 MENU▶6LifeKit▶2赤外線・iC・PC連携▶5USBモード設定▶3MTPモード▶「はい」

2 Windows Media Playerを起動した状態でパソコンとFOMA端末を付属のUSBケーブル F01で接続▶パソコンからWMAファイルを転送

音楽データの再生

1 MENU▶9MUSIC▶1ミュージックプレーヤー▶フォルダまたはプレイリストを選択▶音楽データを選択

プレーヤー画面では次のような操作ができます。

一時停止／再開：「PAUSE／PLAY」or 📷

音量調整：上下にスライド

巻き戻し／早送り：左右にスライドし、画面の端で指を止める（指を離すと通常の再生に戻る）

曲の先頭に移動：再生時間が3秒経過後左にすばやくスライド

前の曲：再生時間が3秒以内に左にすばやくスライド

次の曲：右にすばやくスライド

クイックプレイリスト登録：画面をダブルタッチ or 📷（すばやく2回）

終了：📷（1秒以上）

Point

- インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- FOMA端末、microSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。
- 「着うたフル」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

ｉアプリ／ｉウィジェット

ｉアプリはｉモード対応端末用のソフトで、株価や天気情報などを自動更新したり、ネットワークに接続していない状態でもゲームを楽しんだりすることができます。ｉウィジェットは、電卓や時計、メモ帳、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール（ウィジェットアプリ）に簡単にアクセスすることができる便利な機能です。
いずれもｉモードサイトやIP（情報サービス提供者）などが提供するサイトからダウンロードすることができます。詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- ご利用には別途パケット通信料がかかることがあります。
- ダウンロードやｉウィジェット画面を表示する場合などは別途パケット通信料がかかることがあります。
- ｉウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することがあります。
- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- お買い上げ時に登録されているｉアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。
  「@Fケータイ応援団」
  （2011年5月現在）
  ｉMenu ⇒ メニューリスト ⇒ ケータイ電話メーカー ⇒ @Fケータイ応援団

サイトアクセス用QRコード

※アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

ダウンロード

1 **サイトを表示▶ｉアプリを選択▶ダウンロード完了後に「はい」or「いいえ」**

ダウンロードしたｉアプリは、ソフト一覧の「マイフォルダ」に保存されます。メール連動型ｉアプリをダウンロードすると、メールのフォルダ一覧にメール連動型ｉアプリ用のフォルダが自動的に作成されます。

ｉアプリの起動

1 **MENU▶3ｉアプリ▶1ソフト一覧▶フォルダを選択▶ｉアプリを選択**

Point

おサイフケータイ対応ｉアプリを起動：
MENU▶*1▶ｉアプリを選択
GPS対応ｉアプリを起動： MENU▶675▶ｉアプリを選択

ｉウィジェットの起動

1 **待受画面をタッチ▶待受ランチャーの「機能」から「ｉウィジェット」▶ウィジェットアプリを選択**

ｉモーション／ムービーの再生

サイトやホームページからｉモーションやムービー（映像や音など）を取得することができます。

✤ 再生可能なｉモーション

種類	再生動作
標準タイプ（保存可※）	ｉモーションのデータを取得しながら再生 • 取得完了後は、データを取得後に再生するｉモーションと同様に操作可能です。
	ｉモーションのデータをすべて取得後に再生
ストリーミングタイプ（保存不可）	ｉモーションのデータを取得しながら再生 • 再生終了後、ｉモーションのデータは消去されます。

※保存できないｉモーションもあります。

✤ 再生可能なムービー

種類	配信方式	再生動作
ストリーミングタイプ（保存不可）	ライブ配信	リアルタイムに配信 • 一時停止／再生再開／再生位置の移動などはできません。
	オンデマンド配信	あらかじめ用意されたムービーを配信

ｉモーション・ムービーの取得

1 サイトやホームページ表示中にｉモーションやムービーを選択

データ取得中またはダウンロード完了後に再生が開始されます。

Point

• ムービーのダウンロードなど、データ量の多い通信を行うと通信料が高額になりますので、ご注意ください。

動画／ｉモーションの再生

1 MENU ▶ 5 データBOX ▶ 4 ｉモーション／ムービー ▶ フォルダを選択 ▶ 動画／ｉモーションを選択

再生中は次のような操作ができます。

音量調整：タッチして表示される音量バーを上下にスライド
巻き戻し／早送り再生：左右にスライド
一時停止：「PAUSE」
再生／先頭から再生（停止中）：「PLAY」
しおりを設定：「しおり」▶「はい」
停止：「STOP」

おサイフケータイの利用

●おサイフケータイ
おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機にFOMA端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。さらに、読み取り機にFOMA端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、セキュリティも充実しています。詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

- FOMA端末の故障により、ICカード内データ（電子マネー、ポイントなど含む）が消失、変化してしまう場合があります（修理時など、FOMA端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、iCお引っこしサービスによる移し替えを除き、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるサービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データの消失、変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- FOMA端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

●トルカ
トルカはFOMA端末で取得できる電子カードで、チラシやレストランカード、クーポン券などの用途で便利にご利用いただけます。トルカは読み取り機やサイトなどから取得でき、メールや赤外線通信、iC通信、microSDカードを使って交換できます。詳細は『ご利用ガイドブック（iモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

おサイフケータイの利用手順

おサイフケータイ対応iアプリを起動して、チャージ（入金）したり、残高や利用履歴を確認したりします。おサイフケータイ Webプラグインに対応したおサイフケータイ対応サービスは、サイトからサービスを利用することができます。

1 必要に応じておサイフケータイ対応iアプリをダウンロードする

2 おサイフケータイ対応iアプリを起動してサービスの初期設定を行う

3 FOMA端末のマークを読み取り機にかざす

このとき、おサイフケータイ対応iアプリを起動する必要はありません。

Point

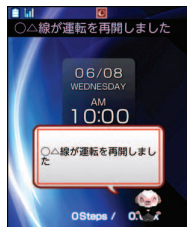
- マークを読み取り機にかざしてもうまく認識されない場合は、前後左右にずらしてかざしてください。
- 「ICカードロック」を使って、ICカード機能を使用できないようにすることができます。⇒P36

ｉコンシェルの利用

ｉコンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、待受画面上のキャラクタ（マチキャラ）がお客様の生活をサポートするサービスです。お客様からお住まいのエリア情報、スケジュール、トルカ、電話帳などをお預かりして、お客様の生活エリアや居場所、趣味趣向にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。また、FOMA端末内のスケジュールやトルカなどを自動更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりします。

- ｉコンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはｉモードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービスの契約のないお客様がｉコンシェルにご契約になると、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- ｉコンシェルを海外でご利用になるには、海外利用設定が必要です。国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります（国内での通信料とは異なります）。
- コンテンツによっては、ｉコンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- ｉスケジュール・トルカ・電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- 詳細は『ご利用ガイドブック（ｉモード〈FOMA〉編）』をご覧ください。

インフォメーション受信と詳細表示

インフォメーションは自動的に送られてきます。インフォメーションを受信すると下の画面が表示されます。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

〈インフォメーション受信画面〉

1 **MENU ▶ # ｉコンシェル ▶ インフォメーションを選択**

インフォメーションにスケジュールやトルカの添付、サイトへのリンク項目がある場合は、アイコンを選択すると内容を確認できます。

便利ツール
スケジュール帳

FOMA端末でスケジュールを管理することができます。

スケジュールの登録

1 MENU ▶ 7アクセサリー ▶ 1スケジュール帳 ▶「MENU」▶ 1新規作成

2 左右にスライドし、新規作成画面、スケジュール連絡先画面、アラーム設定画面、その他の設定画面に切り替えながら各項目を設定 ▶「登録」

Point

待受画面からの簡単な登録（クイックスケジュール）： 待受画面で日付をキー入力（6月8日10時0分の場合、「06081000」）▶ ▲ ▶ スケジュールの登録

スケジュールの確認

1 MENU ▶ 7アクセサリー ▶ 1スケジュール帳 ▶ スケジュールの登録日を選択 ▶ スケジュールを選択

便利ツール
目覚まし

指定した時刻に目覚ましを鳴らします。

1 MENU ▶ 7アクセサリー ▶ 3目覚まし ▶ 番号を選択

2 左右にスライドし、目覚まし設定画面、音設定画面、その他設定画面に切り替えながら各項目を設定 ▶「登録」

Point

- 目覚ましが鳴っているときに[電源/終話]を押すと目覚ましが終了します。約1分間何も操作しない、[O-]、[マウス]、Sh、Fn1、Fn2、Ctrl、Alt、[Windows]以外のキーを押す、「停止」または画面のタッチ操作で目覚ましが停止またはスヌーズ動作になります。

便利ツール
バーコードリーダー

JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コードの情報を読み取って利用することができます。

1 MENU ▶ 6LifeKit ▶ 1バーコードリーダー ▶ アウトカメラをコードに合わせる

コードの読み取りが完了すると確認音が鳴ってデータが表示されます。

Point

- 大きなサイズのコードを読み取るときは、Hを押して接写撮影をOFFに切り替えてください。また、▶でズームをOFFにするとコードを認識しやすくなる場合があります。

Bluetooth機能

FOMA端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。Bluetooth機器の使用方法は、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

※すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

✤ 対応バージョン

Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR

✤ Bluetooth機能でできること

- カーナビなどのBluetooth機器（市販品）とBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリーで通話できます。また、Bluetoothヘッドセット（市販品）などとBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ワイヤレスイヤホンセット 02（別売）やBluetooth対応オーディオ機器（市販品）とBluetooth接続すると、音声や音楽などをワイヤレスで再生したり、リモコン操作したりできます。

Bluetooth機器の登録

登録するBluetooth機器をあらかじめ登録待機状態にしてください。

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 9 Bluetooth ▶ 3 新規機器登録 ▶「OK」**

Bluetooth機器がサーチされた後、登録機器リスト画面が表示されます。

2 **登録するBluetooth機器を選択 ▶ Bluetoothパスキーを入力**

サービス選択画面が表示されます。続けてBluetooth接続する場合は「Bluetooth機器との接続」操作2に進みます。

Point

- Bluetoothパスキーについては、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。FOMA端末どうしで登録する場合は、双方で同じBluetoothパスキーを入力します（数字4～16桁のBluetoothパスキーを決めておいてください）。ワイヤレスイヤホンセット 02の登録時は、Bluetoothパスキーの入力は不要です。

Bluetooth機器との接続

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 9 Bluetooth ▶ 2 登録機器リスト ▶ 接続する Bluetooth機器を選択**

サービス選択画面が表示されます。

2 **接続するサービスを選択 ▶「接続」**

microSDカードを利用する

microSDカードには、静止画や動画、メロディなどを保存したり、電話帳やスケジュールなどのデータをバックアップしたりすることができます。

- F-07Cは、市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年5月現在）。最新の動作確認情報については、下記をご覧ください。

ｉモードから： i Menu ⇒ メニューリスト ⇒ ケータイ電話メーカー ⇒ @Fケータイ応援団 ⇒ メモリーカード対応情報

サイトアクセス用QRコード

パソコンから： FMWORLD（http://www.fmworld.net/）⇒ 携帯電話 ⇒ microSD対応状況、microSDHC対応状況

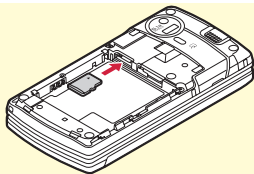
※アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

✤ microSDカード使用時の留意事項

- パソコンなど他の機器からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からmicroSDカード／microSDHCカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。

取り付け

1 **FOMA端末の電源を切り、電池パックを取り外す**

2 **microSDカードの金属端子面を下にしてスロットにゆっくり差し込み（下図）、「カチッ」と音がするまでさらに差し込む**

※microSDカードを取り外すには、microSDカードを軽く押し、飛び出させてから引き出します。

初期化

microSDカードは、本FOMA端末で初期化してから使用してください。

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 3 microSD ▶「初期化」▶「完全初期化」▶ 認証操作 ▶「はい」**

Point

- 初期化によって、microSDカード内のデータは消去されます。

FOMA端末とmicroSDカード間でデータをやり取りする

FOMA端末内の大切なデータは、microSDカードに保存しましょう。

microSDカードへ移動／コピー

〈例〉画像の移動／コピー

1. MENU ▶ 5 データBOX ▶ 1 マイピクチャ ▶ フォルダを選択
2. データをタッチ ▶「MENU」▶ 5 移動／コピー ▶ 4 microSDへ移動 or 5 microSDへコピー ▶ 移動／コピー方法を選択 ▶「はい」

Point

- FOMA端末外への出力が禁止されているデータは移動やコピーができません。

FOMA端末へ移動／コピー

〈例〉マイドキュメントの移動／コピー

1. MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 3 microSD ▶ 3 マイドキュメント ▶ フォルダを選択
2. データをタッチ ▶「MENU」▶ 3 移動／コピー ▶ 1 本体へ移動 or 2 本体へコピー ▶ 移動／コピー方法を選択 ▶「はい」

一括バックアップ

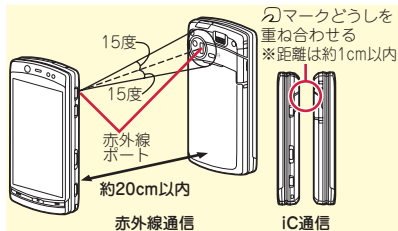
FOMA端末の電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、Bookmark、設定項目データを一度にmicroSDカードにバックアップすることができます。2回目以降は上書き保存になります。

1. MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 3 microSD ▶ 8 バックアップ／復元 ▶ 1 microSDへバックアップ
2. 「はい」▶ 認証操作
   電話帳が登録されていない場合、操作3は不要です。
3. 「はい」or「いいえ」

Point

- 電話帳に登録されている動画、100Kバイトを超えた分のメール添付ファイルはバックアップされないなど、いくつかの制限があります。
- 操作1の最後で「2 本体へ復元」を選択すると、FOMA端末側の最新データは削除され、上書き保存されます。

赤外線通信／iC通信

赤外線通信機能やiC通信機能が搭載されたFOMA端末などとデータの送受信ができます。相手側の赤外線ポートやマークの位置を確認し、下図を参考に通信してください。

Point

- 全件送受信の場合は、送受信側であらかじめ数字4桁の認証パスワードを決めておきます。赤外線の場合は、先に受信側の端末を待機状態にします。
- 全件送受信では、受信側に保存されていたデータは削除され、新しく受信したデータが保存されます。ただし、削除されない場合（「プリインストール」フォルダ内のデータなど）や保存先、フォルダ名、データの並び順などが送信側と異なる場合があります。
- 充電中はiC通信によるデータの送信はできません。

できること	操作
1件赤外線／iC送信 〈例〉電話帳	送りたい電話帳をタッチ▶「MENU」▶8▶1 or 3▶「はい」
全件赤外線／iC送信	MENU▶62▶2 or 3▶送信項目を選択▶認証操作▶認証パスワード入力▶「はい」
1件赤外線受信	MENU▶6211▶「はい」▶送信側からデータ送信▶受信後に「はい」
1件iC受信	送信側からデータ送信▶受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる▶受信後に「はい」
全件赤外線受信	MENU▶6212▶認証操作▶認証パスワード入力▶「はい」▶送信側からデータ送信▶受信後に「はい」
全件iC受信	送信側からデータ送信▶受信側を待受画面にしてマークを重ね合わせる▶認証操作▶認証パスワード入力▶再度マークを重ね合わせる▶受信後に「はい」

パソコンと接続する

FOMA端末とパソコンを接続して、microSDカード内のWMAファイルや画像などをやりとりすることができます。
また、インターネットに接続して、データ通信を行うこともできます。

- 付属のUSBケーブル F01が必要です。
- Windows 7の起動中/スリープ中は、接続したパソコンとデータの送受信ができません。
- データ通信やドコモケータイdatalinkを使ったデータ転送を行うには、FOMA通信設定ファイル(ドライバ)をパソコンにインストールする必要があります。詳しくは「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。
  「FOMA通信設定ファイル」と「パソコン接続マニュアル」は、ドコモのホームページからダウンロードできます。
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/

USBモード

パソコンからFOMA端末内のmicroSDカードのデータを操作することができます。

- USBモードが「microSDモード」「MTPモード」の場合は、FOMA通信設定ファイル(ドライバ)のインストールは不要です。

1 **MENU ▶ 6 LifeKit ▶ 2 赤外線・iC・PC連携 ▶ 5 USBモード設定 ▶ モードを選択**

通信モード:パソコンと接続したパケット通信や64Kデータ通信、データ転送をするときに設定します。

microSDモード:microSDカードをドライブとして認識させ、パソコンからデータを操作するときに設定します。

MTPモード: Windows Media PlayerでmicroSDカードに音楽データを転送するときに設定します。

2 **「はい」**

ドコモ コネクションマネージャ

「ドコモ コネクションマネージャ」は、ドコモのデータ通信を行うのに便利なソフトウェアです。お客さまのご契約状況に応じたパソコン設定を簡単に行ったり、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認したりできます。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/

ドコモケータイdatalink

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/
ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。
また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。

Windows 7モードをお使いになる上でのご注意

Windows 7モードをお使いになる前に、あらかじめご確認ください。

- Windows 7モードの使用中にFOMA端末の温度が高くなることがあります。
  また、急に高温になったり、比較的低温でもその状態が長時間続いたりした場合、自動的にケータイモードに切り替わります。これはやけどなどの危険性を避けるための機能で、故障ではありません。
- Windows 7モードにおいて電池残量1になると強制的にWindows 7モードは休止状態になり、自動的にケータイモードに切り替わります。
- 付属のACアダプタ F04とUSBケーブル F01、またはクレードルセット F01（別売）を使っての充電を推奨します。Windows 7モードの使用中に、USBケーブルを使いパソコンから充電を行うと、充電量が追いつかず電池切れとなる場合があります。
- ACアダプタ F04とUSBケーブル F01、またはクレードルセット F01を使って充電する際、「USBケーブルで接続中ですが、バッテリーは充電されませんのでご注意ください。」と表示された場合には、FOMA端末からUSBケーブル F01のmicroUSBプラグを、またはクレードルからFOMA端末を一旦取り外してから、再度まっすぐ差し直してください。
- Windows 7モードの使用中にCPUに高負荷がかかったり最大輝度での使用を行うなど、利用状況によってはACアダプタ接続中においても電池から放電する場合があります。
- Windows 7モードの使用中に、次の機能を実行するとWindowsが強制シャットダウンします。ご注意ください。
  - オールロック
  - おまかせロック
  - 親子モード（PCロックON）
- USBモードのmicroSDモードまたはMTPモードを利用するときには、Windows 7モードを終了してください。
- ご利用環境によっては、動画再生時においてコマ落ち、音楽・音声再生時に音飛びなどが生じる場合があります。
- 外部出力表示は解像度1280×720、60ヘルツでご使用ください。外部出力表示が乱れ続ける場合は、次の手順で60ヘルツに変更してください。
  ① 外部出力表示中に[Windowsキー]を押し、外部出力の表示が消えWindows 7ランプが点滅するのを確認（数分かかります）
  ② [Windowsキー]を押し、Windows 7モードの画面を表示
  ③ デスクトップの何もないところを右クリック⇒表示されるメニューで「画面の解像度」⇒「詳細設定」⇒「モニター」⇒「画面のリフレッシュレート」で「60ヘルツ」を選択し「OK」⇒「OK」
- Windows 7モードの使用中は、お使いになる機能によってケータイモードの機能が制限される場合があります。

電話やｉモードメールの着信について

Windows 7モードの使用中は、電話やｉモードメールの着信は次のように動作します。

通信機能を使用していない場合

電話の着信	○
ｉモードメール	△
メッセージR/F	△
エリアメール	○
SMS	△
位置情報の要求	○
オートGPS	×
おまかせロック	○
ｉコンシェル	△
ｉチャネル	△
Music&Videoチャネル	△

○：着信するとケータイモードに自動で切り替わります。
△：着信ランプが点灯します（ｉチャネル、Music&Videoチャネルを除く）。Windows 7モードのまま、通信は維持されます。
×：着信できません。

mopera Uなどのダイヤルアップによるパケット通信中

音声電話の着信	○
テレビ電話の着信	×
ｉモードメール	×
メッセージR/F	×
エリアメール	○
SMS	△
位置情報の要求	○
オートGPS	×
おまかせロック	○
ｉコンシェル	×
ｉチャネル	×
Music&Videoチャネル	×

○：着信すると通信が切断され、ケータイモードに自動で切り替わります。
△：着信ランプが点灯します。Windows 7モードのまま、通信は維持されます。
×：着信できません。

無線LANによる通信中

電話の着信	○
ｉモードメール	△
メッセージR/F	△
エリアメール	○
SMS	△
位置情報の要求	○
オートGPS	×
おまかせロック	○
ｉコンシェル	△
ｉチャネル	△
Music&Videoチャネル	△

○：着信すると通信が切断され、ケータイモードに自動で切り替わります。
△：着信ランプが点灯します（ｉチャネル、Music&Videoチャネルを除く）。Windows 7モードのまま、通信は維持されます。
×：着信できません。

おサイフケータイ／トルカ

- ケータイモードでおサイフケータイ対応ｉアプリを使用しているときにWindows 7モードへ切り替えた場合は、おサイフケータイの機能が使用できない場合があります。
- Windows 7モードでは、次の画面は表示されません。
  - 読み取り機能利用の確認画面
  - 読み取り機能無効を示す画面
  - トルカ取得で詳細ダウンロードするためのサイト接続確認画面
- Windows 7モードでは、トルカ取得確認音は鳴りません。

カメラ

Windows 7モードでは、アウトカメラを使用した静止画や動画の撮影はできません。

Bluetooth

Windows 7モードでは、Bluetooth機能は利用できません。

GPS

Windows 7モードでは、GPS機能は利用できません。

赤外線通信／iC通信

Windows 7モードでは、赤外線通信やiC通信は利用できません。

キーボード／文字入力

- Windows 7モードでの文字入力は「Microsoft® Office IME 2010」のヘルプをご覧ください。
  - デスクトップ画面でタスクバーの ▶「Microsoft® Office IME 2010」▶「目次とキーワード」
- QWERTYキーを使って入力できない文字は、スクリーンキーボードを利用してください。
  - デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「コンピューターの簡単操作」▶「スクリーンキーボード」

ソフトウェアの制限

Windows 7モードでは、一部のソフトウェアは利用できません。

例

- 1024×600を超える解像度が必要なソフトウェア
- ローテーション機能に対応していないソフトウェア
- Windows® Media Centerを最大化しての利用

Point

- Windows® Media Centerを最大化してしまった場合は、Altを押しながら決定を押して最大化を解除してください。

Windows 7

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本製品にインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。

なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1.本ソフトウェアの使用および著作権

お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本製品でのみ使用できます。なお、お客様は本製品のご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。

2.バックアップ

お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。

3.本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み

本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。

4.複製

（1）本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。

（2）前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。

5. 第三者への譲渡

お客様が本ソフトウェア（本製品に添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本製品に添付されている媒体を本製品とは別に第三者へ譲渡することはできません。

6.改造等

お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。

7.壁紙の使用条件
本製品に「FMV」ロゴ入りの壁紙がインストールされている場合、お客様は、その壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。

8.保証の範囲
(1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本製品をご購入いただいた日から90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本製品をご購入いただいた日から1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
(2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
(3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。

9.ハイセイフティ
本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

記

原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

Windows 7モードのセットアップ

初めてWindows 7モードを使用する場合は、Windows 7のセットアップや通信の設定などの初期設定が必要です。

セットアップ時のご注意

- セットアップには時間がかかります。時間に余裕をもって作業してください。(所要時間の目安：約60分)
- セットアップ中は、電話の着信やメールの受信など、通信を必要とするすべての機能が利用できません。
- Windows 7のセットアップでは、通信環境をあらかじめ用意しておく必要はありません。
- Windows 7のセットアップは、必ずアダプタを接続し、充電した状態で行ってください。
- Windows 7のセットアップが終わるまでは、絶対に電源を切らないでください。操作の途中で電源を切ると、Windowsが使えなくなる場合があります。
- Windowsのセットアップに失敗、もしくはWindowsのセットアップ中に電源が切れると、「Windowsのセットアップ」画面が表示されず、次のような画面が表示される場合があります。

この場合は、「お買い上げの状態に戻す」をご覧になり、リカバリを実行してください。⇒P87

- セットアップ中は［Windows］を押さないでください。
- セットアップ中に省電力状態（スリープ、休止状態）に移行した場合は、ケータイモードに切り替わります。その場合、［Windows］を押してWindows 7 モードに切り替えると復帰します。

Windows 7のセットアップ

1 **FOMA端末にアダプタを接続し、充電状態にする**

2 **［Windows］**

「初めてWindows 7モードを使うときにはセットアップが必要です。」画面が表示されます。

3 **［Ctrl］と［Alt］を押しながら［P］**

この後は画面が何度か変化して、暗くなったり再起動したりします。
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。

4 **ユーザー名を入力▶「次へ」**

12文字以内の半角英数字でお好きな名前を入力してください。@、%、/、-などの記号や空白は入力しないでください。数字を使う場合は、英字と組み合わせてください。コンピューター名は変更しないでください。

5 パスワードを入力▶「次へ」

パスワードは入力しなくても次の画面に進むことができます。パスワードを入力した場合は、別にメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

6 ライセンス条項を確認して2箇所にチェック▶「次へ」

7「推奨設定を使用します」

ここで「ワイヤレスネットワークへの接続」という画面が表示された場合は、「スキップ」をクリックします。

自動的にWindows 7が再起動して「必ず実行してください」画面が表示されます。

8「必ず実行してください」画面で「実行する」

「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら「はい」をクリックします。

9「設定完了」画面で「OK」

自動的にWindows 7が再起動して、Windows 7のセットアップが完了します。

引き続き、セキュリティ対策ソフトの設定を行います。

Point

- Windows 7のセットアップが終わった後に[ボタン]を押しても動作しない場合があります。この場合は、Windows 7をいったんシャットダウンまたは再起動し、再度Windows 7モードに切り替えてください。

セキュリティ対策ソフトの設定

コンピュータウイルス感染防止や不正アクセス防止のために、セキュリティ対策ソフトを設定します。

- あらかじめ本FOMA端末にインストールされている「ノートンインターネットセキュリティ」は、初期設定が完了してから90日間アップデートしてお使いいただけます。
- お客様ご自身で用意したセキュリティ対策ソフトを使用する場合は、「ノートンインターネットセキュリティ」をアンインストールしてください。
- インターネットの接続が完了した後には「Live Update」を実行してください。
- 自動更新の設定を行った場合は更新情報の確認が自動で行われるため、お客様の意図しない間にインターネットへ接続する場合があります。パケット通信による接続を設定している場合は通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

1 [ボタン]または「デスクトップ」ボタン

2 デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「Norton Internet Security」▶「Norton Internet Security」

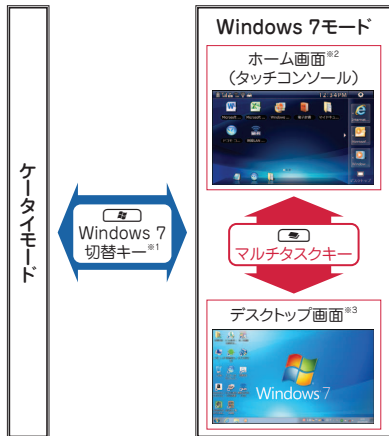
この後は画面上の指示に従って操作してください。

Windows 7モードの画面

画面の使いかた

- 横画面で利用中に向きが切り替わってしまった場合は、次のいずれかの方法で向きを戻してください。
  - Ctrlと Altを押しながら▶
  - デスクトップの何もないところを右クリックして表示されるメニューで「画面の解像度」を表示し「向き」を変更（「縦（回転）」）
- 次の画面は縦画面のまま操作します。横画面には切り替わりません。
  -「トラブル解決ナビ」
  - BIOS起動メニュー
  - セーフモード、ブルースクリーン画面
- Windows 7モードでのトラックボールは、縦画面においても横画面時の操作になります。

画面の切り替え

画面の切り替え方法は次のとおりです。

※1 Windows 7モードへの切り替えは、切り替え前のWindowsの状態によって異なります。
シャットダウン状態→ホーム画面起動
スリープ／休止状態→スリープ／休止になった時の状態を復元

※2 デスクトップボタンからも、ホーム画面からデスクトップ画面に切り替えできます。

※3「ホーム画面」アイコンからも、デスクトップ画面からホーム画面に切り替えできます。

ホーム画面

ホーム画面（タッチコンソール）から、Windows 7モードのソフトウェアを簡単に起動することができます。ホーム画面からソフトウェアを起動すると、デスクトップ画面に切り替わります。なお、ソフトウェア終了後はデスクトップ画面となります。

① 電池残量

- ：（電池残量3）十分残っています。
- ：（電池残量2）少なくなっています。
- ：（電池残量1）電池残量がほとんどありません。充電してください。

（充電状態では、 が追加されて表示）

② 受信レベル

	圏外
強 ⟷ 弱	サービスエリア外や電波の届かない所

③ ：mopera U通信中

④ 無線LANの電波状況

	なし	OFF
強 ⟷ 弱	無線LAN環境がない／接続していない	無線LAN機能がOFF

⑤ ケータイモード表示

- ：ｉモード中（パケット通信中）
- 圏外：圏外
- SELF：セルフモード中
- TML：使用できないドコモUIMカードを挿入中
- ：マナーモード中
- ：オリジナルマナーモード中
- ：公共モード（ドライブモード）中

⑥ 時計表示

ケータイモードと同じ時刻が表示されます。Windows 7モードの時計表示は、Windows 7を起動するごとにケータイモードと同じ時刻に調整されます。時差のある国へFOMA端末を持ち出した場合、ケータイモードで時刻や時差を自動で補正するように設定していれば、Windows 7のタイムゾーンの変更をしなくても、Windows 7を再起動することで現地の時刻に調整されます。

⑦ 設定ボタン

タッチコンソールの設定画面を表示します。

⑧ ランチャー領域

ソフトウェアやショートカットのアイコンが表示されます。1ページに収まり切らないアイコンは、画面を左右にスクロールすることで表示できます。

⑨ セレクト3ボタン

よく使うソフトウェアを3つまで登録することができます。

⑩実行中タスク表示
動作中のソフトウェアを示すアイコンが表示されます。
⑪デスクトップボタン
デスクトップ画面に切り替わります。

ソフトウェア

お買い上げ時にホーム画面に表示されるソフトウェアは次のとおりです。

アイコン	ソフトウェア名	説明
	Microsoft® Word 2010	文書作成
	Microsoft® Excel® 2010	表計算、グラフ作成
	Microsoft® Outlook® 2010	Eメール・予定・住所録などを管理
	Windows Live™ フォト ギャラリー	写真の閲覧
	電子辞書	電子辞書を起動
	ドコモ コネクション マネージャ	パケット通信を開始
	マイドキュメント フォルダ	データ保存フォルダ
	無線LAN ON/OFF	無線LANの電波の発信／停止
	Windows® Internet Explorer® 9	インターネットブラウザ
	Windows Media® Player	音声や映像の閲覧

インターネット操作パネル

ホーム画面からInternet Explorer® 9を起動すると、タッチコンソールの「インターネット操作パネル」を表示します。

①Internet Explorer の「戻る」の操作を行います。
②お気に入りメニューを表示します。
③URL入力画面を表示します。
④保存メニューを表示します。
⑤Internet Explorer の「新しいタブ」を表示します。
⑥表示中のInternet Explorer のタブを閉じます。Internet Explorerが起動していない場合は、インターネット操作パネルを終了します。

Point

- デスクトップ画面から表示する場合は、「スタート」メニュー ▶「すべてのプログラム」▶「タッチコンソール」▶「インターネット操作パネル（起動）」の順に選択します。

ガジェット

お買い上げ時に用意されているオリジナルガジェットは次のとおりです。

twifar（Twitter/Facebook/RSSガジェット）	Twitter・Facebook・RSSリーダーの3つの機能を持ったガジェットです。※1
カレンダーガジェット	Googleカレンダーのデータを読み込むことができるスケジューラーです。※2
メールチェックガジェット	POP3サーバに対応し、新着メールの件数を表示するガジェットです。※3

※1 twifarはTwitter及びFacebook の連携インターフェースを利用しているため、連携インターフェースの使用制限、仕様変更などによりご利用になれなくなる可能性があります。
※2 カレンダーガジェットの一部の機能は、Google社の連携インターフェースを利用しているため、連携インターフェースの使用制限、仕様変更などによりご利用になれなくなる可能性があります。
※3 メールチェックガジェットは、メールサーバの連携インターフェースを利用しているため、メールサービスによってはご利用になれない場合もあります。

Point

- ガジェットを選択して表示するには、デスクトップ画面で「スタート」▶「コントロールパネル」▶「デスクトップのカスタマイズ」▶「デスクトップガジェット」と操作します。

システム状態表示

Windows 7モードには、CPU使用率を表示する「システム状態表示」というソフトウェアが用意されています。デスクトップ画面のタスクバーに表示されるアイコンの状態で確認することができます。

■（緑）：CPU使用率が60%未満
■（黄）：CPU使用率が60%以上80%未満
■（赤）：CPU使用率が80%以上

約3秒赤アイコンの状態が続くと赤アイコンは点滅し、さらに赤アイコンの状態が続く場合は約3秒ごとに点滅します。

Point

- タスクバーにアイコンが表示されていない場合は、タスクバーの▲をクリックすると隠れている分を表示することができます。

トラックボールの操作

Windows 7モードでは、ソフトウェア（Microsoft® Word 2010、Microsoft® Excel® 2010、Windows® Internet Explorer® 9）を利用時に、他のキーと組み合わせることでできる操作があります。

Fn1またはFn2＋トラックボール上下操作：ソフトウェア内で縦スクロール

Ctrl＋Fn1またはFn2＋トラックボール上下操作：拡大／縮小

画面の説明

画面の調節

ズーム表示

Windows® Internet Explorer® 9を利用時に、[カメラキー]を押すと拡大し、長押しすると縮小します。反応までに時間がかかる場合があります。

タッチ機能

Windows 7モードでもタッチ機能を使うことができます。

- ソフトウェアによっては、タッチ機能の反応が悪かったり、タッチ機能に対応していない場合があります。
- タッチパネル利用上の注意事項、操作方法は、「タッチパネルの使いかた」をご覧ください。⇒P26

Windows 7モードでの明るさ調整

Windows 7モードでの明るさ調整は、次のいずれかの方法で行うことができます。

光センサーを使って自動調整する：お買い上げ時有効

Windowsで明るさの調整を行う：お買い上げ時無効

明るさ調整方法を切り替えたい場合は次のように操作します。

1 デスクトップ画面で「スタート」▶「コントロールパネル」

2「ハードウェアとサウンド」▶「明るさ調整」▶明るさ調整方法を選択

通信

通信の設定

Windows 7モードでは、パケット通信、無線LANによる通信を使用することができます。

- ドコモUIMカードを挿入していない場合やFOMAサービスを解約していたり、利用を休止していたりする場合は、本機能は利用できません。
- 無線LANを利用すると、電池の消費が早くなりますのでご注意ください。

パケット通信を利用する

パケット通信をご利用になるには、mopera Uへのお申し込みが必要になります。ドコモショップ、またはmopera Uのホームページをご覧ください。

http://www.mopera.net/

Point

- パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
- パケット通信を利用して、Windowsのアップデートなどで自動更新の設定を行った場合は更新情報の確認が自動で行われるため、お客様の意図しない間にインターネットへ接続する場合があります。パケット通信による接続を設定している場合は通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

ドコモ コネクションマネージャの設定

パケット通信には「ドコモ コネクションマネージャ」を使用します。

1 ホーム画面で「ドコモ コネクションマネージャ」アイコンをクリック▶契約内容に応じて設定

2 「ドコモ コネクションマネージャ」で回線に接続▶切断

「ドコモ コネクションマネージャ」で、いったん「接続する」をクリックし回線に接続したことを確認したら、「切断する」をクリックし回線を切断します。

3 デスクトップ画面で「回線設定」アイコンをクリック

「回線設定」アイコンが消えて、設定が完了します。

Point

- 「ドコモ コネクションマネージャ」の詳しい使い方については、次の操作マニュアルをご覧ください。
  - デスクトップ画面で「スタート」→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ 操作マニュアル」
- 上記手順を行う前に「回線設定」アイコンを消してしまった場合は、次のファイルを実行してください。
  C:¥Fujitsu¥DialUp¥FJ_replace_rasphone.cmd
- 「定額データプラン以外のパケット定額サービス（パケ・ホーダイ ダブルなど）」をご利用の場合、プリインストールされている「ドコモ コネクションマネージャ」の接続画面では、接続先に「＊＊＊（従量）」（＊＊＊は設定されたプロバイダ名）と表示されますが、通信料はご契約内容に従い「パソコンなどの外部機器を接続した通信」の上限額が適用されます。
  最新版のドコモ コネクションマネージャは、次のホームページからダウンロードできます。
  http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/index.html
- 次の場合は、パケット通信は切断されます。
  - 省電力機能を使う（スリープまたは休止状態）
  - ケータイモードへの切り替え
  - 無線LANによる通信への切り替え
  - Windowsの再起動を行う

  再度利用する場合は、「ドコモ コネクションマネージャ」で接続し直してください。

無線LANを利用する

無線LANの設定方法は、お使いになるアクセスポイントによって異なります。アクセスポイントに添付されている取扱説明書もあわせてご覧ください。

無線LANの設定

1 ホーム画面で「無線LAN ON/OFF」アイコンをクリックし、無線LANの機能をオンにする

Windows 7の起動時は、無線LANの機能はオフになっています。

2 デスクトップ画面で「スタート」▶「コントロールパネル」▶「ネットワークとインターネット」▶「ネットワークの状態とタスクの表示」

3 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」

4 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」▶「次へ」

5 **無線LANアクセスポイントの設定情報を入力▶「次へ」**

「ネットワーク名（SSID）」や「セキュリティの種類」「セキュリティキー」などは、接続するアクセスポイントの取扱説明書、または説明に従って設定してください。

6 **「正常に～を追加しました」と表示されたら「閉じる」**

Point

- 次の場合は、無線LANの機能はオフになります。
  - 省電力機能を使う（スリープまたは休止状態）
  - ケータイモードへの切り替え
  - パケット通信への切り替え
  - Windowsの再起動を行う

  無線LANを再度利用する場合は、ホーム画面で「無線LAN ON/OFF」アイコンをクリックし、無線LANの機能をオンにしてください。

無線LANによる通信をご利用になる上でのご注意

無線LANによる通信は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続が可能であるという利点があります。その反面、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

- 悪意ある第三者によって電波が故意に傍受され、個人情報やメールの内容などの通信内容を盗み見られる。
- 悪意ある第三者によって無断で個人や会社内のネットワークへアクセスされ、個人情報や機密情報が取り出される。
- コンピューターウイルスなどが流され、データやシステムが破壊される。

  本来無線LANによる通信は、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみをもっています。セキュリティに関する設定を正しく行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。アクセスポイントなどの製品に添付されている取扱説明書に従い、これらの製品のセキュリティに関するすべての設定を必ず行ってください。

  なお、無線LAN通信の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。

  お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
- Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、電波干渉が発生して通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。このような場合は、Bluetooth機器の電源を切るか、Bluetooth機器をFOMA端末から10m以上離してください。

メールソフトの利用

プロバイダから提供される次の情報をメールソフトに設定してください。設定する情報がわからない場合は、ご契約のプロバイダや通信サービス会社にお問い合わせください。

- 受信（POP）サーバ
- 送信（SMTP）サーバ
- メールアドレス
- メールアカウント名
- メールパスワード

設定方法についてはお使いのメールソフトにより異なります。メールソフトのヘルプをご覧ください。

Microsoft® Outlook® 2010

1 デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「Microsoft Office」▶「Microsoft Outlook 2010」

詳しい使いかたについては、「Microsoft Outlook 2010」のヘルプでご確認ください。

Windows Live™ メール

1 デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「Windows Live メール」

詳しい使いかたについては、「Windows Live メール」のヘルプでご確認ください。

Windows Live™ Messenger

1 デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「Windows Live Messenger」

Windows Live Messengerが起動します。この後は画面の指示に従って操作してください。

Point

- 「Windows Live Messenger」のご利用には、Windows Live IDの取得が必要です。
- 「Windows Live Messenger」をアンインストールした場合、再度インストールするには「Windows Live Messenger」のホームページ（http://messenger.live.jp/）よりプログラムをダウンロードする必要があります。

音／省電力設定

音の設定

1 デスクトップ画面で画面右下の通知領域にある🔊をクリック

2 音量つまみを上下にドラッグ

音量を調節することができます。
デスクトップの何もないところをクリックすると、音量を調節する画面が消えます。

Point

- ケータイモードがマナーモードの場合、Windows 7モードでは音声が出力されません。

省電力機能

スリープまたは休止状態にする

1 デスクトップ画面で「スタート」

2 休止状態 または 休止状態 ▷ の ▷ ▶「スリープ」

ケータイモードに切り替わります。

[Windowsキー]を押すとWindows 7モードに切り替わり、省電力状態から復帰します。

省電力機能をお使いになる上でのご注意

- お使いの状況によっては、スリープや休止、復帰（レジューム）に時間がかかる場合があります。移行中は操作はできません。
- スリープまたは休止状態にした後、すぐに復帰（レジューム）しないでください。必ず、10秒以上たってから復帰（レジューム）するようにしてください。
- スリープや休止、復帰（レジューム）のときに、画面に一瞬ノイズが発生する場合がありますが、故障ではありません。
- ネットワーク（インターネットなど）に接続中は、スリープや休止状態にしないことをおすすめします。お使いの環境によっては、ネットワーク（インターネットなど）への接続が正常に行われない場合があります。なお、お買い上げ時の状態では、一定時間Windows 7モードで操作しないとスリープになるように設定されています。
- 次の場合は、スリープや休止状態にしないでください。
  - OSの起動処理中または終了処理中
  - ドライバやプログラムのインストール中
  - 何か処理をしている最中（プリンター出力中など）、および処理完了直後
  - 内蔵フラッシュメモリディスクにアクセス中
  - ゲームソフトなどのサウンドを再生中
  - 動画ファイルなどの動画再生中

クレードルセット F01（別売）をお使いになる上でのご注意

- 接続している周辺機器のドライバーが正しくインストールされていない場合、スリープや休止状態にならないことがあります。
- スリープ中は、周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。
- 周辺機器を接続した状態で休止状態にすると、復帰（レジューム）するときに周辺機器の情報が初期化されるため、休止状態にする前の作業状態に戻らないことがあります。
- クレードルセット F01（別売）を使用してデジタルテレビに映像を表示しているときは、スリープや休止状態にしないでください。
- 次の場合は、スリープや休止状態にしないでください。
  - デジタルテレビに映像を表示しているとき
  - 音楽CDのサウンドを再生中
  - オートランCD-ROMやDVD-ROM（セットすると自動で始まるCD-ROMやDVD-ROM）を使用中

Windows 7モードでの電源管理

お買い上げ時に設定されている省電力設定は次のとおりです。

- ケータイモードに切り替えたときWindows 7モードをスリープするまでの時間：1分
- ケータイモードに切り替えたときWindows 7モードを休止状態にするまでの時間：5分

次の操作で変更できます。

1 **デスクトップ画面で「スタート」▶「コントロールパネル」**

2 **「ハードウェアとサウンド」▶「切替時 電源設定」▶変更したい時間を選択▶「設定」**

microSDカード制御ユーティリティ

Windows 7モードには、microSDカードの消費電力を削減するため、microSDカードのオン／オフを切り替える「microSDカード制御ユーティリティ」というソフトウェアが用意されています。デスクトップ画面のタスクバーに表示されるアイコンの状態で確認することができます。

（microSDカードが「オフ」）：Windows 7モードから内蔵のmicroSDカードは使用できません。

（microSDカードが「オン」）：Windows 7モードから内蔵のmicroSDカードが使用できます。

- お買い上げ時には「オフ」に設定されています。microSDカードを利用する場合は、このソフトウェアを「オン」にしてください。
- 「オン」にしたあと、次の状態が3分間続く場合は自動的に「オフ」になります。
  - microSDカード内のファイルやフォルダをソフトウェアから参照していない
  - microSDカード内のファイルやフォルダを開いていない

オン／オフは次のよう切り替えます。

1 **デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「microSDカード制御ユーティリティ」▶「設定」▶オン／オフを選択**

Point

- 「オフ」にする操作は、次の状態で実施することができます。
  - microSDカード内のファイルやフォルダをソフトウェアから参照していない
  - microSDカード内のファイルやフォルダを開いていない
- タスクバーにアイコンが表示されていない場合は、タスクバーのをクリックすると隠れている分を表示することができます。
- Windows 7のReadyBoost には対応していません。

メンテナンス
アップデート

日常的に次のアップデートを行ってください。

Point

- アップデートには時間がかかる場合があります。必ずアダプタを接続し、充電した状態で操作してください。
- 自動更新の設定を行った場合は更新情報の確認が自動で行われるため、お客様の意図しない間にインターネットへ接続する場合があります。パケット通信による接続を設定している場合は通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

Windowsのアップデート

1 デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「Windows Update」

この後は画面上の指示に従って操作してください。

アップデートナビ

「アップデートナビ」を実行すると、富士通株式会社が提供する、本FOMA端末に関連するドライバーやソフトウェアの最新情報を確認し、更新することができます。

1 デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アップデートナビ」▶「アップデートナビ」

この後は画面上の指示に従って操作してください。

メンテナンス
バックアップ

大切なデータはコピーを保存しておくこと（バックアップ）をお勧めします。

日々のバックアップ

大切なデータはmicroSDカードや別のパソコンなどの、本FOMA端末以外の場所に保存しておくことをお勧めします。
なお、クレードルセット F01（別売）を使用すると、外付けハードディスク（別売）などにデータをバックアップすることができます。

マイリカバリ

本FOMA端末に用意されている「マイリカバリ」を使用すると、その時点での内蔵フラッシュメモリディスクの情報をまるごとバックアップして、クレードルセット F01（別売）を通しUSB接続した外付けハードディスク（別売）に保存することができます。

マイリカバリでできること

■内蔵フラッシュメモリディスクのディスクイメージを作成する／復元する

ディスクイメージとは、内蔵フラッシュメモリディスクに格納されたあらゆる情報を1つにまとめた、ファイルのことです。「マイリカバリ」でディスクイメージを作成し、何か問題が発生したときにディスクイメージを復元すると、Windows 7をディスクイメージ作成時の状態に戻すことができます。なお、マイリカバリでバックアップされるのはWindows 7モードのデータのみです。ケータイモードのデータはバックアップされません。

「マイリカバリ」をお使いになる上でのご注意

- クレードルセット F01（別売）と外付けハードディスク（別売）が必要です。
- 不具合が起こっているときは、ディスクイメージを作成しないでください。不具合が保存された場合は、復元時に不具合も復元してしまいます。
- すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません。
- 著作権保護された映像や音楽などはバックアップ／復元できない場合があります。
- マイリカバリでのバックアップには時間がかかります。時間に余裕をもって作業してください。（所要時間の目安：約3～7時間（作成するディスクイメージの容量や、保存先媒体の性能によって、所要時間は異なります））

保存先の空き容量について

ディスクイメージの保存先として使用する媒体は、最低でも16Gバイトの容量が必要となります。必要な空き容量はご購入後の使用状況により異なります。

ディスクイメージを作成する／復元する

1 **クレードル用ACアダプタ電源ケーブル F01の接続端子をクレードル用ACアダプタ F01へ差し込む**

2 **クレードル用ACアダプタ F01の接続端子をクレードルの電源端子に差し込む**

3 **F-07Cの［Windowsキー］を押して、Windows 7モードに切り替える**

4 **F-07Cのクレードル接続端子のキャップを開き、クレードルに差し込む**

5 **クレードル用ACアダプタ電源ケーブル F01の電源プラグをAC100Vコンセントへ差し込む**

6 **デスクトップ画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「マイリカバリ」（「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら「はい」）**

7 **「マイリカバリとは」ウィンドウで「次へ」**

8 **「マイリカバリ」の画面で「つくる」または「もどす」**

Windowsが再起動します。この後は画面上の指示に従って操作してください。この後、外付けハードディスクを接続してください。

お買い上げ時の状態に戻す

リカバリの準備

FOMA端末の「リカバリ領域」という場所に、お買い上げ時のWindows 7モードの中身が保存されています。このリカバリ領域からご購入時の状態に復元できます。

Point

- リカバリ領域は削除できません。お客様ご自身でリカバリ領域を削除してしまった場合は、リカバリが実行できなくなります。お買い上げ時の状態に戻すためには修理が必要となりますのでご注意ください。

バックアップをする

リカバリを行うと、データがすべて削除されます。重要なデータは必ずバックアップをしてください。また、ネットワーク環境やメールの設定などはデータでバックアップすることができないので、メモなどを残しておくことをお勧めします。

リカバリを行う上でのご注意

- 時間に余裕をもって作業してください。（所要時間の目安：85分以上）
- タッチパネルでの操作はできません。トラックボールで操作してください。
- 必ずアダプタを接続し、充電した状態で操作してください。
- リカバリ中は[Windowsキー]を押さないでください。
- クレードルセット F01（別売）を使用している場合、外付けハードディスクなどの外部記憶装置はリカバリを行う前に必ず取り外してください。外付けハードディスクなどの外部記憶装置を接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。
- クレードルセット F01（別売）にマウスやキーボード、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなどを接続している場合は取り外してください。
- microSDカードは取り出してください。
  microSDカードをセットしていると、本書に記載されている手順と異なってしまう場合があります。
- ファイルコピー中は他の操作をしないでください。
  むやみにクリックせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、リカバリが正常に終了しない場合があります。

リカバリを実行する

1 デスクトップ画面で「トラブル解決ナビの起動」▶「再起動」

2 「Application Menu」の「Recovery and Utility」を選択し[決定]

Menuが異なる場合は[Tab]で切り替えてください。

3 「トラブル解決ナビ」の画面で「リカバリ」タブの「Cドライブをご購入時の状態に戻す」を選択▶実行

4 注意事項を下までスクロール▶「同意する」を選択▶「次へ」

5 警告画面で「OK」

復元の進行状況を示す画面が表示され、ご購入時の状態に戻すリカバリが始まります。「リカバリが正常に完了しました。」と表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。終了までの残り時間は正確に表示されない場合や増える場合があります。これは途中で終了時間を計算し直しているためです。

6 「リカバリが正常に完了しました。」と表示された画面で「OK」

ケータイモードに切り替わり、Windows 7モードが購入時の状態に戻ります。

この後は、ご購入後初めてWindows 7モードを使用したときと同じように、Windows 7のセットアップが必要です。「Windows 7モードのセットアップ」（⇒P73）をご覧になり、セットアップしてください。

Point

- リカバリを実行する際、Windows 7モードが起動できない場合は、画面の右下に「<F12>:Boot Menu」が表示されている間に、[Fn]を押しながら[F1]を押して「Application Menu」を表示し、手順2からの操作を続けてください。

Microsoft® Office Personal 2010 2年間ライセンス版を利用する

Microsoft® Office Personal 2010 2年間ライセンス版をご利用になるには、初回起動時にプロダクトキーの入力とライセンス認証が必要です。
詳しくは付属のCD-ROM内の「お使いになる前に」をご覧ください。

- プロダクトキーは付属のCD-ROMジャケット裏面に貼付されています。絶対に紛失しないように大切に保管してください。
- ライセンス認証を行うには、インターネットに接続する必要があります。電話でのライセンス認証はできません。
- 初回起動時にプロダクトキーの入力をする場合、途中でキャンセルし、再度プロダクトキーの入力をしようとするとFOMA端末が予期せず再起動する場合があります。プロダクトキーの入力を始めたら、使えるようになるまで操作を中断しないでください。
- ライセンス認証ができない場合には、日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。
- 2年間のライセンス有効期間が経過後にも通常のOffice機能をご利用になる方法については、日本マイクロソフト株式会社へお問い合わせください。
- お買い上げ時の状態に戻すリカバリを行った後も、プロダクトキーの入力とライセンス認証が必要です。
- ライセンス期間中にFOMA端末を修理した場合は、再度ライセンス認証が必要になることがあります。

ソフトウェアのお問い合わせ先

「サポート対象外のソフトウェア」、「ソフトウェア提供会社がサポートするソフトウェア」以外のソフトウェアは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」へお問合せください。

サポート対象外のソフトウェア

次のソフトウェアは、各ソフトウェア提供会社により無料で提供されている製品のため、ユーザーサポートはありません。
Adobe® Reader® 、Adobe® Flash® Player、Java SE Runtime Environment 6

ソフトウェア提供会社がサポートするソフトウェア

お問い合わせ先についてお間違えのないよう、お確かめのうえお問い合わせください。

■@niftyでブロードバンド

ニフティ株式会社　@niftyお申し込み受付デスク
電話：0120-50-2210
受付時間：9:00～22:00（年中無休）　※携帯電話・PHS 着信可

■i-フィルター ® 6.0

デジタルアーツ株式会社　サポートセンター
電話：月～金／03-3580-5678、土・日・祝祭日／0570-00-1334
受付時間：10:00～18:00（指定休業日を除く）
URL：http://www.daj.jp/faq/
お問い合わせフォーム：http://www.daj.jp/ask/
90日間の試用期間中、サポートいたします。

■Microsoft® Office Personal® 2010 2年間ライセンス版（Microsoft® Excel® 2010、Microsoft® Outlook® 2010、Microsoft® Word2010、Microsoft® Office ナビ 2010）

日本マイクロソフト株式会社
電話：0120-54-2244
セットアップ、インストールに関するお問い合わせ：
受付時間：月～金／9:30～12:00、13:00～19:00、土・日／10:00～17:00（祝祭日・年末年始・指定休業日を除く）
基本操作に関するお問い合わせ：受付時間：月～金／9:30～12:00、13:00～19:00、土／10:00～17:00（日・祝祭日・年末年始・指定休業日を除く）

- セットアップ、インストールに関するお問い合わせについては、有効期限はありません。
- 基本操作に関するお問合せについては、お客様が始めてお問合せいただいた日から起算して９０日間が有効期間です。（サポートライフサイクル期間内）

URL：http://support.microsoft.com/

■Microsoft® Silverlight™

日本マイクロソフト株式会社
次の手順でお問い合わせください。
1. Silverlight サポートページにアクセスします。
URL：http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=199242
2. ページ右側の「お問い合わせ」の下にある「マイクロソフトへ問い合わせる」をクリックします。
3. 画面の指示に従って、お問い合わせください。

■Windows Live™（Windows Live™ Messenger、Windows Live™ Writer、Windows Live™ フォト ギャラリー、Windows Live™ ムービー メーカー、Windows Live™ メール、Windows Live™ Mesh）

日本マイクロソフト株式会社
次の手順でお問い合わせください。
1. サポートページにアクセスします。
URL：http://www.windowslivehelp.com/
2. 「Windows Live Solution Centerへようこそ」の表内から確認する製品を選択します。
3. 疑問点の解決方法を検索し、解決しないときは各ページの「質問する」リンクからお問い合わせください。

■学研パーソナル現代国語辞典、学研パーソナル英和辞典、学研パーソナル和英辞典、学研パーソナル版漢字辞典

株式会社学研教育出版　デジタルコンテンツ事業室
電話：03-3493-3286（辞書データについてのお問い合わせ先）
受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く）
辞書のひきかたや、「電子辞書」の使いかたについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」へお問合せください。

■デイリー日中英・中日英辞典、デイリー日韓英・韓日英辞典、デイリー日独英・独日英辞典、デイリー日仏英・仏日英辞典、デイリー日西英・西日英辞典、デイリー日伊英・伊日英辞典、デイリー日独英会話辞典、デイリー日仏英会話辞典、デイリー日中英会話時典、デイリー日韓英会話辞典

株式会社 三省堂　CD-ROM製品 ユーザーサポート係
電話：03-3230-9416（辞書データについてのお問い合わせ先）
FAX：03-3230-9580
受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日・指定休業日を除く）
辞書のひきかたや、「電子辞書」の使いかたについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」へお問合せください。

■ノートン™ インターネット セキュリティ 2011

株式会社シマンテック　シマンテック・テクニカル・サポートセンター
- 本センターは技術的なお問い合わせ用の窓口です。
- ご利用期間は更新期間（90日間）となります。（更新サービス延長を申し込みいただくと、引き続き本サポートをご利用いただけます。詳しくは、製品別サポートページ（URL：http://www.symss.jp）をご覧ください。）

- バンドル版を使用のお客様から寄せられるよくある問い合わせに対する解決策を下記のページにて確認することができます。また、解決策が見つからない場合、バンドル版の問い合わせ窓口へお問い合わせいただくことも可能です。

URL：http://www.symss.jp/jpo-fujitsu-reg/
電話：03-5642-2686
受付時間：月～金／10:00～19:00、土・日・祝祭日／10:00～16:00

- 更新サービス延長のお申し込みは、サポートセンターとは異なるお問い合わせ先になります。

シマンテック・ストア　URL：http://www.symantecstore.jp/users.asp
電話：0570-005557（ナビダイヤル）
営業時間：10:00～17:00（土・日・祝祭日を除く）

■明鏡国語辞典MX、新漢語林MX、ジーニアス英和辞典MX、ジーニアス和英辞典MX

株式会社大修館書店　電子出版開発室
電話：03-3294-2352（辞書データについてのお問い合わせ先）
受付時間：10:00～12:00、13:00～16:00（土・日・祝祭日・年末年始を除く）
辞書のひきかたや、「電子辞書」の使いかたについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」へお問合せください。

故障かな？と思ったら

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。⇒P97
症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」またはドコモ指定の故障取扱窓口までご相談ください。

✣ 電源・充電

●FOMA端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- 電池切れになっていませんか。

●充電ができない（充電中のランプが点灯しない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- ACアダプタ F04とUSBケーブル F01、FOMA端末が正しくセットされていますか。
- クレードル（別売）をご使用の場合、クレードル用ACアダプタ F01の接続端子をクレードルの電源端子に、クレードル用ACアダプタ電源ケーブル F01の接続端子をクレードル用ACアダプタ F01にそれぞれしっかりと接続されていますか。
- アダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
- クレードル（別売）を使用する場合、FOMA端末のクレードル接続端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇する場合があります。温度が高い状態では安全のために充電が行われない場合があるため、ご使用後にFOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

✣ 端末操作

●電源断・再起動が起きる

電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

●キー操作やタッチ操作をしても動作しない

オールロック、おまかせロック、誤操作防止ロック、画面オフロックを起動していませんか。

●電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

●ドコモUIMカードが認識されない

- ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。
- FOMAカード（青色）を挿入していませんか。

●操作中・充電中に熱くなる
操作中や充電中、充電しながらｉアプリやテレビ電話、Windows 7モードなどを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

●時計がずれる
長い間、電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。日付時刻設定の自動時刻・時差補正を「ON」にして電波のよい所で電源を入れ直してください。

✜ 通話

●通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）
- 電源を入れ直すか、電池パックやドコモUIMカードを入れ直してください。
- 電波の性質により、圏外ではなく、電波状態は📶を表示している状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- メモリ別着信拒否／許可、発番号なし動作設定、メモリ登録外着信拒否、3G/GSM切替を設定していませんか。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

●キーをタッチしても／押しても発信できない
オールロック、おまかせロック、セルフモード、ダイヤル発信制限を起動していませんか。

✜ おサイフケータイ

●おサイフケータイが使えない
- 電池パックを取り外すと、ICカードロックの設定に関わらずICカード機能が利用できなくなります。
- FOMA端末のマークがある位置を読み取り機にかざしていますか。
- おまかせロックやICカードロックを起動していませんか。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

✜ 調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書または本FOMA端末に搭載の「使いかたガイド」の「故障かな?と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

✜ お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や、内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子、クレードル接続端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

✤ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、無線LAN用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけるとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

サポート

iモード故障診断サイト

ご利用中のFOMA端末において、メール送受信や画像・メロディのダウンロードなどが正常に動作しているかを、お客様ご自身でご確認いただけます。ご確認の結果、故障と思われる場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」までお問い合わせください。

「iモード故障診断サイト」への接続方法

iモードサイト： iMenu⇒お知らせ⇒サポート情報⇒お問い合わせ⇒故障・電波状況お問い合わせ先⇒iモード故障診断

サイトアクセス用QRコード

- アクセス方法は予告なしに変更される場合があります。
- 海外でのご利用は有料となります。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページおよびｉMenuの「お客様サポート」にてご案内いたします。更新方法には、「自動更新」「即時更新」「予約更新」の3つの方法があります。

※ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

✜ ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他機能を利用できません（ダウンロード中は音声電話の着信が可能です）。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止されたりした場合は、再度電波状態の良い場所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、「書換え失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

更新方法

待受画面の（更新お知らせアイコン）を選択するか、メニューから起動します。

〈例〉更新お知らせアイコンを選択して更新する

1 **決定▶（更新お知らせアイコン）を選択▶「はい」▶認証操作**

待受画面をタッチし、待受ランチャーの「新着／ステータス」から「ADLの更新通知」をタッチしても操作できます。

2 **チェックの結果が表示される**

更新が必要な場合は「更新が必要です」と表示されます。「今すぐ更新」または「予約」を選択します。

〈例〉メニューから起動する

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶7スライド／時計／入力／他▶4ソフトウェア更新▶認証操作▶「更新実行」**

スキャン機能（セキュリティスキャン）

FOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータの削除やアプリケーションの起動を中止します。

- スキャン機能は、ホームページの閲覧やメール受信などの際にFOMA端末に何らかの障害を引き起こすデータの侵入から一定の防衛手段を提供する機能です。各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。

●パターンデータ更新
まず初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

自動更新設定

パターンデータを自動で更新するように設定します。

1 **MENU▶8設定／NWサービス▶4セキュリティ／ロック▶7スキャン機能▶2自動更新設定▶「有効」▶「はい」▶「はい」▶「OK」**
パターンデータの自動更新に成功すると、待受画面にが表示されます。

スキャン結果

警告レベル	対処方法
[0] 正常に動作できない場合があります	**「OK」**：起動中のアプリケーションの処理を続行
[1] 正常に動作できない場合があります　動作を中止しますか？	**「はい」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止 **「いいえ」**：起動中のアプリケーションの処理を続行
[2] 正常に動作できない場合があるため終了します	**「OK」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止
[3] 正常に動作できない場合があります　データを削除しますか？	**「はい」**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除 **「いいえ」**：障害を引き起こす可能性のあるアプリケーションの処理を中止
[4] 正常に動作できないためデータを削除します	**「OK」**：障害を引き起こす可能性のあるデータを削除

※それぞれの画面で「詳細」を選択すると、検出された問題要素の名前の一覧が表示されます。問題要素が6個以上の場合、6個目以降の問題要素名は省略されます。

オプション・関連機器

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- ACアダプタ F04
- 車載ハンズフリーキット 01
- 電池パック F20
- 車内ホルダ 01
- クレードルセット F01
- USBケーブル F01
- イヤホン変換アダプタ F01
- リアカバー F58
- キャリングケース 02
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 骨伝導レシーバマイク 02

※海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

メニュー一覧

- 表示メニュー設定を「ベーシックメニュー」にした場合のメニュー一覧を記載しています。
- 赤色の文字は、各種設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニュー（下位メニューの一部がお買い上げ時の設定に戻るメニューも含む）です。

■メール

受信メール	
新規メール	
新規デコメアニメ	
未送信メール	
送信メール	
ｉモード問い合わせ	
SMS／エリアメール設定	SMS
	エリアメール設定
メール選択受信	
メール設定	着信設定
	メール振り分け設定
	署名設定
	メール返信設定
	メール自動返信設定
	メールグループ
	ブログ／SNS投稿先設定
	受信・表示設定
	編集時自動保存設定
	ｉモード問い合わせ設定
テンプレート	

■ｉモード

ｉMenu 検索	
Bookmark	
画面メモ	
ラストURL	
URL入力	URL入力
	URL入力履歴
ｉチャネル	ｉチャネル一覧
	ｉチャネル設定
	ｉチャネル初期化
ｉモード設定	ｉモードブラウザ設定
	フルブラウザ設定
	共通設定
	ｉモード設定確認
	ｉモード設定リセット
ツータッチサイト	
RSSリーダー	
フルブラウザホーム	
検索サービス	

■ｉアプリ

ソフト一覧	
ｉアプリコール履歴	
ｉアプリ設定	ソフトの並べ替え
	自動起動設定
	ソフト情報表示設定
	照明点灯時間設定
	明るさ調整
	バイブレータ設定
	ｉアプリ音量
	ｉウィジェット設定
	ｉアプリコールダウンロード設定
	オートGPS優先設定

履歴表示	自動起動失敗履歴
	異常終了履歴
	セキュリティエラー履歴
ツータッチｉアプリ表示	

■電話帳／履歴

電話帳検索	
電話帳登録	
電話帳グループ追加	
UIMカード（FOMAカード）操作	
着信履歴	
リダイヤル	
伝言メモ／音声メモ	伝言メモ設定
	伝言メモ一覧
	音声メモ録音
	音声メモ一覧
メール送受信履歴	メール送信履歴
	メール受信履歴
プロフィール情報	

■データBOX

マイピクチャ
ミュージック
Music&Videoチャネル
ｉモーション／ムービー
メロディ
マイドキュメント
きせかえツール
マチキャラ
キャラ電

■LifeKit

バーコードリーダー	
赤外線・iC・PC連携	赤外線受信
	赤外線全件送信
	iC全件送信
	データ送受信設定
	USBモード設定
microSD	
カメラ	静止画撮影
	動画撮影
サウンドレコーダー	
ケータイデータお預かりサービス	データ確認／更新方法等
	通信履歴表示
	電話帳内画像送信設定
	電話帳等のお預かり／更新
	設定のお預かり／更新
	画像のお預かり
地図・GPS	地図
	イマドコサーチ
	イマドコかんたんサーチ
	ｉエリア-周辺情報-
	地図・GPSアプリ
	現在地確認
	位置履歴
	現在地通知
	地図・GPS設定
	オートGPS
ウォーキング／Exカウンター	歩数／活動量／カロリー情報
	ウォーキング／Exカウンター設定
Bluetooth	Bluetoothオン／オフ
	登録機器リスト
	新規機器登録
	接続待機
	Bluetooth設定
	接続機器表示

使いかたガイド	

■アクセサリー

スケジュール帳	
テキストメモ	
目覚まし	
電卓	
辞典	国語辞典（学研モバイル国語辞典）
	和英辞典（学研モバイル和英辞典）
	英和辞典（学研モバイル英和辞典）
	今日は何の日
	今日の歴史
お知らせタイマー	
ワンタッチアラーム設定	
イミテーションコール	イミテーションコール開始
	イミテーションコール設定
簡易ライト	

■設定／NWサービス

音／バイブ	音設定
	音量設定
	バイブレータ設定
	マナーモード選択
	呼出動作開始時間設定
	音楽再生音優先設定
ディスプレイ	待受画面設定
	メニュー設定
	各種画面設定
	照明／キーバックライト設定
	イルミネーション設定
	文字表示設定
	マチキャラ設定
	ecoモード設定
	リスト幅設定
きせかえ／ライフスタイル	きせかえツール
	トータルカスタマイズ
	ライフスタイル設定
セキュリティ／ロック	ロック
	プライバシーモード
	親子モード
	電話／メール着信時設定
	UIMカード（FOMAカード）設定
	端末暗証番号変更
	スキャン機能
	パスワードマネージャー
	microSDパスワード設定
発着信・通話機能	電話発着信設定
	発番号なし動作設定
	エニーキーアンサー設定
	イヤホン機能設定
	メモリ着信拒否／許可
	発着信詳細設定
	通話詳細設定
	セルフモード設定

テレビ電話	テレビ電話発信設定
	テレビ電話着信設定
	テレビ電話動作設定
	パケット通信中着信設定
	テレビ電話画像選択
	テレビ電話使用機器設定
	テレビ電話切替機能通知
スライド／時計／入力／他	スライド編集設定
	時計
	文字入力設定
	ソフトウェア更新
	情報表示／リセット
	マルチタスクキー長押し設定
	モーションセンサー設定
	フェムトセル設定
	端末リフレッシュ設定
NWサービス	留守番電話
	キャッチホン／転送でんわ
	番号通知
	OFFICEED
	2in1設定
	メロディコール設定
	その他のNWサービス
	海外ネットワークサーチ
	海外設定
	海外用サービス

■MUSIC

ミュージックプレーヤー
Music&Videoチャネル

■おサイフケータイ

ICカード一覧	
DCMX	
トルカ	
ICカードロック設定	ICカードロック
	ICカードロック時動作設定
	ICカードオートロック設定
	ICカードロック解除予約
	電源OFF時ICロック設定
トルカ設定	トルカ取得確認設定
	ICカードからトルカ取得
	自動読取機能設定
	トルカ振り分け設定
ICオーナー確認	
ICオーナー変更	
ｉモードで探す	

■プロフィール

プロフィール

■ｉコンシェル

ｉコンシェル

主な仕様

■本体

項目		内容
品名		F-07C
サイズ		高さ約125mm×幅約61mm×厚さ約19.8mm
質量		約218g
連続待受時間※1、2、3	FOMA／3G	静止時（自動）：約600時間 移動時（自動）：約420時間 移動時（3G固定）：約460時間
	GSM	静止時（自動）：約400時間
連続通話時間※2、3、4	FOMA／3G	音声電話時：約370分 テレビ電話時：約170分
	GSM	約440分
充電時間※5		ACアダプタ：約170分
ディスプレイ	方式	TFT262,144色
	サイズ	約4.0inch
	画素数	614,400画素（600ドット×1,024ドット）
撮像素子	種類	アウトカメラ：CMOS インカメラ：CMOS
	サイズ	アウトカメラ：1/4.0inch インカメラ：1/10.0inch
	有効画素数	アウトカメラ：約510万画素 インカメラ：約32万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）	アウトカメラ：約500万画素（ケータイモード時のみ利用可） インカメラ：約31万画素（Windows 7モード時約17万画素）
	ズーム（デジタル）	アウトカメラ：最大約16.0倍 インカメラ：最大約2.0倍
記録部	静止画記録枚数※6	最大約1,300枚（お買い上げ時）
	静止画連続撮影	2～9枚
	静止画ファイル形式	JPEG
	動画録画時間※7	最大約13分（本体保存時・お買い上げ時） 最大約180分（microSDカード2GB保存時）
	動画ファイル形式	MP4
音楽再生	連続再生時間	ｉモーション：約1,234分※8 着うたフル®：約1,306分※8、9 WMAファイル：約1,279分※9 Music&Videoチャネル（音声）：約1,306分※9 Music&Videoチャネル（動画）：約332分
保存容量	着うた®※10／着うたフル®	約74MB

Windows 7モード	OS※11	Windows® 7 Home Premium 32ビット 正規版（SP1適用済み）
	CPU	インテル® Atom™ プロセッサー Z600（HTテクノロジー対応）（1.20GHz）※12
	メインメモリ	標準1GB／最大1GB（LPDDR400）
	SSD※13	約32GB（eMMC）
	無線LAN※14	IEEE 802.11b/g/n準拠（通信速度：最大65Mbps）※15
	バッテリー駆動時間	約2時間※16

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2 電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間が約半分程度になる場合があります。

※3 ｉモード通信、ｉモードメールの作成、ダウンロードしたｉアプリの起動やｉアプリ待受画面設定、Music&Videoチャネルの番組の取得や再生、ミュージックプレーヤーでの曲の再生、オートGPS機能の利用、Bluetooth接続、Windows 7モードなどを行うと通話や通信、待受の時間は短くなります。

※4 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。

※5 充電時間とは、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

※6 静止画記録枚数とは、画像サイズが「QVGA（320×240）」、画質が「スタンダード」、ファイルサイズが10Kバイトの場合です。

※7 動画録画時間とは、1件あたりの数値です。画像サイズが「VGA（640×480）」、品質が「STD（標準）」の場合です。撮影する映像によって異なります。

※8 AAC形式のファイルです。

※9 バックグラウンド再生に対応しています。

※10「着うた」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

※11 日本語版です。

※12 CPU は 1.20GHz の動作周波数のものが搭載されていますが、実際は 50%の周波数で動作します。

※13「NTFS」を採用しています。Windows RE 領域とリカバリ領域に約 8.2GB 使用しており、残りを C ドライブに割り当てています。

※14 ケータイモードでは利用できません。

※15 FOMA でのデータ通信との同時利用はできません。なお、規格による理論値であり、実行速度は通信環境により異なります。IEEE 802.11n では、20MHz 帯域幅システム（HT20）2.4GHz モードに対応しています。

※16 JEITA 測定法 Ver.1.0 による測定値です。バッテリー駆動時間は、動作環境・液晶の輝度・システム設定などにより変動します。

■電池パック

品　名	電池パック F20
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	1400mAh

保存・登録・保護件数

種　別		保存・登録件数	保護件数
電話帳※1		最大1000件	－
きせかえツール※1		最大50件	－
メール※1、2	受信メール	最大2500件	最大1250件
	送信メール	最大500件	最大250件
	未送信メール	最大200件	最大100件
エリアメール		最大30件	最大15件
Bookmark※3		最大200件	－
画面メモ※1、3		最大100件	最大100件
ミュージック※1	着うたフル®	最大100件	－
	うた文字	最大100件	－
ｉアプリ※1、4		最大100件	－
画像※1		最大3000件	－
動画／ｉモーション／サウンドレコーダーで録音した音声※1		最大200件	－
メロディ※1		最大500件	－
スケジュール帳※5		最大2600件	－
テキストメモ		最大50件	－

※1 実際に保存・登録できる件数は、データサイズや共有している保存領域の使用状況により少なくなる場合があります。
※2 ｉモードメールとSMSの合計件数です。
※3 ｉモードとフルブラウザの合計件数です。
※4 ｉアプリ、メール連動型ｉアプリの合計件数です。メール連動型ｉアプリは最大5件保存できます。
※5 スケジュール、ｉスケジュール内の予定の合計件数です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種F-07Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.796W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
富士通のホームページ
ttp://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成23年5月現在）

Declaration of Conformity

The product "F-07C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://www.fmworld.net/product/phone/doc/.

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves. Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency(RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.944W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/Kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operation positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Federal Communications Commission (FCC) Notice

- This device complies with part 15 of the FCC rules.
  Operation is subject to the following two conditions :
  ① this device may not cause harmful interference, and
  ② this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications made in or to the radio phone, not expressly approved by the manufacturer, will void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. Government's requirements for exposure to radio waves.
This model phone contains a radio transmitter and receiver. This model phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy as set by the FCC of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. Tests for SAR are conducted using standard operating positions as accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the

phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the power output level of the phone.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to prove to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC, when tested for use at the ear, is 0.730W/kg, and when worn on the body, is 0.521W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirements.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Equipment Authorization Search section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ (please search on FCC ID VQK-F07C).
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and which positions the handset at a minimum distance of 1.5 cm from the body.

※In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the general public is 1.6 Watts/kg (W/kg), averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Important Safety Information

AIRCRAFT

Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers flight mode or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING

Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS

Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS

Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE

Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers

Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pace maker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and does not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids

Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices :

Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

Wi-Fiとは

無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が実施している認証テストで、この認証テストにパスした製品のみ「Wi-Fi Certified™」という設定が与えられ、Wi-Fiロゴがついた製品との相互接続が保証されます。

✤ 認証取得内容

■IEEE Standard ※1

- IEEE 802.11b
- IEEE 802.11g
- IEEE 802.11n

■Security ※2

- WEP（WEPキー：64／128 ビット）
- WPA™ -パーソナル（WPA-PSK）（TKIP/AES）
- WPA2™ -パーソナル（WPA2-PSK）（TKIP/AES）
- WPA™ -エンタープライズ（WPA）（TLS/PEAP）（TKIP/AES）
- WPA2™ -エンタープライズ（WPA2）（TLS/PEAP）（TKIP/AES）
- IEEE 802.1X（TLS/PEAP）

※1 無線LAN規格IEEE802.11に基づいたWi-Fi認証のベースとなる規格です。

※2 **WEPキー**

データ通信を行う際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。データの暗号化／復号化ともに同一のセキュリティキー（WEP キー）を用いるため、通信する相手と同一のセキュリティキー（WEP キー）を設定する必要があります。

WPA™（Wi-Fi Protected Access）

Wi-Fi Alliance®が策定したセキュリティ規格です。従来のネットワーク名（SSID）やセキュリティキー（WEP キー）に加えて、ユーザー認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

WPA2™（Wi-Fi Protected Access2）

Wi-Fi Alliance®が新たに策定したWPA の新バージョンです。WPA と比べ、より強力なAES暗号に対応しています。

WPA- パーソナル／WPA2- パーソナル

あらかじめ設定した文字列が無線LAN アクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証を行う簡易認証の方式です。

WPA- エンタープライズ／WPA2- エンタープライズ

IEEE 802.1Xサーバーと連携し、機器やユーザーのRADIUSによる認証を行なう方式です。

TKIP

WPA で使用される、暗号化方式の1つです。暗号化アルゴリズムはWEP と同じRC4 ですが、1パケットごとに暗号化に使用する暗号化キーを変更することで、セキュリティレベルが高くなっています。

AES（Advanced Encryption Standard）

暗号化アルゴリズムには、ベルギーの暗号開発者が開発した「Rijndael（ラインダール）」が採用され、データを固定のブロック長で区切ってそれぞれ暗号化を行います。データ長は128、192、256 ビット、鍵の長さは128、192、256 ビットがサポートされていて暗号強度は非常に高く設計されています。

TLS

IEEE 802.1Xの認証プロトコルの1つです。TLSでは、電子証明書を使って認証を行います。

PEAP（Protected Extensible Authentication Protocol）

IEEE 802.1Xの認証プロトコルの1つです。PEAP では、電子証明書およびID ／パスワードを使って認証を行います。

IEEE 802.1X
ネットワークでのユーザー認証方式を定めたIEEE標準プロトコルです。クライアントは、RADIUS サーバーとの相互認証が成功しない限り、ネットワークにアクセスすることはできません。クライアントとRADIUS サーバーとで相互認証が成功すると、セッションごとにセキュリティキーが自動的に生成され、クライアントに配信されます。このため、無線LAN クライアントで個々にセキュリティキーを設定する必要がありません。また、通信中にもセキュリティキーを自動的に変更するためセキュリティが高まります。認証の種類には電子証明書を使ったTLS、電子証明書とユーザー名／パスワードを使用したPEAP などがあります。

付録
輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

付録
知的財産権

著作権・肖像権

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

商標

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモーション」「ｉモード」「ｉアプリ」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「デコメ®」「デコメール®」「デコメ絵文字®」「デコメアニメ®」「ｉエリア」「おサイフケータイ」「キャラ電」「ｉチャネル」「デュアルネットワーク」「セキュリティスキャン」「公共モード」「トルカ」「メッセージF」「iD」「マルチナンバー」「2in1」「おまかせロック」「ケータイデータお預かりサービス」「DCMX」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「きせかえツール」「OFFICEED」「Music&Videoチャネル」「メロディコール」「エリアメール」「マチキャラ」「ｉコンシェル」「ｉウィジェット」「ｉアプリコール」「ｉスケジュール」および「ｉ-mode」

ロゴ「ｉ-αppli」ロゴ「iC」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。

- Microsoft、Windows、Windows Live、Internet Explorer、Silverlight、Excel、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「マルチタスク／Multitask」は日本電気株式会社の登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browser、NetFront Sync Clientを搭載しています。
  ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

-

  JBlendおよびJBlendに関する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player、Adobe® Flash® Lite® および Adobe Reader® Mobileテクノロジーを搭載しています。

  Adobe、Adobe Reader、Flash、およびFlash LiteはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- QuickTimeは、米国および他の国々で登録された米国Apple Inc.の登録商標です。
- 本製品は、日本語変換機能として、株式会社ジャストシステムのATOK＋APOTを搭載しています。
  「ATOK」「APOT(Advanced Prediction Optimization Technology)」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- 本機には、Symbian Foundation Limitedよりライセンス供与されたソフトウェアが含まれています。SymbianはSymbian Foundation Limitedの登録商標です。
- 「プライバシーモード」は富士通株式会社の登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- 「丸ゴシック」、「レイミン」、「丸フォーク」は、株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。また「レイミン」、「丸フォーク」の名称は、同社の商標です。
- Google、Googleカレンダー、モバイルGoogleマップは、Google, Inc.の登録商標です。

- Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-FiロゴおよびWi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。
- Blu-ray Discおよびロゴは商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。
- @niftyは、ニフティ株式会社の商標です。
- Facebookは、アメリカ合衆国または他国々におけるFacebook,Inc.の登録商標です。
- Twitterは、アメリカ合衆国または他国々におけるTwitter,Inc.の登録商標です。
- Symantec、SymantecロゴはSymantec Corporationの登録商標であり、各製品名はSymantec Corporationの登録商標または商標です。
- デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター /i-フィルター はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

その他

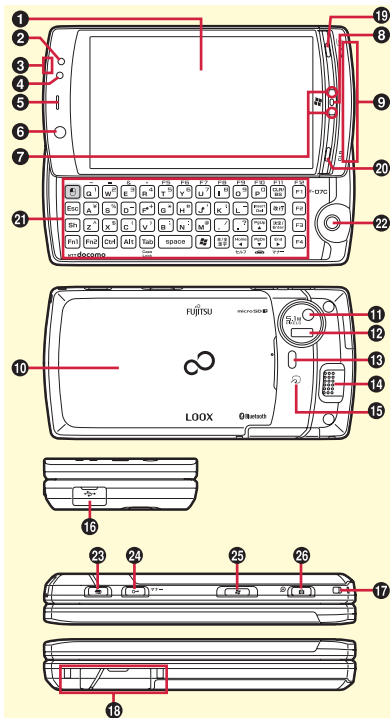
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- 本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品はジェスチャーテックの技術を搭載しております。
  Copyright© 2006-2010, GestureTek, Inc. All Rights Reserved.
- 「学研モバイル国語辞典」「学研モバイル和英辞典」「学研モバイル英和辞典」「今日は何の日」「今日の歴史」は、学研編集の著作物です。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画やｉモーション（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
  - 個人的かつ営利活動に従事していない消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- コンテンツ所有者はWindows Mediaデジタル著作権管理テクノロジ（WMDRM）を使用して、著作権を含む自身の知的財産権を保護します。このデバイスはWMDRMソフトウェアを使用してWMDRM保護されたコンテンツにアクセスします。WMDRMソフトウェアがコンテンツの保護に支障を来たした場合、コンテンツ所有者はマイクロソフトに対して、保護されたコンテンツをソフトウェアがWMDRMを使用して再生、コピーするための許可を失効させるように要求することができます。失効しても、WMDRMで保護されていないコンテンツは影響を受けません。WMDRMで保護されたコンテンツのためのライセンスをダウンロードするときは、マイクロソフトがライセンスに“Revocation List”を含めることに同意したものと見なします。コンテンツ所有者は、コンテンツがアクセスされる時にWMDRMをアップグレードするよう要求することがあります。アップグレードを拒否すると、そのアップグレードを必要とするコンテンツにアクセスできなくなります。

English

Quick Manual

The latest information of this manual can be downloaded from the DOCOMO website.
Further, the detailed English manual can be downloaded from the following URL:
http://www.nttdocomo.co.jp/english/support/trouble/manual/download/index.html

Part names

To use the function with *, press the key for 1 second or more.

❶ Display (touch panel)

❷ Light for indicating receiving call or mail, or charging, etc.

❸ GPS antenna (Built-in)
Covering around the antenna with your hand may affect the quality.

❹ Light sensor for sensing the ambient lightness to adjust the brightness of the display

❺ Earpiece

❻ In-camera

❼ Light for indicating the state of the Windows 7 mode by turning on/blinking

❽ Microphone

❾ FOMA antenna (Built-in)
Covering around the antenna with your hand may affect the quality.

❿ Back cover
To access UIM slot and the microSD card slot, remove the back cover and the battery pack.
Do not remove sticker attached to the back of the back cover. It may cause the FOMA terminal performance to be degraded.

⓫ Out-camera

⓬ Infrared data port

⓭ Shooting indication light/Camera light

⓮ Speaker

⓯ mark for placing over IC card reader for Osaifu-Keitai and iC transmission

⓰ microUSB terminal for connecting included USB cable F01 or Earphone Plug Adapter 01

⓱ Strap opening

⓲ Cradle connection jack

⓳ [end/power key] Exit a running function, or turn ON/OFF the FOMA terminal by pressing for 2 seconds or more

⓴ [CLR] Receive voice call, delete entered characters, return to the previous screen, or display i-Channel list

㉑ QWERTY keypad⇒P117

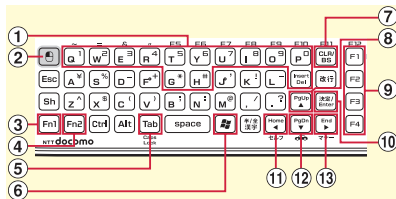
㉒ Trackball for moving the cursor by rotating, performing an operation by pressing. Perform the same operation as clicking the left mouse button by pressing, clicking the right mouse button by pressing for 1 sec. or more in the Windows 7 mode

㉓ [multitask key] Multitask key for starting another function during a call or operation

㉔ [key icon] Turn ON/OFF the display light, activate/deactivate of Silent mode (*)

㉕ [Windows key] Switch Windows 7 mode/FOMA mode, force-quite Windows 7 by pressing for 4 sec. or more

㉖ [camera key] Operate still camera, start shooting still images (*)

QWERTY keypad

To use the function with *, press the key for 1 second or more.

① [Q] - [P], [G], [H], [Del] Enter phone numbers or symbols, select a menu item, delete entered characters, return to the previous screen, or perform short cut operations

② [mouse key] Select an item, perform the same operation as clicking the left mouse button, only in the Windows 7 mode

③ [Fn1] Press with another key at the same time to enter symbol or number indicated in blue on the keys or use functions

④ [Fn2] Press with another key at the same time to enter symbol indicated in lime green on the keys or use functions

⑤ [Tab] Perform another function while calling or communicating (Multi access/Multitask)

⑥ [Windows key] Display Windows 7 start menu only in the Windows 7 mode

⑦ [CLR] Delete entered characters, return to the previous screen, or display i-Channel list

⑧ [▲] Display Scheduler, move the cursor, or display alarm list (*)

⑨ Guide keys

[F1] : Display menu, perform the operation upper left in the guide area

[F2] : Display outgoing call screen, perform the operation upper right in the guide area

[F3] : Display mail menu, perform the operation bottom left in the guide area, check new message (*)

[F4] : Display iMenu by connecting to i-mode, perform the operation bottom right in the guide area, display i-αppli folder list (*)

⑩ [決定] : Perform the operation, activate Focus mode, or perform the operation in the middle of the guide area

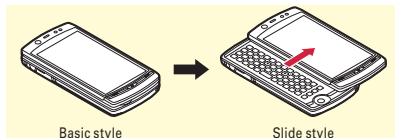
⑪ [◀] Display received calls, switch screen, move the cursor

⑫ [▼] Display Phonebook, move the cursor, or add a phonebook (*)

⑬ [▶] Display Redial, switch screen, move the cursor, or start/cancel IC card lock (*)

Usage Styles

The FOMA terminal can be used in 2 styles : "Basic style (closed position)" supports touch operation and "Slide style (open position)" supports touch operation and key operation.

- The procedures for the Basic style are mainly described in this manual.
- For operations available only by QWERTY keypad, and convenient operations using QWERTY keypad, key operation is described. Switch to the Slide style to operate QWERTY keypad.

* In Basic style, vertical and horizontal views can be switched according to tilt of the FOMA terminal by the auto rotation in Motion sensor (in some screens, screen view may not be changed).
* If you change to Slide style, the screen is automatically switched to horizontal view (in some screens, screen view may not be changed).
* Do not apply excessive force when opening or closing the FOMA terminal. Doing so may cause damage of the keys or the display.
* For opening or closing the FOMA terminal, do not touch the touch panel with your fingers to avoid erroneous operation.
* When you carry the FOMA terminal, activate Operation lock to avoid erroneous touch panel operation and save battery consumption.

Viewing display

Top of the display

(Ample)⇔ (Low) : Battery level
(Strong)⇔ (Weak)圏外 : Signal strength
: Connecting to i-mode
: Infrared communication in operation
: Bluetooth ON
: Handsfree ON
: eco mode activated
: Positioning with GPS
: Location request set
: Unread i-mode mail exists
: Arrival i-concier information exists
: Unreceived i-mode mail exists in the i-mode Center
: Auto-send mail exists
: During i-αppli operation
: Alarm clock ON

Bottom of the display

2 1 1 2 2 : Arrival information (Starting from the left, missed call, recorded message, message in voice mail service, unread mail, unread ToruCa, i-αppli call)
: Silent mode ON
: In Public mode (Drive mode)
: Record message ON
: IC card lock ON
: microSD card is inserted in Communication mode
: Pedometer/ACT monitor is set
: Software update notice

Character Entry

Touch operation and key operation are available to enter characters.

Text input by touch operation

Switch input mode : [icon] or [icon]
Touch key input : Select character by touch operation to enter characters
Handwriting input : Write characters with your finger in the handwriting input area to enter characters
To delete characters after confirming, "Clear" or [←]

Text input by QWERTY keypad

Press alphabet keys as Romanized spelling corresponding to the reading.

Switching modes

Touch key input : "TextMode" ▶ any of "Kana", "Alphameric", "Num", "Katakana", "Symbol S", "Symbol L"
Roman character input (Kana input mode) : On the character entry screen, press [F3] repeatedly

Entering pictograms

On the character entry screen, "Pict/Sym" ▶ "Pictgram" or "PictgrmD" ▶ Select pictogram

Entering smileys

On the character entry screen, "MENU" ▶ [5][3] ▶ [1] - [9] ▶ Select a smiley

Lock/Security

Changing the terminal security code

[MENU] ▶ [8][4][6] ▶ Authenticate ▶ Enter a new terminal security code ▶ Enter the new code in New security code - check filed ▶ "Save"

Changing PIN/PIN2 code

[MENU] ▶ [8][4][5] ▶ [1] or [2] ▶ Authenticate ▶ Enter the current PIN code ▶ Enter a new code in New PIN code entry field and in New PIN code - check field ▶ "Save"

Activating/Deactivating Operation lock

Turn off the display to lock touch operation.
[O‑‑] (Other than key operation, activates at set time in Light time-out)

All lock

Operations other than answering calls, receiving mail, and turning power ON/OFF become unavailable.
[MENU] ▶ [8][4][1][3] ▶ Authenticate
Enter the terminal security code by QWERTY keypad to unlock.

Self mode

All functions requiring communication are unavailable.
With pressing [Fn2], [◀] ▶ "Yes"

Setting Security lock

Touch operation etc. is locked during no operation after the screen display off.
[MENU] ▶ [8][4][1][2] ▶ Authenticate ▶ Set required items ▶ "Save"
Deactivate temporarily : With the screen off, [O‑‑] ▶ Authenticate

その他

Sound/Screen Setting

Setting Call ring alert

MENU ▶ 8 1 1 1 ▶ 1 or 2 ▶ Set required items ▶ "Save"

Setting Stand-by display

<Example> Setting an image stored by default to the stand-by display

MENU ▶ 8 2 1 1 ▶ 1 or 2 ▶ 1 ▶ Select a folder ▶ Select an image ▶ "Yes"

Setting Light alert

<Example> Setting Light alert for incoming call/ message

MENU ▶ 8 2 5 1 ▶ Set required items ▶ "Save"

Kisekae Tool

Set the stand-by display, menu, etc. at once with a predefined combination.

<Example> Setting Kisekae Tool stored by default

MENU ▶ 5 7 2 ▶ Touch a Kisekae Tool ▶ "Set" ▶ "Yes"

Voice/Videophone Calls

Entering a phone number to make a call

1 ▶ 123 ▶ Enter a phone number including area code (up to 80 digits) ▶ (voice calls) or "VP Call"
"OnHold" : Call on hold
2 When ending the call,

Using Redial/Received calls to make a call

▶ (Redial) or (Received calls) ▶ Touch a party ▶ "Call" (voice calls) or "VP Call"

Using phonebook to make a call

▶ ▶ Search the phonebook ▶ Touch a party ▶ "Call" (voice calls) or "VP Call"

Receiving a call

1 Receive
While receiving a call, : On hold
2 "Call" or "VP Call"
You can also answer a call by pressing front key CLR.
3 When ending the call,

Phonebook

Adding to FOMA terminal phonebook

Add entries to FOMA terminal phonebook. More information than one of UIM phonebook can be saved.

MENU ▶ 4 2 ▶ Enter a name ▶ Set required items ▶ "Save"

Adding to UIM phonebook

MENU ▶ 4 4 ▶ Enter a name ▶ Set required items ▶ "Save"

Searching FOMA terminal phonebook

MENU ▶ 4 1 ▶ Specify a search method

Editing FOMA terminal phonebook

▶ ▶ Search the phonebook ▶ Touch an entry ▶ "MENU" ▶ 3 1 ▶ Edit ▶ "Save" ▶ "Overwrite" or "New entry"

Mail

Creating/sending mails

1 [✉] ▶ 2
2 Select To ▶ Select input method ▶ Enter the receiver
3 Select [subject] ▶ Enter the subject
4 Select [Text] ▶ Enter message text
- **Creating Deco-mail :** "Decorate mail" ▶ Select a decoration icon ▶ Decorate
5 "Send"

File attachment

On the mail creation screen, select [attach] ▶ Select a file to attach ▶ Edit a mail ▶ "Send"

Displaying a mail in the mailbox

[✉] ▶ 1 or 4 or 5 ▶ Select a folder ▶ Select a mail

Check new message (mail)

 ▶ 6

Camera

Still camera

1 [camera] (1 sec. or more)
2 Point the camera at the object, [Shutter] or [camera] or [MENU] ▶ "Shoot"
3 [Save] or [camera]

Movie camera

1 MENU ▶ 6 4 2
2 Point the camera at the object, "Shutter" or [camera]
3 When you stop the shooting, "Stop" or [camera]
4 "Save" or [camera]

Displaying images

MENU ▶ 5 1 1 ▶ Select an image

Playing moving pictures

MENU ▶ 5 4 2 ▶ Select a moving picture

Operations while playing moving picture

Slide up/down : Adjust volume
Slide to right/left : Rewind/Fast forward
"PAUSE" : Pause
"PLAY" : Play/Play from the beginning (while stopping)
"STOP" : Stop

Music&Video Channel/MUSIC Player

Playing Music&Video Channel

MENU ▶ 9 2 ▶ Select a program

Playing a tune with MUSIC Player

MENU ▶ 9 1 ▶ Select a folder or playlist ▶ Select music data

Operations while playing

"PAUSE/PLAY" or [camera] *1 : Pause/Replay
Slide up/down : Adjust volume
Slide to right/left : Rewind/Fast forward
Quickly slide to left after a lapse of 3 sec. of playing time : Move to the beginning of chapter/tune*2
Quickly slide to right : Move to the next chapter/tune
Double-touch the screen, or [camera] (twice quickly) : Add to Quick play list*1
[camera] (1 sec. or more) : End playing*1

*1 Only valid for MUSIC Player.
*2 If playing time is within 3 seconds, move to the previous chapter/tune.

Network Service

Voice Mail service

MENU ▶ 8 8 1 1 ▶ Perform the following operation

Activate : 1 ▶ "Yes" ▶ "Yes" ▶ Enter ring time

Deactivate : 3 ▶ "Yes"

Play messages : 5 ▶ 1 or 2 ▶ "Yes" ▶ Follow the guidance to operate

Call Waiting Service

MENU ▶ 8 8 2 1 ▶ 1 (Activate) or 2 (Deactivate) ▶ "Yes"

Operations during Call Waiting are as follows.

During a voice call, [key] : Answer a voice call from the second party

You can also answer a call by pressing front key CLR.

"切替" : Switch to another party

Call Forwarding Service

MENU ▶ 8 8 2 2 ▶ Perform the next operation

Activate : 1 ▶ "Yes" ▶ "Yes" ▶ Enter a phone number ▶ "OK" ▶ "Yes" ▶ Enter ring time

Deactivate : 2 ▶ "Yes"

Other Main Functions

Function	Operating procedure
Start/Cancel Public mode (Drive mode)	G (1 sec. or more)
Display iMenu	F4
Display i-αppli folder list	F4 (1 sec. or more)
Display Received calls/Redial	◀/▶
Start/Cancel IC card lock	▶ (1 sec. or more)*
Display Scheduler	▲
Display alarm list	▲ (1 sec. or more)
Start/Cancel Silent mode	[key] (1 sec. or more)
Start quick search	While performing function, press [key]
Multitask menu	[key] (1 sec. or more)

* Authentication is required to cancel.

Emergency call

Service	Phone No.
Police	110
Fire and ambulance	119
Marine emergencies	118

Overseas use

Refer to "Mobile Phone User's Guide [International Services]", DOCOMO International Services website and "海外ご利用ガイド (Overseas usage guide)" preinstalled in My Document of Data Box. (in Japanese only)

Making a call/videophone call

- When making a call to WORLD WING user, the call is forwarded internationally from Japan even when staying in the same country. Enter "+" and Japans country code "81".

International call (including to Japan) :

[key] ▶ 123 ▶ + ▶ Country code ▶ Enter a phone number without the leading "0" of the area code (City code) ▶ [key] (voice calls) or "VP Call"

Call inside the country you stay :

[key] ▶ 123 ▶ Enter a phone number ▶ [key] (voice calls) or "VP Call" ▶ "No, use original"

Receiving a call/videophone call

A call is received ▶ "Call" or "VP Call"

You can also answer a call by pressing front key CLR.

その他

Setting after returned to Japan

When FOMA terminal is turned ON after returning to Japan but the terminal is not automatically connected to FOMA network, set network search mode to "Auto", and 3G/GSM setting to "AUTO".

Inquiries

Please check on the number before dialing.

General Inquiries <docomo Information Center>

<In English, Portuguese, Chinese, Spanish, Korean>

0120-005-250 (toll free)

<In Japanese only>

No prefix 151 (toll free)

0120-800-000 (toll free)

* Available only from mobile phones and PHSs.

Repairs

<In Japanese only>

No prefix 113 (toll free)

0120-800-000 (toll free)

* Available only from mobile phones and PHSs.

Omakase Lock

* If you are a docomo Premier Club member, the service is available any number of times with no commission. If you are not a member, the charge for the service occurs (however, you are not charged if you subscribe to this service at the same time as service interruption or during interruption.).

Setting/Canceling Omakase Lock
<In Japanese only>

0120-524-360

Available 24 hours a day (open all year round)

* Unavailable from part of IP phones.

Loss or theft of FOMA terminal or payment of cumulative cost overseas

<docomo Information Center>

(24 hours)

● **From DOCOMO mobile phones**

International call access code for the country you stay **-81-3-6832-6600*** **(toll free)**

* Call to Japan is charged when calling from a land-line phone.

* When calling from an F-07C, you should dial the number +81-3-6832-6600.

● **From land-line phones <Universal number>**

Universal number international prefix **-8000120-0151***

* Local call charges may be required.

* For international call access codes for major countries/ universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

Failures encountered overseas

<Network Support and Operation Center>

(24 hours)

● **From DOCOMO mobile phones**

International call access code for the country you stay **-81-3-6718-1414*** **(toll free)**

* Call to Japan is charged when calling from a land-line phone.

* When calling from an F-07C, you should dial the number +81-3-6718-1414.

● **From land-line phones <Universal number>**

Universal number international prefix **-8005931-8600***

* Local call charges may be required.

* For international call access codes for major countries/ universal number international prefix, refer to DOCOMO International Services website.

索引

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

英数字・記号

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

iモードから　iMenu ⇒ お客様サポート ⇒ お申込・お手続き ⇒ 各種お申込・お手続き　パケット通信料無料

パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種お申込・お手続き

※iモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※iモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。海外からのアクセスの場合は有料となります。
※パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲への心くばりを忘れずに。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

・ 航空機内、病院内や電車などの優先席付近では、必ず携帯電話の電源を切ってください。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

・ 運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など、公共の場所にいる場合

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

ドコモの環境への取り組み

取扱説明書の薄型化

本書では、基本的な機能の操作について説明することにより、取扱説明書の薄型化を図り、紙の使用量を削減いたしました。
よく使われる機能や詳しい説明については、使いかたガイド（本FOMA端末に搭載）やドコモのホームページでご確認いただけます。

携帯電話の回収・リサイクル

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず左記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っております。お近くのドコモショップへお持ちください。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**151**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　午前9：00～午後8：00　（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）**113**（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　24時間　（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページ、iモードサイトにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/　　iモードサイト　iMenu⇒お客様サポート⇒ドコモショップ

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※ F-07Cからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）
*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※F-07Cからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」キーを1秒以上押します）。

●一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion 00
環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　富士通株式会社

'11.5（1版）
CA92002-6360

パソコン接続マニュアル

パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA端末でデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、「FOMA通信設定ファイル」「ドコモ コネクションマネージャ」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

- 本マニュアルでは操作手順や画面など、FOMA F-09Cを例に記載しています。
- ドライバ名やモデム名などを「F09C」と記載していますが、機種により異なります。
- 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）を使用した場合を例に説明していますが、機種によってはUSBケーブル F01を使用します。
- イラストはイメージです。機種により形状などが異なります。
- Bluetooth接続およびWi-Fi接続についての記載は、対応機種のみ対象です。

'11.5（1版）
CA92002-6513

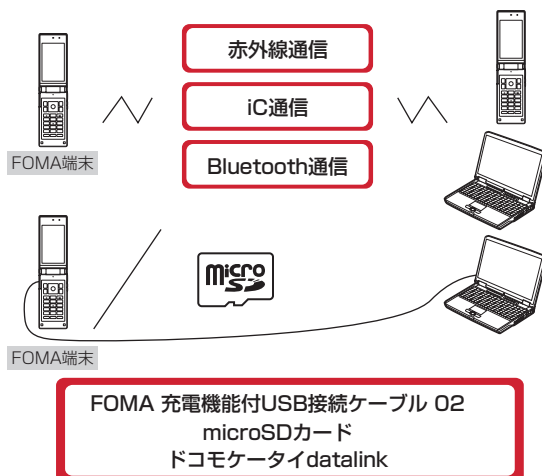
データ通信

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、データ転送（OBEX™通信）、パケット通信、64Kデータ通信に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータを編集したりするには、ドコモのホームページからソフトをダウンロードし、インストールや各種設定を行う必要があります。
- 海外でパケット通信を行う場合は、IP接続で行ってください（PPP接続ではパケット通信できません）。また、海外では64Kデータ通信は利用できません。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応しておりません。
- ドコモのPDAのsigmarionⅢと接続してデータ通信が行えます。ただし、ハイスピードエリア対応の高速通信には対応しておりません。

❖データ転送（OBEX™通信）

画像や音楽、電話帳、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。

- 転送方法により送受信できるデータが異なります。転送方法ごとの送受信可能なデータについては、FOMA端末の「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）をご覧ください。

❖パケット通信

インターネットに接続してデータ通信（パケット通信）を行います。
送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbpsまたは384kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォート方式による提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ FOMAハイスピードエリア外やHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDAのsigmarionⅢなどHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合、通信速度が遅くなることがあります。

※ Bluetooth接続の場合、FOMA端末の通信速度はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機器間の通信速度に限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。

※ 受信最大7.2Mbps、送信最大5.7Mbpsまたは384kbpsとは技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を示すものではありません。実際の通信速度は、ネットワークの混み具合や通信環境により異なります。

❖64Kデータ通信

インターネットに接続して64Kデータ通信を行います。
データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64Kのアクセスポイントを利用できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

◆動作環境

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。パソコンのシステム構成により異なる場合があります。

項　目	必要環境
パソコン本体	PC/AT互換機 USBケーブル接続の場合：USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠） Bluetooth接続の場合：ダイヤルアップネットワーキングプロファイルに対応するBluetooth標準規格Ver.2.1＋EDRまでに準拠 Wi-Fi接続の場合：無線LAN標準規格IEEE 802.11bまたはIEEE 802.11gに準拠 ディスプレイ解像度800×600ドット以上、High Color16ビット以上を推奨（1,024×600ドット以上（1,024×768ドット以上を推奨））※
OS（各日本語版）	Windows XP、Windows Vista、Windows 7
必要メモリ	Windows XP：128MB以上　Windows Vista：512MB以上 Windows 7：32ビット版1GB以上、64ビット版2GB以上
ハードディスク容量	5MB（10MB※）以上の空き容量
Webブラウザ※	Internet Explorer 6.0以上
メールソフト※	WindowsメールおよびOutlook Express 6.0

※ ドコモ コネクションマネージャを利用するための動作環境です。
- 動作環境の最新情報については、ドコモのホームページをご覧ください。
- OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆必要な機器

USBケーブル接続をする場合は、FOMA端末とパソコン以外に次の機器およびソフトウェアが必要です。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 機種によってはUSBケーブル F01を使用します。
- FOMA通信設定ファイル（ドライバ）※

※ ドコモのホームページからダウンロードしてください。

✔お知らせ

- パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

◆ご利用時の留意事項

❖インターネットサービスプロバイダの利用料

パソコンでインターネットを利用する場合、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

- ドコモのインターネット接続サービスmopera Uがご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

❖接続先（プロバイダなど）

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- moperaのサービス内容および接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/index.html

❖ユーザー認証

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❖ブラウザ利用時のアクセス認証

パソコンのブラウザを利用してのアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、FirstPass PCソフトを利用します。ドコモのホームページからFirstPass PCソフトをダウンロードし、インストール、設定を行ってください。詳細はドコモのホームページをご覧ください。

❖パケット通信および64Kデータ通信の条件

日本国内で通信を行うには、次の条件が必要です。

- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信またはISDN同期64Kに対応していること
- Bluetooth接続の場合は、パソコンがダイヤルアップネットワーキングプロファイルに対応するBluetooth標準規格Ver.2.1＋EDRまでに準拠していること
- Wi-Fi接続する場合は、パソコンが無線LAN標準規格IEEE 802.11bまたはIEEE 802.11gに準拠していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状態が悪かったりするときは通信できない場合があります。

◆ドコモケータイdatalinkの紹介

ドコモケータイdatalinkは、お客様の携帯電話の電話帳やメールなどをパソコンにバックアップして、編集などを行うソフトです。ドコモのホームページにて提供しております。詳細およびダウンロードは下記サイトのページをご覧ください。
http://datalink.nttdocomo.co.jp/

- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、あらかじめFOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしておく必要があります。
- ダウンロード方法、転送可能なデータ、動作環境、インストール方法、操作方法などの詳細については、上記ホームページをご覧ください。また、インストール後の操作方法については、ソフト内のヘルプをご覧ください。
- ドコモケータイdatalinkをご利用になるには、別途USBケーブルが必要です。

データ転送（OBEX™通信）の準備の流れ

USBケーブルをご利用になる場合には、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールしてください。

ドコモのホームページからFOMA通信設定ファイル（ドライバ）をダウンロードし、インストールする

▼

データ転送

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

USBケーブル接続の場合

① ドコモのホームページからFOMA通信設定ファイル（ドライバ）をダウンロードし、インストールする→P7

▼

② パソコンとFOMA端末を接続する→P6

▼

③ FOMA通信設定ファイル（ドライバ）を確認する→P7

Bluetooth接続の場合

① Bluetooth接続を準備する→P9

▼

② モデムの確認をする→P10

▼

ドコモのホームページからドコモ コネクションマネージャをダウンロードし、インストールする→P12

▼

ドコモ コネクションマネージャでデータ通信の設定をする

▼

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する→P15

▼

通信を実行する

Wi-Fi接続の場合(パケット通信のみ)

FOMA端末をAPモードにする
・APモードについては、FOMA端末の「取扱説明書(詳細版)」(PDFファイル)をご覧ください。

接続の設定をする→P24

通信を実行する

◆インストール/アンインストール前の注意点

- 操作を始める前に他のプログラムが動作中でないことを確認し、動作中のプログラムがある場合は終了してください。

※ ウイルス対策ソフトを含む、Windows上に常駐しているプログラムも終了します。
　例：タスクバーに表示されているアイコンを右クリックし、「閉じる」または「終了」をクリックします。

- FOMA通信設定ファイル（ドライバ）やドコモ コネクションマネージャのインストール/アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、次の操作を行います（Windows XPでは表示されません）。
  - Windows 7：「はい」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリック
  - Windows Vista：「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリック
- パソコンの操作方法または管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

ここでは取り付け／取り外し方法を説明します。FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールは行いません。→P7

- FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストール前にパソコンに接続すると、USBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求されますが、「キャンセル」をクリックして終了してください。
- パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
- 外部接続端子の位置やUSBケーブルの取り付け／取り外し方法などは、機種により異なる場合があります。お使いのFOMA端末の「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）でご確認ください。

◆USBケーブルを取り付ける

1 USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

2 USBケーブルのパソコン側のコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末の待受画面にが表示されます。

❖取り外しかた

1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し、FOMA端末から引き抜く

2 パソコンからUSBケーブルを取り外す

✔お知らせ

- FOMA端末からUSBケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- データ通信中にUSBケーブルを取り外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）が必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、あらかじめインストールしておきます。

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- USBケーブルを利用しない場合は、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）のインストールは必要ありません。
- 操作5でFOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されるまで、FOMA端末を接続しないでください。

1 FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をドコモのホームページからダウンロード

http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/foma/com_set/driver/index.html
- FOMA端末の機種をお確かめのうえ、ダウンロードしてください。

2 ダウンロードしたファイルをダブルクリック→解凍されたフォルダをダブルクリック→お使いのパソコンのOSが該当するファイルを選択

3 表示されたウィンドウから「F09Cst.exe」アイコンをダブルクリック

4 「インストール開始」をクリック

5 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続

- FOMA端末は電源が入った状態で接続してください。

6 インストール完了画面で「OK」をクリック

◆FOMA通信設定ファイル（ドライバ）を確認する

- FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

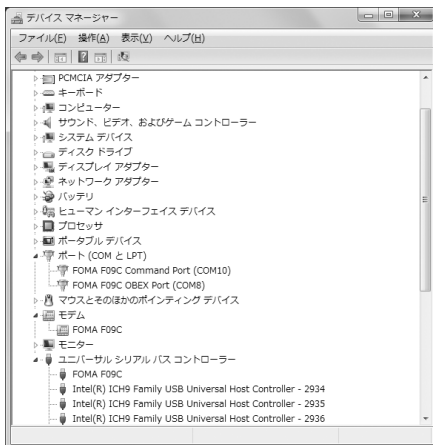
〈例〉Windows 7で確認するとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」カテゴリ内にある「デバイスマネージャー」を順にクリック

Windows Vistaのとき
（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

Windows XPのとき
①「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を順にクリック
②「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

2 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認

- デバイスの種類とデバイス名は次のとおりです。表示される順番はOSにより異なります。
  -ポート（COMとLPT）：
  FOMA F09C Command Port（COMx）※
  FOMA F09C OBEX Port（COMx）※
  -モデム：FOMA F09C
  -ユニバーサルシリアルバスコントローラーまたはUSB（Universal Serial Bus）コントローラ：FOMA F09C
  ※xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

◆FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

- 操作する前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P5
- 操作する前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaでアンインストールするとき

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「プログラム」カテゴリ内にある「プログラムのアンインストール」を順にクリック

Windows XPのとき

「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を順にクリック

2 「FOMA F09C USB Driver」または「FOMA F09C USB」を選択して「アンインストールと変更」（Windows XPの場合は「変更と削除」）をクリック

3 「FOMA F09C Uninstaller」と表示されていることを確認して「はい」をクリック

アンインストールを開始します。

4 「ドライバを削除しました」画面が表示されたら「OK」をクリック

✔お知らせ

- 削除画面で「FOMA F09C USB Driver」または「FOMA F09C USB」が表示されていないときは、再度「FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする」の操作を行った後に、アンインストールを行ってください。→P7

Bluetooth®接続を準備する

Bluetooth対応パソコンとFOMA端末をBluetooth接続して、データ通信を行います。

- パソコンの操作方法については、ご使用になるパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- FOMA端末がBluetooth接続待機状態になると待受画面に(青)が表示されます。FOMA端末とパソコン間のBluetooth接続が成功すると(青)が点滅します。

◆FOMA端末にパソコンを登録する

本FOMA端末に初めてBluetooth接続するパソコンはFOMA端末に登録します。

- パソコンの環境によっては、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。

1 FOMA端末で MENU 6 8 1

登録待機中になり、待受画面に戻ります。

2 パソコンでFOMA端末の検索と機器登録をする

- FOMA端末が登録待機中に行います。
- パソコンの取扱説明書によっては、「検索」の代わりに「探索」または「サーチ」、また「機器登録」の代わりに「ペアリング」と表記されている場合があります。

3 パスキーの認証画面が表示されたら「はい」を選択

- 接続確認画面が表示された場合は「はい」を選択します。
- FOMA端末にパソコンが機器登録され、登録が完了すると待受画面に戻り、接続待機状態になります。必要に応じて、パソコンで接続の設定・操作を行います。

Bluetoothパスキーを入力する場合

FOMA端末でBluetoothパスキー（半角数字4～16桁）を入力して● ［決定］

- FOMA端末とパソコンで同じBluetoothパスキーを入力します。
- 通常接続機器（オーディオ）設定の確認画面が表示された場合は、「いいえ」を選択します。

✔お知らせ

- パソコンにFOMA端末を登録する場合、パソコンが複数の機器を検索したときは、機器名称でFOMA端末を判別してください。パソコンが同一名称の機器を複数検索したときは、機器アドレスで判別してください。

◆登録済みのパソコンと接続する

FOMA端末に登録済みのパソコンとBluetooth接続する場合は、FOMA端末を接続待機状態にします。

1 FOMA端末で MENU 6 8

2 「接続待機」にカーソル→ ✉ ［接続種別］→「ダイヤルアップ（DUN）」を☑にして 📷 ［確定］

接続待機中になり、待受画面に戻ります。

- 接続中のBluetooth機器がある場合は、接続中の機器を切断して接続待機するかどうかの確認画面が表示されます。

3 パソコンで接続の操作をする

◆モデムの確認をする

パソコンでご使用になるモデムのモデム名や、ダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を確認します。
• FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows 7で確認するとき

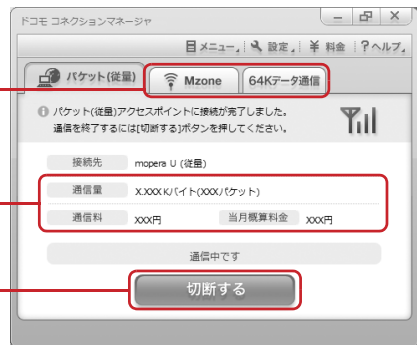
1 （スタート）→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」カテゴリ内にある「デバイスマネージャー」を順にクリック

Windows Vistaのとき
（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

Windows XPのとき
①「スタート」→「コントロールパネル」→「パフォーマンスとメンテナンス」→「システム」を順にクリック
②「システムのプロパティ」画面の「ハードウェア」タブをクリック→「デバイスマネージャ」をクリック

2 各デバイスの種類をダブルクリック→モデム名またはCOMポート番号を確認
• 「モデム」、「ポート（COMとLPT）」の下にモデム名またはCOMポート番号が表示されます。

ドコモ コネクションマネージャを利用する

ドコモ コネクションマネージャは、定額データ通信および従量データ通信を行うのに便利なソフトウェアです。mopera Uへのお申し込みや、お客様のご契約状況に応じたパソコンの設定を簡単に行うことができます。
また、料金カウンタ機能でデータ通信量や利用金額の目安を確認することもできます。
本マニュアルでは、ドコモ コネクションマネージャのインストール方法までをご案内いたします。

• FOMA端末を使ってインターネットに接続するには、サービスおよびデータ通信に対応したインターネットサービスプロバイダ（mopera Uなど）のご契約が必要です。
詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

✔お知らせ

従量制データ通信（ｉモードパケット定額サービスなど含む）のご利用について

- パケット通信を利用して、画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロード（例：アプリケーション、音楽、動画、OSまたはウイルス対策ソフトのアップデート）など、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
  なお、本FOMA端末をパソコンなどにUSBケーブルで接続してデータ通信を行う場合は、FOMAのパケット定額サービスのパケ・ホーダイ、パケ・ホーダイフルの定額対象外通信となりますのでご注意ください。

定額データプランのご利用について

- 定額データプランを利用するには、定額データ通信に対応した料金プランのインターネットサービスプロバイダにご契約いただく必要があります。詳しくは、ドコモのホームページをご覧ください。

moperaのご利用について

- moperaの接続設定方法については、moperaのホームページをご覧ください。
  http://www.mopera.net/mopera/support/index.html

◆ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に

ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に次の事項を確認し、必要に応じてソフトの設定変更やアンインストールを行ってください。

- FOMA端末とUSBケーブルを用意してください（Bluetooth接続の場合は、USBケーブルは必要ありません）。
- サービスおよびインターネットサービスプロバイダの契約内容を確認してください。
- ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトがインストールされている場合は、必要に応じて自動的に起動しないように設定を変更してください。→P12「ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について」

❖Internet Explorerの設定を変更する

- ドコモ コネクションマネージャをインストールする前に、あらかじめInternet Explorerの「インターネットオプション」で、接続の設定を「ダイヤルしない」に設定してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaで変更するとき

1 **（スタート）→「すべてのプログラム」→「Internet Explorer」を順にクリック**

Windows XPのとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」を選択→「Internet Explorer」をクリック

2 **「ツール」→「インターネットオプション」を順にクリック**

3 **「接続」タブをクリック→「ダイヤルしない」を選択**

4 「OK」をクリック

❖ ドコモ コネクションマネージャ以外の接続ソフトのご利用について

ドコモ コネクションマネージャには次のソフトと同じ機能が搭載されておりますので、同時にご利用いただく必要はありません。必要に応じて、起動しない設定への変更やアンインストールを行ってください。

- mopera Uかんたんスタート
- Uかんたん接続設定ソフト
- FOMA PC設定ソフト
- FOMAバイトカウンタ

また、ドコモ コネクションマネージャでMzone（ドコモ公衆無線LANサービス）を利用する場合は、次の公衆無線LAN接続ソフトはアンインストールを行ってください。なお、同時にインストールした場合、ドコモ コネクションマネージャでのMzone接続はご利用いただけません。

- U公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティソフト
- ドコモ公衆無線LANユーティリティプログラム

◆ ドコモ コネクションマネージャをインストールする

〈例〉Windows 7にインストールするとき

1 ドコモ コネクションマネージャをドコモのホームページからダウンロード

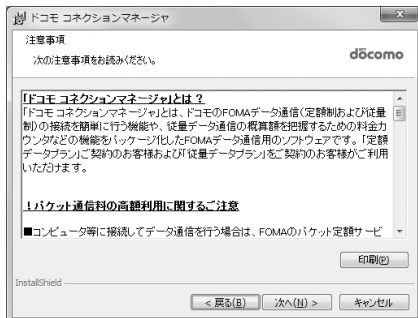
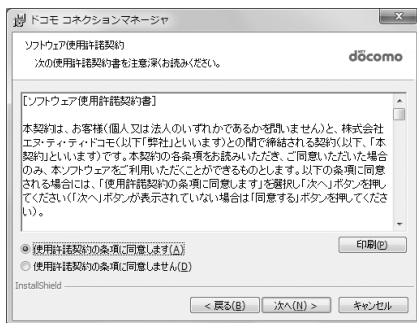
http://www.nttdocomo.co.jp/support/utilization/application/service/connection_manager/index.html

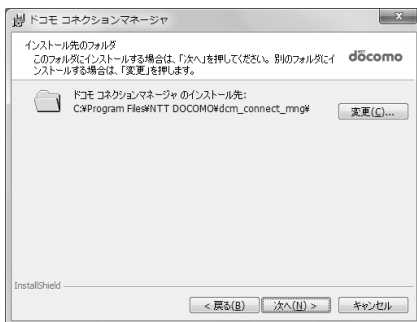
- お使いのパソコンのOSをお確かめのうえ、該当するファイルを選択してください。

2 「dcm_connect_mng_setup.exe」アイコンをダブルクリック

- セキュリティの警告画面が表示された場合は、「実行」をクリックします。

3 「次へ」をクリック

4 注意事項を確認して「次へ」をクリック

5 ソフトウェア使用許諾契約の内容を確認して、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリック

6 インストール先のフォルダを確認して「次へ」をクリック

- インストール先を変更する場合は「変更」をクリックし、任意のインストール先を指定してください。

7 「インストール」をクリック

インストールが始まります。

8 「InstallShieldウィザードを完了しました」画面が表示されたら「完了」をクリック

ドコモ コネクションマネージャのインストールが完了します。

✔お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- データ通信中にインストールを行わないでください。

◆ ドコモ コネクションマネージャを起動する

- 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

〈例〉Windows 7、Windows Vistaで設定するとき

1 （スタート）→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順にクリック

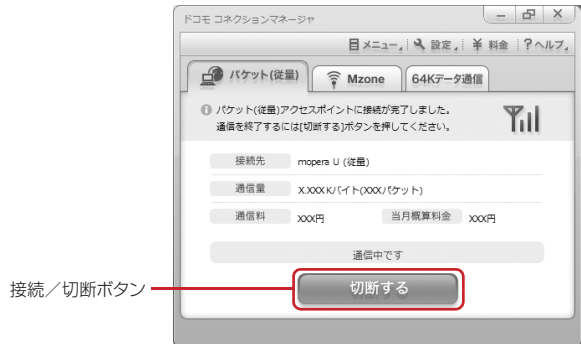
Windows XPのとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「NTT DOCOMO」→「ドコモ コネクションマネージャ」を順に選択して「ドコモ コネクションマネージャ」をクリック

ドコモ コネクションマネージャが起動します。
初回起動時には、自動的に設定ウィザードが表示されます。

- 設定ウィザードに従い、インターネットに接続してデータ通信を行うための設定を行います。
  設定後にドコモ コネクションマネージャを利用して、通信を実行することができます。
  詳しくは、『ドコモ コネクションマネージャ操作マニュアル』をご覧ください。

✔お知らせ

- インターネットブラウザやメールソフトを終了しただけでは、通信は切断されません。通信をご利用にならない場合は、必ずドコモ コネクションマネージャの「切断する」ボタンで通信を切断してください。
- OSアップデートなどにおいて自動更新を設定していると自動的にソフトウェアが更新され、パケット通信料が高額となる場合がございますのでご注意ください。

ドコモ コネクションマネージャを利用しない通信を設定する

ドコモ コネクションマネージャを利用しないで、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

◆ダイヤルアップネットワークの設定の流れ

- データ通信の準備の流れ→P4
- 操作する前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。

※ パケット通信の場合に設定します。
設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ここではWindows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。
Windows 7、Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows 7、Windows Vistaの場合は、各OSに対応したソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

◆接続先（APN）を設定する

❖接続先（APN）と登録番号（cid）

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、2と3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が、4には128K通信で接続するためのAPN「mpr.ex-pkt.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid5～10にAPNを登録します。

- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- USBケーブル接続とBluetooth接続は、それぞれ個別に接続先（APN）を設定する必要があります。
- パケット通信時にUSBケーブル接続とBluetooth接続を切り替える場合は、再度接続先（APN）を設定する必要があります。
- 接続先の設定は、パケット通信用の電話帳登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の電話帳と比較すると、次のようになります。

接続先（APN）の設定	電話帳の項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
接続先名（APN）	相手の名前
＊99＊＊＊<cid>#（パケット通信）	相手の電話番号

- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

❖接続先（APN）を設定する

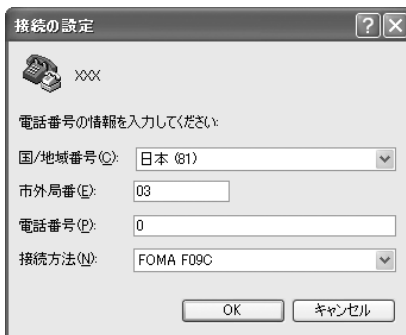
〈例〉Windows XPで設定するとき

1 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

2 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→「OK」をクリック

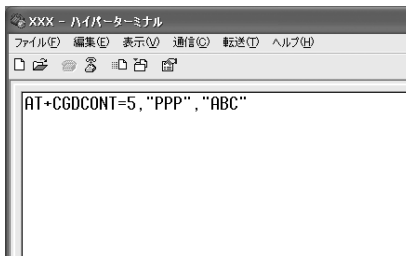
- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜”

3 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」を選択→「OK」をクリック

- 「市外局番」はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。
- 「接続方法」は次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「FOMA F09C」を選択
  Bluetooth接続の場合：「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム」または「Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」を選択

4 「接続」画面で「キャンセル」をクリック

5 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=＜cid＞,"＜PDP_TYPE＞","＜APN＞"」の形式で入力→↵

＜cid＞：5～10の範囲で任意の番号
＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
＜APN＞：接続先（APN）

- +CGDCONTコマンド→P33「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。

6 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

7 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

◆発信者番号の通知／非通知を設定する

パケット通信時の発信者番号の通知／非通知を一括して設定します。
発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

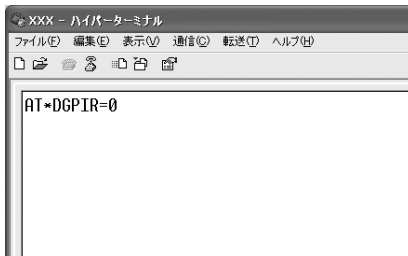
〈例〉Windows XPで設定するとき

1 「接続先（APN）の設定」の操作1～4を実行

2 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=＜n＞」の形式で入力→↵

＜n＞：0～2

0：そのまま接続（お買い上げ時）
1：184を付けて接続（非通知）
2：186を付けて接続（通知）

- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。

3 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック

4 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

❖ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

- ＊DGPIRコマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIRコマンドによる設定 ／ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#		非通知	
186＊99＊＊＊3#		通知	

◆ダイヤルアップネットワークを設定する

ここでは、パケット通信でmopera UにIP接続する場合を例に説明しています。

- パケット通信でmopera Uまたはmoperaに接続する場合は、電話番号欄に次のように入力してください。
  mopera U（PPP接続）：＊99＊＊＊2＃
  mopera U（IP接続）：＊99＊＊＊3＃
  128K通信（PPP接続）：＊99＊＊＊4＃
  mopera（PPP接続）：＊99＊＊＊1＃
- 64Kデータ通信でmopera U、moperaに接続する場合は、次の電話番号を接続先の電話番号欄に入力してください。
  mopera U：＊8701
  mopera：＊9601

❖Windows 7、Windows Vistaで設定する

1 （スタート）→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック

Windows Vistaのとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック

2 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック

Windows Vistaのとき

「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

3 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して「次へ」をクリック

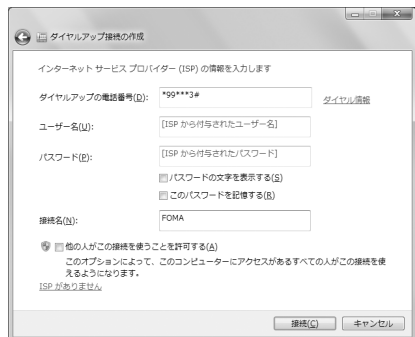
「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき

USBケーブル接続の場合：「FOMA F09C」をクリック

Bluetooth接続の場合：「ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム」または「Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム」をクリック

4 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「接続名」を入力して「接続」をクリック

＜cid＞：P16「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力します。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 「接続名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>|

5 接続中の画面で「スキップ」をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

6 「接続の使用準備ができました」画面で「閉じる」をクリック

Windows Vistaのとき

①「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック

②「閉じる」をクリック

7 「ネットワークと共有センター」画面で、左側上部に表示されている「アダプターの設定の変更」をクリック

Windows Vistaのとき

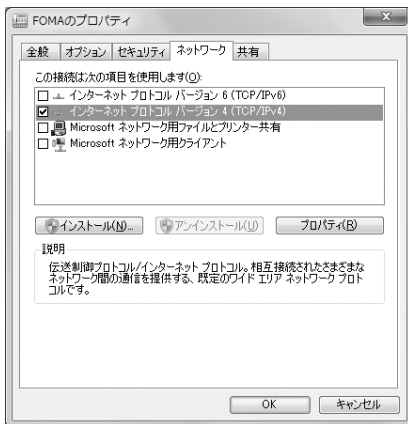
（スタート）→「接続先」を順にクリック

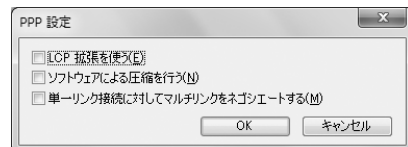
8 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

9 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されているときは、次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「接続の方法」で「モデム-FOMA F09C」のみを選択します。
  Bluetooth接続の場合：「接続の方法」で「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「モデム-（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム）」を選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続の方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

10 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定

- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6）」を非選択（□）にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。
- その他の項目についてプロバイダなどから指示がある場合は、必要に応じて選択／非選択を設定してください。

11 「オプション」タブをクリック→「PPP設定」をクリック

12 すべての項目を非選択（□）にして「OK」をクリック

13 「OK」をクリック

通信を実行する→P23

1 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「新しい接続ウィザード」をクリック

2 「新しい接続ウィザードの開始」画面で「次へ」をクリック

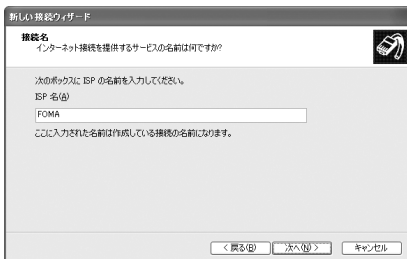
3 「インターネットに接続する」を選択して「次へ」をクリック

4 「接続を手動でセットアップする」を選択して「次へ」をクリック

5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して「次へ」をクリック

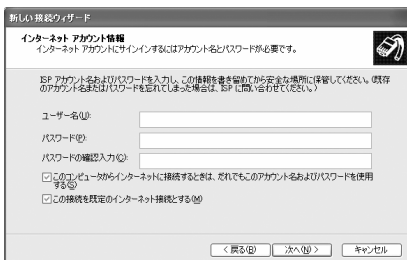
「デバイスの選択」画面が表示されたとき
USBケーブル接続の場合：「モデム-FOMA F09C」を選択して「次へ」をクリック
Bluetooth接続の場合：「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「モデム-（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム）」を選択して「次へ」をクリック

6 「ISP名」に任意の接続名を入力→「次へ」をクリック

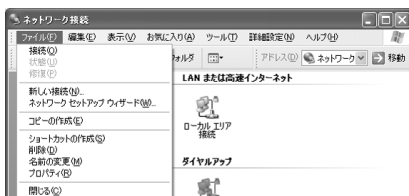
- 「ISP名」の先頭に.（半角文字のピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ¥/:＊?<>|”

7 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊＜cid＞#」）を半角で入力→「次へ」をクリック

＜cid＞：P16「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号

8 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して「次へ」をクリック

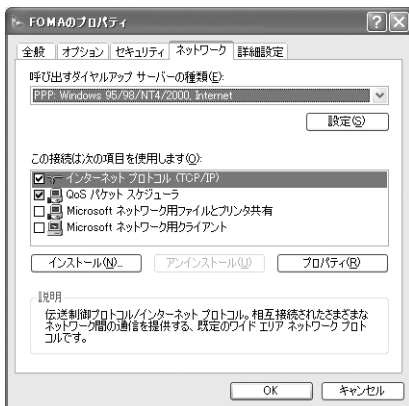
- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力します。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

9 「新しい接続ウィザードの完了」画面で「完了」をクリック

10 「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

11 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

12 「全般」タブの各項目の設定を確認

- パソコンに複数のモデムが接続されているときは、次のように設定します。
  USBケーブル接続の場合：「接続方法」で「モデム-FOMA F09C」のみを選択します。
  Bluetooth接続の場合：「接続方法」で「モデム-（ご使用のBluetoothリンク経由標準モデム）」または「モデム-（Bluetooth機器メーカが提供しているBluetoothモデム）」を選択します。
- 選択したモデム以外は非選択（□）にしてください。
- 「接続方法」に表示されたモデムに割り当てられるCOMポート番号は、お使いのパソコンの環境により異なります。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（□）にします。

13 「ネットワーク」タブをクリック→各項目を画面例のように設定→「設定」をクリック

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し「プロパティ」をクリックして、各種情報を設定してください。
- 「この接続は次の項目を使用します」の「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。

14 すべての項目を非選択（□）にして「OK」をクリック

15 「OK」をクリック

通信を実行する→P23

◆ダイヤルアップ接続で通信を実行する

通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows 7のとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

USBケーブル接続の場合→P6
Bluetooth接続の場合→P9

2 （スタート）→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「インターネットへの接続」をクリック

Windows Vistaのとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック→接続先を選択して「接続」をクリック→操作4へ進む

Windows XPのとき

「スタート」をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック→操作4へ進む

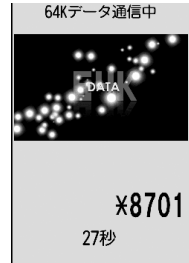
3 接続先を選択して「次へ」をクリック

4 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「ダイヤル」をクリック

- 「ユーザー名」「パスワード」には、プロバイダまたはネットワーク管理者から指定されたユーザー名とパスワードを入力します。
- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は「OK」をクリックしてください。

✔お知らせ

- FOMA端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64Kデータ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。

パケット通信のとき

64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- ダイヤルアップネットワーク設定時のFOMA端末で接続した場合のみ、通信が行えます。

❖通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows 7のとき

1 **タスクトレイのをクリック→切断する接続名をクリック→「切断」をクリック**

Windows Vistaのとき
タスクトレイのを右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック

Windows XPのとき
タスクトレイのダイヤルアップアイコンをクリック→「切断」をクリック

Wi-Fi対応パソコンに接続する

公衆無線LANのエリア外でも、FOMA端末をアクセスポイントにすることで、Wi-Fi対応パソコンを接続してパケット通信が行えます。

- あらかじめ、FOMA端末をAPモードオンにしておく必要があります。APモードの設定などについては、FOMA端末の「取扱説明書（詳細版）」（PDFファイル）をご覧ください。

〈例〉Windows 7のとき

1 **（スタート）→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリック**

Windows Vistaのとき
（スタート）→「接続先」を順にクリック

2 **「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリック**

Windows Vistaのとき
「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック

3 **「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して「次へ」をクリック**

- 初めてワイヤレス接続するときは、「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」画面でワイヤレスアダプタを「ワイヤレスネットワーク接続」に変更し、「次へ」をクリックします。

4 ネットワークの情報を入力して「次へ」をクリック

- FOMA端末の「無線設定」と同じ設定にします。
  - ネットワーク名：FOMA端末に設定されているSSIDを入力します。
  - セキュリティの種類、暗号化の種類：FOMA端末の「認証方式」の情報を設定します。「認証方式」では、「セキュリティの種類」および「暗号化の種類」の設定を組み合わせた形式で表記していますので、該当する設定を選択してください。なお、「セキュリティの種類」の「パーソナル」は「PSK」と同じ意味です。
  - セキュリティキー（Windows Vistaの場合は「セキュリティキーまたはパスフレーズ」）：暗号化キー（WEPまたはPSK）を入力します。

5 「閉じる」をクリック

■ 切断後、再度Wi-Fi接続で通信を実行する場合

Windows 7のとき

（スタート）→「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」カテゴリ内にある「ネットワークの状態とタスクの表示」→「ネットワークと共有センター」画面で「ネットワークに接続」→表示された画面で接続名をクリック→「接続」をクリックします。

Windows Vistaのとき

（スタート）→「接続先」→接続先を選択して「接続」をクリックします。

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

❖ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から⏎を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大256文字入力できます。

❖ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

- **オフラインモード**
  FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。
- **オンラインデータモード**
  FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。
- **オンラインコマンドモード**
  FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※ USBやBluetoothインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO⏎」と入力します。

✔お知らせ

- 外部機器から発信・ATコマンド発信を行った場合、2in1がデュアルモードまたはAモード時はAナンバー、Bモード時はBナンバーで発信します。

◆ATコマンド一覧

- FOMA F09C（モデム）で使用できるATコマンドです。
- パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「￥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
A/ A/ OK	直前に実行したコマンドを再実行します。 直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。
AT AT↵ OK	A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。
ATA RING ATA↵ CONNECT	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。 パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作
ATD ATD＊99＊＊＊1#↵ CONNECT 460800	ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。 <cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。 ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。 電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。 0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 ,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。 ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。
ATE<n>※1 ATE1↵ OK	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかを設定します。 n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。
ATH ATH↵ NO CARRIER	通信中に入力すると、回線を切断します。 オンラインコマンドモードで実行してください。→P26
ATI<n> ATI0↵ NTT DoCoMo OK	確認コードを表示します。 n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示 n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示
ATO ATO↵ CONNECT 460800	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。
ATQ<n>※1 ATQ0↵ OK	リザルトコードを表示するかを設定します。 n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない ATQ1を実行した場合は「OK」を返しません。
ATS0=<n>※1 ATS0=0↵ OK	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。 n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信 ATS0?：現在の設定を表示
ATS2=<n> ATS2=43↵ OK	エスケープキャラクタの設定を行います。 n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。 ATS2?：現在の設定を表示
ATS3=<n> ATS3=13↵ OK	コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。 n=13（固定値） ATS3?：現在の設定を表示
ATS4=<n> ATS4=10↵ OK	改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。 n=10（固定値） ATS4?：現在の設定を表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
ATS5=<n> ATS5=8↵ OK	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。 n=8（固定値） ATS5?：現在の設定を表示
ATS6=<n> ATS6=5↵ OK	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=2～10（お買い上げ時n=5） ATS6?：現在の設定を表示
ATS8=<n> ATS8=3↵ OK	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0～255（お買い上げ時n=3） ATS8?：現在の設定を表示
ATS10=<n>※1 ATS10=1↵ OK	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1～255（お買い上げ時n=1） ATS10?：現在の設定を表示
ATS30=<n> ATS30=0↵ OK	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。 n=0～255：（お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF） ATS30?：現在の設定を表示
ATS103=<n> ATS103=1↵ OK	64Kデータ通信時の着サブアドレスの区切りを設定します。 n=0：＊　　n=1：/（お買い上げ時）　　n=2：¥または\ ATS103?：現在の設定を表示
ATS104=<n> ATS104=1↵ OK	64Kデータ通信時の発サブアドレスの区切りを設定します。 n=0：#　　n=1：%（お買い上げ時）　　n=2：& ATS104?：現在の設定を表示
ATV<n>※1 ATV1↵ OK	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0：数字表示　　n=1：英文字表示（お買い上げ時） ATV0を実行した場合は、同じ行に「0」を返します。
ATX<n>※1 ATX4↵ OK	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかを判定 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT¥Vコマンドが無効になります。
ATZ※3 ATZ↵ OK（オフライン時）	現在の設定を記録された内容に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。
AT%V AT%V↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT&C<n>※1 AT&C1↵ OK	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0：常にON　　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定すると、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&D<n>※1 AT&D2↵ OK	オンラインデータモード時、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&E<n>※1 AT&E1↵ OK	接続時の速度表示を設定します。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&F AT&F↵ OK（オフライン時）	現在の設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT&S<n>※1 AT&S0↵ OK	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON
AT&W AT&W↵ OK	現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT＊DANTE AT＊DANTE↵ ＊DANTE：3 OK	FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。 n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DGANSM=<n>※2 AT＊DGANSM=0↵ OK	パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。 n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON AT＊DGANSM?：現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>]※2 AT＊DGAPL=0,1↵ OK	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGAPL?：現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGARL=<n>[,<cid>]※2 AT＊DGARL=0,1↵ OK	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加／削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加／削除します。 AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGPIR=<n>※2 AT＊DGPIR=0↵ OK	パケット通信確立時の発信者番号通知を設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P18 AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DRPW AT＊DRPW↵ ＊DRPW：0 OK	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を表示します。 AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CAOC AT+CAOC↵ +CAOC："000024" OK	直前通話料金を表示します。
AT+CBC AT+CBC↵ +CBC：0,100 OK	FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。 bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー bcl=0：電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100：電池残量あり AT+CBC=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CBST=<n>,1,0※1 AT+CBST=116,1,0↵ OK	利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。 n=116：64Kデータ通信（お買い上げ時）　n=134：64Kテレビ電話 AT+CBST?：現在の設定を表示　AT+CBST=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CDIP=<n>※1 AT+CDIP=0↵ OK	パケット着信および64Kデータ着信時のサブアドレスの通知の有無を設定します。また、マルチナンバーの契約状況を確認できます。 n=0：サブアドレスを表示しません。（お買い上げ時）　n=1：サブアドレスを表示します。 m=0：マルチナンバー未契約　m=1：マルチナンバー契約中 AT+CDIP?：「+CDIP:<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CDIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CEER AT+CEER↵ +CEER：36 OK	直前の切断理由を表示します。 切断理由一覧→P32
AT+CGDCONT※2 →P33	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P33

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CGEQMIN※2 →P33	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。→P33
AT+CGEQREQ※2 →P34	パケット通信発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P34
AT+CGMR AT+CGMR↵ 1234567890123456 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGREG=<n>※1 AT+CGREG=0↵ OK	ネットワーク登録状態（圏内／圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：パケット圏外　　stat=1：パケット圏内　　stat=4：不明 stat=5：パケット圏内（国際ローミング中） AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGSN AT+CGSN↵ 123456789012345 OK	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CLIP=<n>※1 AT+CLIP=0↵ OK	64Kデータ通信着信時、相手の発信者番号をパソコンに表示するかを設定します。 n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　　n=1：リザルトを表示する m=0：番号を通知しないNW設定 m=1：番号を通知するNW設定　　m=2：不明 AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIR=<n>※2 AT+CLIR=2↵ OK	64Kデータ通信発信時の発信者番号通知を設定します。 n=0：FOMA端末の発信者番号通知設定に従う　　n=1：通知しない n=2：通知する（お買い上げ時） m=0：CLIRは未起動（常時通知）　　m=1：CLIRは起動（常時非通知） m=2：不明　　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=<n>※1 AT+CMEE=0↵ OK	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。→P33「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示　　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CNUM AT+CNUM↵ +CNUM：,"090XXXXXXXX",129 OK	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,"<number>",<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号（2in1がBモード時はBナンバーを、それ以外はAナンバーを表示） type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+COPS=<n>,2,<oper>※2 AT+COPS=0↵ OK	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時）　n=1：マニュアル　　n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Numberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示　　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CPAS AT+CPAS↵ +CPAS：0 OK	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できるかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能　　n=1：不可能　　n=2：状態不明　　n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CPIN="<pin>", "<newpin>" AT+CPIN="0000"↵ OK	PIN1コードON時、PIN1／PIN2コードやPINロック解除コードの入力が必要な場合に入力します。PINロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しいPIN1／PIN2コードを入力します。PIN1／PIN2コードの入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、PIN1／PIN2コードの変更はできません。 n=READY：コード入力の要求なし　n=SIM PIN：PIN1コード入力待ち n=SIM PIN2：PIN2コード入力待ち n=SIM PUK：PIN1ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：PIN2ロック解除失敗によりPINロック解除コード入力待ち AT+CPIN?：現在の要求されているコードを「+CPIN：<n>」の形式で表示
AT+CR=<n>※1 AT+CR=0↵ OK	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかを設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時）　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信　serv=SYNC：64Kデータ通信 serv=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CR?：現在の設定を表示　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=<n>※1 AT+CRC=0↵ OK	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかを設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　type=SYNC：64Kデータ通信 type=AV64K：64Kテレビ電話 AT+CRC?：現在の設定を表示　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=<n>※1 AT+CREG=0↵ OK	ネットワーク登録状態（圏内／圏外）を通知するかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：音声圏外　stat=1：音声圏内　stat=4：不明 stat=5：音声圏内（国際ローミング中） AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=<n>,"<str>"※1 AT+CUSD=0,"012345678" ↵ OK	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）を設定します。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし　m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=<n>※1 AT+FCLASS=0↵ OK	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（固定値） AT+FCLASS?：現在の設定を表示　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+GCAP AT+GCAP↵ +GCAP： +CGSM,+FCLASS, +W OK	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　n=+W：+Wコマンドをサポート
AT+GMI AT+GMI↵ FUJITSU OK	FOMA端末のメーカ名を表示します。
AT+GMM AT+GMM FOMA F09C OK	FOMA端末の機種名を表示します。
AT+GMR AT+GMR↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+IFC=<n,m>※1 AT+IFC=2,2↵ OK	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n、m=0：フロー制御を行わない　n、m=1：XON/XOFFフロー制御を行う n、m=2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：「+IFC：<n>,<m>」の形式で現在の設定を表示（nはDCE by DTE、mはDTE by DCEの値を示す） AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+WS46=<n>※1	発信時に使用する無線ネットワークをnの値で表示します。 変更はできないので、AT+WS46=<n>と入力すると、ERRORを返します。 n=12：GSMネットワーク　　n=22：3Gネットワーク（FOMA） n=25：GSMおよび3Gネットワーク(FOMA)（固定値） AT+WS46?：現在の設定を表示　　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示
AT¥S AT¥S↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ・・・(中略)・・・ S104=001 OK	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT¥V<n>※1 AT¥V0 OK	接続時の拡張リザルトコードの使用を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する
+++ +++(非表示) OK	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。 エスケープガード区間は1秒の固定値です。

※1　&WコマンドでFOMA端末に記録されます。
※2　&FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3　&Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

◆切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
26	APNが存在しないか、または正しくありません。
27	
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側を呼び出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

◆エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	ドコモUIMカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（ドコモUIMカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

◆ATコマンドの補足説明

- ＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。
- お買い上げ時、cid1～4には次のように登録されています。
  cid1：mopera.ne.jp（接続先mopera、PPP接続）
  cid2：mopera.net（接続先mopera U、PPP接続）
  cid3：mopera.net（接続先mopera U、IP接続）
  cid4：mpr.ex-pkt.net（接続先mopera U、PPP接続、128K通信）
- ＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**
  +CGDCONT=［＜cid＞［,"＜PDP_TYPE＞"［,"＜APN＞"］］］
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜PDP_TYPE＞：IPまたはPPP
  ＜APN＞：任意
- **実行例**
  PPP接続の「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
  AT+CGDCONT=5,"PPP","abc"↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGDCONT=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGDCONT?：現在の設定を表示します。
  AT+CGDCONT=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかの判定基準を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞］］］
- **パラメータ説明**
  ＜cid＞：1～10
  ＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または5,760
  ＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または7,232
  ※ ＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最大通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「5,760」および「7,232」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。

- **実行例**
  - 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）
    AT+CGEQMIN=5↵
    OK
  - 上り5,760kbps、下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=6の場合）
    AT+CGEQMIN=6,,5760,7232↵
    OK
  - 上り5,760kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=7の場合）
    AT+CGEQMIN=7,,5760↵
    OK
  - 上りすべての速度、下り7,232kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=8の場合）
    AT+CGEQMIN=8,,,7232↵
    OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQMIN=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- **概要**
  パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
- **書式**
  AT+CGEQREQ=［＜cid＞］
- **パラメータ説明**
  上り64～5,760kbps、下り64～7,232kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各＜cid＞にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
  ＜cid＞：1～10
- **実行例**
  （＜cid＞=3の場合）
  AT+CGEQREQ=3↵
  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**
  AT+CGEQREQ=：すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ=＜cid＞：指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
  AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示します。
  AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示します。

◆リザルトコード

- ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P28

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信しています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

・ AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末－基地局間の接続速度
122	CONNECT 64000	64000bps
125	CONNECT 384000	384000bps
133	CONNECT 3648000	3648000bps
135	CONNECT 7232000	7232000bps

・ AT&Eコマンドがn=1に設定されている場合

数字表示	文字表示	FOMA端末ーパソコン間の接続速度
5	CONNECT 1200	1200bps
10	CONNECT 2400	2400bps
11	CONNECT 4800	4800bps
13	CONNECT 7200	7200bps
12	CONNECT 9600	9600bps
15	CONNECT 14400	14400bps
16	CONNECT 19200	19200bps
17	CONNECT 38400	38400bps
18	CONNECT 57600	57600bps
19	CONNECT 115200	115200bps
20	CONNECT 230400	230400bps
21	CONNECT 460800	460800bps

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末－パソコン間はUSBケーブルやBluetooth機能で接続されているため、実際の接続速度と異なります。

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
3	AV64K	64Kテレビ電話で接続
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されているとき

AT¥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみ表示されます。

文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　CONNECT

数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　1

ATX1が設定されているとき

・ ATX1、AT¥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
　接続完了時に、「CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度>」の書式で表示します。
　文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　CONNECT 460800
　数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
　　　　　　　1 21

- ATX1、AT¥V1が設定されている場合※1
  接続完了時に、次の書式で表示します。
  「CONNECT<FOMA端末－パソコン間の速度><通信プロトコル><接続先APN>/<上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度>/<下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度>」※2
  文字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　CONNECT 460800 PACKET mopera.ne.jp/5760/7232
  （mopera.ne.jpに、上り最大5,760kbps、下り最大7,232kbpsで接続したことを表します。）
  数字表示例：ATD＊99＊＊＊1#
  　　　　　　1 21 5
  ※1 ATX1、AT¥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT¥V0だけでのご利用をおすすめします。
  ※2 AT¥V1が設定されている場合、<接続先APN>以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

区点コード一覧

区点コードの入力方法については、取扱説明書をご覧ください。
区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺

区点	区点4桁目									
1〜3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	

2008.9（1版）
CA92002-5476

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
447	紋	門	匁							
	や									
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る									
466	瑠	塁	涙	累	類					
	れ									
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼

区点	区点4桁目									
1～3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			